

第五十二回 帝國議會 貴族院議事速記録第二十四號

昭和二年三月二十二日(火曜日)

午前十時十三分開議

議事日程 第二十四號 昭和二年三月二十二日

午前十時開議

- 第一 昭和二年度歳入歳出總豫算追加案(第一號) 審査期限ヲ定ムルノ件
- 第二 昭和二年度歳入歳出總豫算追加案(第二號) 審査期限ヲ定ムルノ件
- 第三 昭和二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號) 審査期限ヲ定ムルノ件
- 第四 昭和二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號) 審査期限ヲ定ムルノ件
- 第五 豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號) 審査期限ヲ定ムルノ件
- 第六 市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第七 保稅倉庫法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第八 保稅工場法案(政府提出) 第一讀會
- 第九 防火地區内借地權處理法案(政府提出) 第一讀會
- 第十 大正十三年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議
- 第十一 大正十三年度特別會計第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議

- 第十二 大正十四年度第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議
- 第十三 大正十四年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議
- 第十四 大正十四年度特別會計第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議
- 第十五 大正十四年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議
- 第十六 臨時軍事費特別會計豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議
- 第十七 自大正六年二月二十六日臨時軍事費特別會計豫備費至大正九年六月二十五日臨時軍事費特別會計豫備費外ニ於テ豫算超過支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議
- 第十八 大正十四年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議
- 第十九 大正十四年度特別會計第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議
- 第二十 大正十五年第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議
- 第二十一 大正十五年特別會計第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)(衆議院送付) 會 議
- 第二十二 水戸鐵道株式會社、越後鐵道株式會社、陸奥鐵道株式會社、苫小牧輕便鐵道株式會社及日高拓殖鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二十三 鐵道敷設法中改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十四 徵兵令改正法律案(政府提出 衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十五 電氣事業法中改正法律案(政府提出 衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十六 國有財産整理資金特別會計法ノ特例ニ關スル法律案(政府提出 衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十七 國産獎勵ノ爲ノ會計法ノ特例ニ關スル法律案(政府提出 衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十八 兌換銀行券整理法案(政府提出 衆議院送付) 第一讀會ノ續(委員長報告)

第二十九 部落問題ノ國策確立ニ關スル建議案(公爵) 第一讀會ノ續(委員長報告)

二條厚基君外十二名發議) 會 議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

去ル十八日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

計理士法案

公益質屋法案

朝鮮事業公債法改正法律案

臺灣事業公債法改正法律案

關東州事業公債法改正法律案

臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案

家畜傳染病豫防法中改正法律案

關稅定率法中改正法律案

大正十四年法律第五十一號中改正法律案

同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

電氣事業法中改正法律案特別委員會

- 委員長 子爵 秋田重季君
- 副委員長 男爵 赤松範一君

國有財産整理資金特別會計法ノ特例ニ關スル法律案外一件特別委員會

委員長 伯爵 二荒芳徳君

副委員長 内藤久寛君

議院法中改正法律案特別委員會

委員長 公爵 近衛文麿君

副委員長 男爵 阪谷芳郎君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

水戸鐵道株式會社、越後鐵道株式會社、陸奥鐵道株式會社、苫小牧輕便鐵道株式會社及日高拓殖鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案可決報告書

鐵道敷設法中改正法律案可決報告書

請願委員會特別報告第五號

同日議員ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

部落問題ノ國策確立ニ關スル建議案(發議者公爵二條厚基君外十二名、贊成者侯爵四條隆愛君外百二十一名)

去ル十九日民法施行法中改正法律案外一件特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 侯爵 中御門經恭君

副委員長 河村讓三郎君

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

徵兵令改正法律案可決報告書

電氣事業法中改正法律案可決報告書

國有財産整理資金特別會計法ノ特例ニ關スル法律案可決報告書

國産獎勵ノ爲ノ會計法ノ特例ニ關スル法律案可決報告書

兌換銀行券整理法案可決報告書

大正十四年度歲入歲出總決算、大正十四年度各特別會計歲入歲出決算審査報告書

同日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

電氣事業法中改正法律案特別委員會

- 委員長 子爵 秋田重季君
- 副委員長 男爵 赤松範一君

臨時軍事費歳入歳出決算審査報告書

大正十四年度國有財産増減總計算書審査報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

昭和二年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

昭和二年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

昭和二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

昭和二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第二號)

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件(追第二號)

市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案

保稅倉庫法中改正法律案

保稅工場法案

防火地區内借地權處理法案

大正十三年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正十三年度特別會計第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正十四年度第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正十四年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正十四年度特別會計第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正十四年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

臨時軍事費特別會計豫備費支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

自大正六年二月二十六日
至大正九年六月二十五日臨時軍事費特別會計豫備費外ニ於テ豫算超過支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正十四年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正十四年度特別會計第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

大正十五年度第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

昭和元年度特別會計第二豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)

同日衆議院ヨリ本院ノ回付ニ係ル左ノ政府提出案ハ同院ニ於テ本院ノ修正

ニ同意シ奏上セル旨ノ通牒ヲ受領セリ

銀行法案

本日議員ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

海事水産金融制度ニ關スル建議案(發議者公爵二條厚基君外四名、贊成者伯爵寺島誠一郎外三十一名)

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、赤池君ヨリ發言ノ通告ヲ得マシタ

○赤池濃君 支那ノ動亂ハ益々擴大イタシマシテ、上海ガ本日ニ於キマシテハ兵燹ノ巷ニ相成ツテ居リマス、上海ヲ中心ト致シマス所ノ中部支那一帶ニ於ケル我が貿易竝ニ企業ハ、非常ニ危險ニ瀕スルヤウニ相成リマシタ、又此動亂ハ延イテ我國ノ思想問題、勞働問題其他ニ非常ニ重大ナ關係ガアルト存

ジマスルノデアリマスルカラ、今日緊急質問ヲ致シタイト思ヒマス、何分御許シテ御願ヒシタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 赤池君ヨリ此際緊急質問ヲ致サレタイト要求ガ出マシタ、其要求ヲ容レテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、赤池君

○赤池濃君 外務大臣ト内務大臣ノ御列席ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、外務大臣ハ御見エニ今ナツテ居リマセヌガ、如何デゴザイマセウ

○議長(公爵徳川家達君) 外務大臣ハ只今外務省ヲ出ラレタ趣デ、モウ直キニ出席セラル、コトト存ジマスガ、無駄ニ出席ヲ御待チ申スモ宜シクナイト

存ジマスカラ、便宜上、御異議ガナケレバ日程第一ヨリ第五マデノ豫算案ノ審査期限ヲ定メマシテ、然ル上ニ、其中ニハ外務大臣ガ出席セラレルコトト

存ジマスカラ、其時質疑ヲ御始メニナツテハ如何デスカ

○赤池濃君 何分宜シク願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第一、昭和二年度歳入歳出總豫算追加案第一號、第二、昭和二年度歳入歳出總豫算追加案第二號、第三、昭和二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案特第一號、第四、昭和二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案特第二號、第五、豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スルノ件追第二號、審査期限ヲ定ムルノ件

(第一號)昭和二年度歳入歳出總豫算追加案
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和二年三月十九日

衆議院議長 粕谷義三

貴族院議長公伯爵徳川家達殿

(第二號)昭和二年度歳入歳出總豫算追加案
右本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和二年三月十九日

衆議院議長 粕谷義三

貴族院議長公伯爵徳川家達殿

(衆議院ノ修正送付案(原案)ト政府提出案ト
比照シ其ノ修正ニ係ル部分ヲ印刷ス小字ハ
衆議院ノ修正文、ハ同削除ノ符號ナリ)

(第二號)

昭和二年度歳入歳出總豫算追加

五頁

第一條 昭和二年度歳入歳出追加額ヲ各七百八拾參萬五千百六拾壹圓

其ノ款項ノ金額ハ別冊甲號歳入歳出豫算ニ據ルベシ

七頁

第九款 前年度剩餘金繰入

七、八〇二、二二〇
七、八七六、四七一

第一項 前年度剩餘金繰入

七、八〇二、二二〇
七、八七六、四七一

歳入總計

八頁

第三款 内務本省

第一項 俸給

第二項 事務費

第四款 社會局

第一項 俸給

第二項 事務費

第十四款 地方廳

第一項 俸給

第二項 事務費

九頁

内務省所管合計

一一頁

歳出經常部合計

一二頁

歳出總計

七、八三三、五、一六一
七、九〇九、四一二
四、四八八、九、九四六
四、五六四、一九七
六八、八、八一六
一四三、〇六七

(特第一號)昭和二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案
右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和二年三月十九日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 粕谷義三

(特第二號)昭和二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和二年三月十九日

衆議院議長 粕谷義三

貴族院議長公爵徳川家達殿

(追第二號)豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲ爲スヲ要スル件

右本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和二年三月十九日

衆議院議長 粕谷義三

貴族院議長公爵徳川家達殿

(國務大臣片岡直温君演壇ニ登ル)

○國務大臣(片岡直温君) 只今議題トナリマシタ第一ヨリ第五マデノ諸案ニ

付キマシテ、大體ノ説明ヲ申上ゲタイト存ジマス、昭和二年度歳入歳出總豫算追加第一號ハ、一般經費ノ追加デアリマシテ、其金額ハ歳入歳出各、二千七百五十七百三十五圓デアリマス、其中歳入ニアリマシテハ國有財産整理資金繰入ノ増加ガ五百二十万九千七百二十五圓、前年度剩餘金繰入ノ増加ガ千五百八十六万二千四百九十九圓デアリマス、又歳出ニ付キマシテ其主ナルモノ二三ヲ説明イタシマスレバ、貨幣交換ノ差金ノ増加ガ四百九十八万三千二百二十三圓デアリマス、北海道並ニ新海外六縣ニ於テ暴風雨ノ爲、道路、橋梁、河川、港灣等ノ被害少カラズ、之ガ復舊工事費多額ヲ要スルヲ以テ、法律ノ規定等ニ依リ、國庫ヨリ地方費ニ對シ補助スルノ必要ガアルノデアリマス、依テ災害土木費補助トシテ五百十九万三千五百五十八圓ヲ計上イタシマシタ、

現「ソヴェエト」聯邦大使館及東京府立第一中學校敷地ハ、中央諸官衙建築ニ

關聯シ必要ナル地域トシテ、之ヲ回收又ハ收得スル必要ガアリマスノデ、ソ
レゾレ交渉中デアリマシタル所、略、協議ガ纏マリマシタノデ、此際之ニ要ス
ル經費三百九十七万三千五百五十圓ヲ、中央諸官衙建築費ニ追加スルコトニ致
シマシタ、特別都市計畫ニ依リ、幹線第十四號及第三十五號道路並ニ補助線
第八號道路ノ築造ハ、第三地區區劃整理ノ進行上、特ニ急速施行ノ必要ガア
リマスルガ、之ガ築造ニ伴ヒ諸官衙假廳舍其他ヲ整理スル必要ガアリマス、
依テ之ニ要スル經費百十六万四千三百八圓ヲ計上イタシマシタ、東京市京橋
區築地所在海軍用地ハ、其大部分ヲ今回東京市ニ讓渡シマシテ、中央卸賣市場
ノ敷地トスルコトニ相成リマシタ、從テ從來其地域ニアリマシタ海軍技術研
究所水路部及各學校等ヲ他ニ移轉スルノ必要ガアリマス、而シテ之ニ要スル
經費ハ海軍省所管ニ於テ總額三百三十万、大藏省所管ニ於テ總額六十八万七
千八百二十圓デアリマシテ、其中昭和二年度ニ於テハ、海軍省所管ニ於テ九
十八万五百五十圓、大藏省所管ニ於テ二十五万八千二百二十五圓ヲ計上イタシ
マシタ、以上ノ外各省ニ互リ、災害費、國際會議參列費其他ノ經費ガアリマス
ガ、何レモ必要避クベカラザルモノノミデアリマス、昭和二年度歳入歳出總豫
算追加第二號ハ、別途提出イタシマシタ諸種ノ法律案ノ施行ニ伴ヒ必要ナル
經費ヲ計上イタシマシタノデ、其金額ハ歳入歳出各七百九十九万九千四百十二
圓デアリマス、然ルニ右ノ中總豫算追加第二號ニ付キマシテ、出版物法施行
ニ關スル經費三万七千二百九圓、並ニ労働組合法施行ニ關スル經費三万七千
四十二圓ハ各關係法案ノ審議終了ノ見込ナシトノ理由ニ依リマシテ、衆議院
ニ於テ之ヲ削除イタシマシタ、之ニ伴ヒ歳入臨時部前年度剩餘金繰入ノ増加
ニ於テ、同額ヲ減少イタシマシタ、尚ホ昭和二年度各特別會計歳入歳出豫算
追加特第一號ハ災害其他ニ要スル普通ノ經費デアリマシテ、同ジク第二號ハ
法律案ノ施行ニ伴ヒ必要ナル經費デアリマス、以上昭和二年度追加豫算ノ諸
案ハ何レモ必要避クベカラザルモノノミデアリマスルカラ、何卒御協賛アラ
ムコトヲ希望イタシマス

○伯爵林博太郎君 昭和二年度歳入歳出總豫算追加案第一號、昭和二年度歳入歳出總豫算追加案第二號、昭和二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案特第一號、昭和二年度各特別會計歳入歳出豫算追加案特第二號、豫算外國庫ノ負擔トナルベキ契約ヲ爲スヲ要スル件追第二號、右諸案ノ審査期限ハ豫メ之ヲ定メズシテ、審査終了次第本會議ニ報告イタシマスト云フ動議ヲ提出イタシマス、ドウゾ御賛成ヲ願ヒマス

○子爵柳筒隆督君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 林伯爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 只今外務大臣ガ出席セラレマシタカラ、赤池君ニ質疑ノ發言ヲ許シマス

(赤池濃君演壇ニ登ル)

○赤池濃君 日々新聞ハ支那ノ動亂ヲ報ジマス、殊ニ今日ノ新聞ニ於キマシテハ上海ノ陷落ガ傳ヘラレテ居ルノデアリマス、如何ニモ現今ニ於ケル所ノ形勢ノ重大ナルコトヲ思ハシムルモノデアリマス、去ル二月上海ニ於キマシテハ、總工會竝ニ共產黨ガ政治的罷業デアルト稱シマシテ、上海ノ大罷業ヲ企テマシタ、當時、銃丸ガ飛ビマスルシ、白刃ガ閃クト云フ譯デアリマシテ、全市ガ大混亂ニ陥ッタノデアリマス、幸ニシテ一時鎮靜ハ致シマシタケレドモ、上海ノ治安ハ今日ニ至ルマデ未ダ全ク以テ回復サレル譯ニハ參リマセヌノデアリマス、我工場ニ作業ヲシテ居リマスル所ノ職工ハ、或ハ脅迫サレ、殊ニ其善良ナル職工ハ暗殺ヲサレルヤウナ次第デアリマシテ、總工會又ハ共產黨ノ者ハ、所謂恐怖政略ヲ以チマシテ職工ヲ威喝ヲシテ居ルノデアリマス、サウシテ其命令ニ従ハシムルノデアリマス、職工ノ賃銀ハ非常ニ激増シマスニ反比例イタシマシテ、工場ノ能率ハ擧ガラナイノミナラズ、我ニ於テハ工場ヲ所有スル名ハ有ルケレドモ、其實工場管理ノコトト申シマスモノ

ハ、職工ノ手ニ移リツ、アルヤウナ形勢ニナツテ居ルノデアリマス、又彼等總工會又ハ共產黨ニ於キマシテハ、其主張ヲ悉ク對外的ノ文字ニ藉リマシテ、非常ニ排外熱ヲ煽ツテ居ルノデアリマス、デ國際的ノ運動ノ風ニ持掛ケテ居ルノデアリマシテ、今ヤ今日ニ於キマシテハ、上海ニ於ケル所ノ工場ノ爭議ハ、單ニ之ヲ勞資ノ爭議若クハ思想ノ爭議ト目スル譯ニ參リマセヌデ以テ、純然タル政治爭議、彼等ガ主張スル如ク、純然タル政治爭議ノ範圍ニナツテ居ルノデアリマシテ、最早斯ノ如クニナリマシテハ、一會社若クハ一企業者ノ手ヲ以テ之ヲ處理スルコトハ出來マセヌデ、國家ノ力ヲ藉リテ之ヲ解決シナケレバナラヌヤウナ風ノ情勢ニ相成ツテ居ルノデアリマス、今日支那ニ於ケル所ノ紡績業者ハ、二億五千万圓ノ大金ヲ投ジタル所ノ我ガ企業ナルモノガ、是ガ維持ガ出來ララウカ、或ハ之ヲ拋棄シナケレバナラナイカト云フコトニ付テ長歎息シツ、國家ノ救濟ヲ俟ツヤウナ狀況デアルノデアリマス、我國ニ於ケル中部支那一帶ニ於ケル貿易企業其他總テ平和的施設ト云フモノガ、根柢カラ破壊サレムトスル所ノ虞ガアルノ狀況ニ相成ツテ居ルノデアリマス、政府ハ此當面ノ急ニ對シ、又我ガ企業、貿易其他ノ平和的施設ノ將來ニ對シテ、如何ナル御考ヲ御持チニナツテ居ルカ、其點ヲ伺ヒタイト思フ、是ガ第一問デアリマス、第二ハ、今回支那ノ動亂ハ、露國ノ言論竝ニ行動ガ與ツテ非常ニ力ガアルト云フコトハ、是ハ極メテ顯著ナル事實デアルノデアリマス、政府ハ露國ニ對シテ何等カノ交渉ヲ爲サレマシタカドウカ、又イツ抗議ヲ爲サル御積リデアアルカ、ソレヲ承リタイノデアリマス、最後ニ御尋ネシタイノハ、上海ハ總工會竝ニ共產黨ノ手ニ依ツテ將ニ支配サレムトシテ居ルノデアリマス、若シ支配サレルヤウニ相成リマシタナラバ、我國ノ思想運動竝ニ其他ノ運動ニ付キマシテ、重大ナル關係アリト存ズルノデアリマス、政府ハ之ニ對シテ如何ナル御注意ヲ御拂ヒニナツテ居ルカ、ドウ云フ經綸ヲ御持チニナツテ居ルカ、其對策ヲ承リタイノデアリマス、以上ノ三問ヲ提出イタシマシテ御答辯ヲ願フ次第デアリマス

〔國務大臣男爵幣原喜重郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 只今赤池君ノ御質問ノ第一點ハ、上海其他

揚子江方面ニ於ケル勞働爭議「ストライキ」ト云フヤウナモノハ、實ハ勞働ト資本トノ爭議ニアラズシテ、政治上ノ意味ヲ有シテ居ルモノデアル、全然、政治上ノ目的ヲ達セムガ爲ノモノデアル、之ガ爲ニ日本ノ、是等ノ地方ニ於テ事業ニ從事イタシテ居ル者ハ、非常ナ脅威ヲ受ケテ居ル、之ニ對シテ日本政府ハ如何ナル處置ヲ取ラムトスルカト云フコトデアッタヤウニ伺ヒマシタ、私ハ當議場ニ於テ申述ベマシタカ、或ハ衆議院ノ方デアッタカ、ハッキリハ記憶イタシマセヌガ、大體ニ於キマシテ、支那ニ於ケル今日ノ現状ハ、支那ノ國民的進歩ノ道程ニアル一時ノ現象デアルト云フ風ニ、私ハ觀察イタシテ居ルノデアリマス、今日ガ永久ノ事態ヲ確立イタシテ居ルモノトハ、私ハドウシテモ考ヘラレナイ、固ヨリ支那ノ勞働者ガ、不平等條約ノ廢止デアルトカ、帝國主義ノ打破トカ云フコトヲ勞働者ガ唱ヘマシテ、彼等ノ騒ギノ旗印ニ致シテ居ルト云フコトモ明瞭デアリマスルガ、此事態ガ永久ニ續クモノデアツテ、此爲ニ支那ニ於ケル商工業ト云フモノハ、殊ニ製造業ト云フ……工場ト云フヤウナモノガ、長クイツ迄モ脅威サレルモノデアルトハ、私ハ考ヘラレナイ、今日ノ事態ハドウシテモ一時的ノ事態デアアル、確定セル事態デハアリマセヌ、此事態ニ於キマシテハ、固ヨリ色々ナ不規則ナコトハドウシテモ行ハレ得ルノデアリマス、ソレ故ニ私ハ休會明ケノ議場ニ於キマシテモ、支那ノ今日ノ事態ニ於テハ、十分忍耐ヲ以テ、寛容ヲ以テ之ヲ觀ルコトガ必要デアルト云フコトヲ申シタノハ、ソコノ所デアリマス、我々ハモウ少シ將來ニ望ヲ持ツテ、支那ノ前途ヲ觀察スルコトガ必要デアラウト斯様ニ考ヘルノデアリマス、今日ニ於キマシテ日本ノ工場、商工業ガ間接ノ影響ヲ受ケテ居ルト云フコトモ、是ハ事實デアリマシテ、誠ニ是等ニ對シテ、我々ハ同情ヲ表スル次第デアリマスルケレドモ、然ラバ國家ノ力ヲ以テ解決スルト云フコトヲ、只今赤池君ハ仰セラレタノデアリマスルガ、是ハドウ云フ意味デアリマセウカ、國家ノ力ヲ以テ解決スルト云ヘバ、日本ノ國家ノ力ヲ以テ之ニ對シテ解決スルト云フコトハ、ドウモ仕方ガナイコトデアリマス、或ハ兵力ヲ用

キルト云フコトデアリマセウカ、ソレナラバ大局ヨリシテ極メテ危險デアッ

テ、又不當ナ話デアルト私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、要スルニ我々ハ、今日ノ狀況ニ於キマシテハ、出來ルダケノ手段ヲ執ルト云フコトデアリマシテ、其手段ハ執ッテ居ルノデアリマス、今日ノ上海ノ狀況ニ付キマシテハ、マダ私ハ此議場ニ參リマス迄ニハ、今朝ヨリ到着イタシテ居リマスル電報ヲ、一々讀ンデ來ル暇ガナカッタノデアリマスルガ、大體ハ南軍……國民軍ハ上海ニ這入ッタカ、或ハ既ニ這入ラムト致シテ居ル狀況デアアル、上海ガ國民軍ノ手ニ移ルコトハ、若シ此時刻迄ニ既ニ落チテ居ナケレバ、モウ刻々落チル時期ニアルト思フノデアリマス、併ナガラ幸ニ致シマシテ、マダ日本ノ工場、其他租界内ノ秩序ト云フモノハ、十分ニ維持サレテ居ルヤウデアリマス、又必要ニ應ジマシテ、海軍ヨリモ陸戰隊ヲ上陸セシメマスル準備ハ十分整ッテ居ルノデアリマス、或ハ此瞬間ニハ既ニ上陸イタシテ居ルカモ知レマセヌ、亞米利加モ同様ノ手段ヲ執ルト云フコトデアリマス、斯ノ如ク致シマシテ、日本人ノ財産生命ノ保護ト云フモノハ、極力出來得ルダケ其方ニ力ヲ盡シテ居ルノデアリマス、今日ニ於キマシテ、是等ノ財産生命ガ左様ナ危殆ニ瀕シテ居ルト云フヤウナ報道ニハ接シテ居リマセヌ、騒ギノアリマスル所ハ、主トシテ支那街デアリマシテ、租界内ノ方ハ割合ニ秩序ガ能ク保タレテ居ルヤウデアリマス、ソレカラ第二ノ御質問ハ、今回ノ支那ニ於ケル運動ト云フモノハ、露西亞人ガ其後援ヲ致シテ居ルト云フコトハ明瞭ナコトデアアル、之ニ對シテ露西亞ニ向ウテ抗議ヲスル決心ガアリヤ否ヤト云フコトデアリマス、歷史上ヨリ觀察イタシマスレバ、今日支那ニ於ケル不平等條約ノ廢止デアルトカ、或ハ帝國主義ノ打破トカ云フヤウナ運動ハ、孫文君ガ、露西亞ト關係ヲ付ケマスル前カラ、夙ニ此運動ヲ始メテ居ルノデアリマス、是ハ明瞭ナル事實デアリマス、廣ク觀察イタシマスレバ、或ハ歐羅巴戰争ノ結果ト致シマシテ、世界ノ各地方ニ於テ、斯様ナル國民運動ガ起ッテ居ル、土耳其ニ於テモ然リデアアル、埃及ニ於テモ然リデアアル、波斯、「アフガニスタン」方面ニ於テモ然リデアアル、此大キナル潮流ノ中ニ支那モ棹サシテ居ルモノデアルト云フ

風ニ、觀察出來ルノデアリマス、孫文君ガ此國民黨ヲ組織イタシテ運動ヲ始メマシタ時ニ、既ニ此不平等條約ノ廢止、帝國主義ノ打破ト云フコトヲ、大ナル旗印ニ致シテ居ルノデアリマス、其後ニ於キマシテ、露西亞ヨリハ「ローヂン」其他ノ軍事上或ハ政治上ノ顧問ガ、多數廣東政府ノ方ニ加ハルヤウニ相成ッタノデアリマス、只今赤池君ハ露西亞ニ對シテ抗議ヲスルト云フコトヲ仰セラレタノハ、ドウ云フ意味デアリマセウカ、何ヲ意味スルノデアリマセウカ、顧問ヲ廣東政府ガ傭僱イタシテ居ルト云フコトニ付テハ、是ハ固ヨリ抗議ヲスルト云フ餘地ハナカラウト思フ、然ラバ是等ノ顧問ガ廣東政府デアアル國民政府ニ對シテ如何ナル威力ヲ用キテ居ルカト云フコトハ、是ハ外部ヨリハ想像シ推斷シ得ナイコトデアリマス、抗議ヲスルト云フコトハ如何ナルコトヲ抗議ヲスルカ、又抗議ノ結果ハ如何ナルコトデアアルカト云フコトニ至リマスレバ、左様ニ容易ニ抗議ト云フモノハ致シ得ルモノデハナカラウト思フノデアリマス、今日ニ於キマシテハ、我々ハ露國政府ニ對シ抗議ヲスルト云フヤウナ意思ハ持ッテ居リマセヌ

〔國務大臣濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(濱口雄幸君) 第三ノ御質問ニ對シマシテ私ヨリ御答ヲ申上ゲマス、赤池君ノ御質問ノ要旨ハ、上海ニ於ケル所ノ共產系ノ運動ガ其效ヲ奏スルコトニナレバ、我國ノ思想運動並ニ勞働運動ニ對シテ容易ナラザル影響ヲ及ボスコトデアラウト思フガ、之ニ付テ政府ハ如何ナル考ヲ持ッテ居ルカト云フ御質問ノ要點デアッタヤウニ拜承イタシマシタ、上海ニ於ケル事件ガ、我國ノ勞働界、思想界ニ對シテ如何ナル影響ヲ及ボスデアラウカト云フコトハ、今日ニ於テ未ダ判斷ラスベキ時期ニ達シテ居ナイト思ヒマス、政府ハ常ニ國內ノ勞働問題或ハ思想問題ニ對シテ、深甚ナル注意ヲ怠ッテ居リマセヌガ、殊ニ上海ノ事件ノ成行ニ對シテハ、慎重ナル考ヲ以テ其成行ヲ注視ヲ致シテ居ル次第デアリマス、其成行ノ如何ニ依リマシテハ、自ラ適當ナル方法ヲ立テル必要ガ起ルカモ知レスト考ヘマスルガ、今日ノ所ニ於テハ、未ダ其影響ヲ判斷スベキ材料ガ揃ッテ居リマセヌ、仍テ只今ノ御質問ニ對シマシテ

ハ、御趣旨ノ在ル所ハ能ク了解イタシマシタガ、マダ具體的ニ御答ヲ申上ゲル時機ニ達シテ居ナイ、慎重ナル態度ヲ以テ向後ノ成行ヲ注視ヲ致シテ居リマスト云フコトヲ御答申上ゲルニ止メテ置キマス

〔赤池濃君演壇ニ登ル〕

○赤池濃君 只今、外務大臣並ニ内務大臣ノ御答辯ヲ承リマシテ、私ハ非常ニ意外ノ感ヲ懷ク次第デゴザイマス、内務大臣ハ、上海ノ問題ハ慎重ノ注意ヲ拂ッテ居ル、併ナガラマダ我國ノ勞働界ニ向ッテ、若クハ思想運動ニ向ッテ、如何ナル影響ヲ及ボスカ分ラナイ、斯ウ仰シヤッタノデアリマス、私ハ如何ニモ其コトガ意外ニ思フノデアリマス、昨年、廣東政府……國民政府ガ北伐軍ヲ起シマス際ニ於キマシテ、我國ニ於テ如何ナル運動言論ガアッタカト云フコトハ、内務大臣ハヨモヤ御忘レニハナルマイト思フノデアリマス、又北伐軍ガ各地ニ轉戦イタシマシテ勝ヲ奏スル毎ニ於テ、如何ナル言論ガ現ハレタカト云フコトモ、是モ能ク御承知ノコトダラウト思フノデアリマス、又屢々大會ヲ開イテ、其大會ニ於テ如何ナルコトガ論議サレタカト云フコトハ、内務大臣ハ御職掌上、御承知ナイトハ申サレマイト思フノデアリマス、私ハ其一例ヲ茲デ以テ申上ゲタイト思フノデアリマス、現今我國ニ於キマス所ノ無産階級ノ機關新聞……其論說ガ殆ド信仰的ニ尊敬サレテ居リマスル所ノ無産新聞ニ現ハレテ居リマスル所ノ二三ノ論文ヲ見マシテモ、如何ニ我國ノ勞働者ガ、支那ノ勞働者ト相呼應シ相策應シテ、種々ナル事ヲシテ居ルカト云フコトハ、御承知ニナルダラウト思フノデアリマス、斯様ナ文ガ新聞ニ載ッテ居ルノデアリマス、失禮デアリマスルケレドモ朗讀イタシマス、「日本無産階級ハ支那ニ於ケル日本帝國主義的支配ヲ打破スルコトニヨリテノミ初メテ自ラ解放シ得ベシ、尙擴延セハ東洋被壓迫民族ノ帝國主義的壓迫ヨリノ解放ナクシテ吾人自ラノ解放ハ成就セサルヘシ、一方又支那國民政府ハ全國國民解放ノ代表タリ、而シテ支那ノ國民運動モ亦日本ニ於ケル同志ノ協力ナクシテ成功シ得ス、故ニ吾人ニシテ若シ支那問題ニ關シ無關心又ハ怠慢ヲ示ストキハ日本無産階級ノ裏切者タルヘシ、實ニ支那ニ對スル態度ヲ以テ一人一

黨カ無産階級ノ同志ナリヤ否ヤヲ判定シ得ヘシ、宜シク吾人ハ起ッテ東洋被壓迫民族解放戦ノ先頭隊トシテ、歴史の任務ヲ遂行セサルヘカラス、而シテ先ツ支那國民運動ヲ成功セシメサルヘカラス、マダアリマス、「東洋一帯ニ於ケル無産階級運動ノ發展、『ソヴェエト』共和國ノ勢力擴張ト之ニ伴フ金融資本國家トノ對立ハ白熱シツ、アリ、其中心ハ實ニ支那其者ナリ、吾人宜シク世界革命ノ完成ヘト急クヘシ、速カニ南方政府承認ノ大衆の輿論喚起ニ努メン、今ヤ吾等ハ必要ノ重大ニシテ聲ノ甚小ナルヲ憾ム、而モ日本ハ支那重壓ノ爲ノ列國ノ番犬ノ如シ、其ノ愚ヤ之ヲ改メシメサルヘカラス、マダアリマス、「吾人ハ我目的ノ爲全無産階級の見地ヨリ對支非干涉鬭争ノ爲、政治的ニ戰フヘク餘儀ナクサレツツアリ、然ラハ眞ニ全無産階級の見地ヨリスル對支非干涉要求トハ如何ナルモノナリヤ、曰ク駐支日本軍撤退、帝國主義の利權放棄、不平等條約廢棄、國民政府承認、出兵反對、北京政府否認、支那分割支配反對、斯ノ如キ論文ガ載ッテ居ルノデアリマス、ノミナラズ屢會議ヲ開イテ居リマスルガ、其會議ニ於テノ決議ナリ其他ノ議論ト云フモノハ、是ハ隨分酷ニナツテ居ルノデアリマス、例ヘバ本年一月開カレマシタ所ノ議會解散運動全國大會ニ於ケル所ノ決議ヲ見マスト云フト、「我々無産者ニハ國境ナシ、我々無産者ハ支那米國何レノ無産者達トモ其目的ハ同一ナリ、吾人ハ共同ノ目的ヲ貫徹スルカ爲ニ、支那無産者ヲ助ケ、共ニ相援ケ帝國主義的打破ノ實ヲ擧ケサルヘカラス」斯ウ云フコトヲ言ッテ居ルノデアリマス、尙又労働運動ノ中堅者デアリマスル所ノ關東労働組合ノ協議會ニ於キマシテハ、決議文ヲ印刷シマシテ、各労働團體ニ配ッテ居ルノデアリマス、其文ニ斯ウ云フコトガアルノデアリマス、決議文デアリマス、「今ヤ中國國民革命運動ハ世界無産階級運動トシテ露西亞革命ニ次ク重大ナル任務ヲ遂行シツツアル、此意味ニ於テ我々ハ對支出兵反對、對支絕對非干涉、國民黨政府即時承認ノ『スロ一ガン』ノ下ニ支配階級ト徹底的ニ鬭争スルモノデアアル、マダ澤山アリマスルケレドモ、大體斯ノ如キ意見ガ代表的意見デアアルノデアリマス、内務大臣ハ慎重ニ總テノ事ヲ注意セラレテ居ルト仰シヤッタ以上ハ、斯ノ如キコト

ハ十分御承知ノ上デ以テ、慎重ニ色々ノ計畫ヲ爲サツテ居ルコトト存ズルノデアリマス、私ハ、昨年ノ當議場ニ於キマシテ、若槻時ノ内務大臣カラシテ、我國ノ労働運動、革命運動ノ根據ハ露西亞カラ來ルモノデアアルノダ、之ニ對シテ相當ノ注意ヲシナケレバナラヌト云フ意味ヲ以チマシテ、外事警察費ノ増額ヲ御要求ニナツタデアリマス、我々ハ至極御同感ニ存ジマシテ、協賛ヲシタデアリマス、我國ノ労働運動ガ、總テ我國國內ノ單純ナ問題デアリマセヌデ、世界ノ大衆ト相提携シ、相援ケテヤツテ居ル所ノ運動デアリマス以上ハ、外事警察ト致シマシテハ、絶エズ深甚ノ注意ヲ其方面ニ拂ハナケレバナラヌコトハ、申スマデモナイコトデアアルノデアリマス、内務大臣ハ如何ニ外事警察費ヲ御使ヒニナツテ居ルノデアアルカ、又斯ノ如キ運動ニ對シテハ、如何ナル御注意ヲ拂ッテ居ラレルノデアアルカ、如何ニモ只今ノ御話ヲ承リマシテ、私共奇怪ニ堪ヘナイノデアリマス、外務大臣ヨリ御答辯ガアリマシタガ、モ、尙ホ御聽キシタイノデアリマス、外務大臣ヨリ御答辯ガアリマシタガ、私ハ之ニ對シテモ甚ダ意外ノ感ヲ致シマスト同時ニ、又種々ナル疑問ガ起ッテ參ッタデアリマス、外務大臣ハ、支那ノ現在ノ狀態ハ一時的現象デアアル、永久的ノ狀態デハナイ、斯ウ仰シヤッタノデアリマス、ソレデアアルカラシテ、其御言葉ヲ敷衍シマスト云フト、今ハ慎重ナ態度ヲ以テ見テ居ルヨリ仕方ハナイ、斯ウ云フ風ニ仰シヤッタヤウニ聞エルノデアリマスガ、ソレデハ承リタイト思フノデアリマス、一時的現象デアアルトスルナラバ、必ズ將來ニ於テ鎮靜ニ歸スルト云フコトガ條件デナケレバナラヌノデアリマス、外務大臣ハ、イツ支那ノ動亂ハ鎮靜スルト云フ御見込デアアルノデアリマスガ、又鎮靜シナイ間ハ政府ハ唯見テ居ルノミデアッテ、何等事ヲシナイト云フ御考デアアルカドウカ、其點ヲ先ヅ第一ニ承リタイト思フノデアリマス、ソレカラ第二番目ニハ、解決ノ方法ハ無イデハナイカ、武力ヲ用キルト云フコトハ、是ハ不當デアアルノデアアル、殊ニ上海ノ租界内ニ於テハ無事デアアルデハナイカ、茲デ暗ニ武力ヲ用キルトハ甚ダ不當デアアルト云フコトニ論及サレタノデアリマス、私ハ上海ノ租界ガ非常ニ亂レテ、此處ニ於テ砲火ヲ交ヘルヤウナコトガ

アラウト云フヤウナコトヲ、想像ダモ致シマセヌ、上海ノ租界ニ於キマシテハ、兎ニモ角ニモ列國ノ精銳ヲ擧ゲテ、二万二千以上ノ兵ガ其處ニ詰メテ居リマス、ノミナラズ飛行機、「タンク」、其他最新ノ武器ヲ有ッテ居ルノデアリマス、而シテ租界ノ周圍ハ鐵條網ヲ廻ラシ、守備極メテ嚴重デアリマス、如何ナル支那ノ軍隊ト申シマシテモ、其昔ノ義和團ノ如ク、濫ニ外國ニ向ッテ無謀ナ戰爭ヲ仕掛ケルコトハナイト、私ハ確信ヲ致シマス、從テ租界内ニ於テ兵燹ガアラウト云フコトハ、我々ハ想像ダモ致シマセヌ、然ラバ何ヲ憂ヘルカト申シマスレバ、所謂彼等ガ平和的手段ト稱スル所ノモノヲ以テ、我國ノ工業其他ヲ脅カスコトヲ憂フルノデアリマス、我國ノ工場ハ租界内ニアリマスケレドモ、其處ニ通勤スル職工ハ總テ租界外ニ居ルノデアリマス、此租界外ニ居ル職工ニ向ッテ、工場へ出レバ殺スゾト云ヒ、ソレカラ又最モ善良ナル模範的職工ト稱スル者ヲ暗殺スルノデアリマス、從テ有爲ナル所ノ職工ハ、大體ニ於テ彼等ノ爲ニ片付ケラレテシマッテ居ルノデアリマス、勇敢ナル指導者ヲ失ッテ職工ト申シマス者ハ、是ハ全ク羊ノ群ノヤウナモノデアリマシテ、唯、狼ノ狙フニ委シテ居ルノデアリマス、如何ニ總工會ノ命令ノ爲ニ我國ノ工場ニ働ク職工ガ脅カサレツ、彼等ノ前ニ惟命惟從フカト云フコトハ、御承知ノ通デアリマス、殊ニ上海ニ於キマスル便衣隊、青服隊、糾察隊ナルモノガ、如何ニ活動シテ居ルカト云フコトハ、外務大臣モ十分御承知ニナッテ居ルコトデアラウト思フノデアリマス、私ハソレ等ノ方法ニ依ッテ我國ノ工業ガ十分ニ脅カサレテ居ッテ、如何トモスルコトガ出來ナイノヲ憂ヘテ居ルノデアリマス、而モ其事タルヤ、非常ナ複雑ナル計畫、巧妙ナル計畫、又非常ニ強大ナル後援ノ力ヲ以テヤッテ居ルノデアリマスカラ、紡績業者ノ手ニ於テハ如何トモスルコトガ出來ナイデ、國家ノ大イナル力ガ無ケレバイケナイト云フ意味ニ於テ、如何ナルコトガアルカト云フコトヲ御尋ネシタノデアリマス、然ルニ外務大臣ハ、兵隊ヲ動カスヨリ外ハ仕方ガナイヂヤナアカト云フヤウナ御話ガアッタノデアリマス、私ハ外務大臣ノ御答辯トシテ、如何ニモ無策デアアル、餘リニ御經綸ガ無イコトヲ甚ダ遺憾ニ感ズルノデアリ

マス、兵隊ヲ動カス以外ニハ、外交上何等ノ方法ガ無イト云フノハ、外務大臣トシテ如何ナル御考デアルカ、如何ニモ我々ハ了解ニ苦シム點デアリマス、又外務大臣ガ露國ニ對シテ何等抗議ヲシナイト云フコトノ御説明ニ對シテ、引例ナシタルコトハ、國民黨ガ現今ノヤウナ運動ヲ起シタノハ昨今デハナイ、世界大戰爭後ニ於テ、一種ノ世界的風潮ニ動カサレテ動イタモノデアアル、ダカラシテ露西亞ニハ全ク無關係デアルカラ、露西亞ニ向ッテ抗議ノ仕様が無イヂヤナアカト云フ、斯ウ云フ御話デアッタノデアリマス、私ハ如何ニモ外務大臣ト致シマシテハ、甚ダ事態ヲ御研究ニナラナイノデハナイカト云フヤウナ疑ヲ持チマス、然ラザレバ甚シク我々ヲ侮辱シテ居ルノデハナイカト云フ疑ヲ持ツ次第デアリマス、私共不肖デゴザイマスルケレドモ、孫文ガ國民黨ヲ組織シテ三民主義ヲ鼓吹シタコトハ存ジテ居リマス、併ナガラ我國ノ大正十三年デアリマス、十三年ニ於テ孫文ノ國民黨ガ中國共產黨ヲ黨内ニ入レマシテ、國民黨ノ政府ヲ改造イタシマシテ以來、三民主義ノ主張ヲ全然改メタト云フコトハ、外務大臣トシテ、ヨモヤ御忘レニナッテ居ラナイデアラウト思ヒマス、從來ノ國民黨ト、十三年以後中國共產黨ヲ合併シタ所ノ國民黨ハ、殆ド其性質ガ一變シテ居ルノデアリマス、表面ニハ三民主義ヲ唱ヘテ居リマスケレドモ、内容ニ於テハ非常ニ違ッテ居ルノデアリマス、彼レ孫文ハ「ヨッフエ」ガ病ヲ熱海ニ養ウテ居ル時、廖仲愷ヲ遣ハシテ、彼ト共ニ世界革命ノコトヲ謀ツタ、而シテ廖仲愷氏ガ支那ニ歸ルト同時ニ、中國共產黨ヲ合スルシ、又蔣介石ヲ露西亞ヘヤルシ、ソレ以來ト申シマスモノハ、國民黨ハ全ク組織ヲ改造シタノデアリマス、當時國民黨ニ於キマシテモ、非常ニ議論ガアリマシタケレドモ、斷乎トシテ兎ニ角共產黨ヲ一絡ニシテカラト云フモノハ、全ク其色彩ガ違ッテ來テ居ルノデアリマス、此點ハヨモヤ外務大臣トシテ御忘レニナラナイカト思ヒマス、從テ世界大戰爭當時ニ於キマシテノ主張ト、共產黨合併後ニ於ケル所ノ主張トハ、非常ニ違フノデアリマス、今日支那ニ於ケル所ノ言論ト云フモノハ、ソレカラ發生シテ來テ居ルノデアリマス、又露西亞ニ抗議ノ仕様が無イヂヤナアカト仰シヤタケレドモ、

我々ハ其言葉ヲ聽キマシテ、不思議ニ存ズル次第デアリマス、ナゼカト申シマス、千九百二十四年ノ十月ニ「カラハン」大使ガ初メテ支那ヘ參ッテ、北京ニ赤旗ヲ立テマシテ、支那民衆ニ與ヘタ「メッセージ」ト云フモノガアルノデアリマス、其「メッセージ」ニ依リマス、斯ウ云フコトガ書イテアル、支那解放ノ爲帝國主義ニ一撃ヲ加ヘ、彼等資本主義ノ影ヲ中國ヨリ斷タネバナラス、而シテ又「カラハン」氏ハ不平等條約廢止、國際的解放、被壓迫民族ノ解放、世界革命等ノ標語ヲ支那人ニ與ヘマシテハ、革命精神ヲ鼓吹シテ、支那國民ニ示シタコトハ、是ハ世界周知ノ事實デアリマス、又最近「トロッキー」氏ノ世界ニ與ヘタ所ノ公開狀ヲ見マス、斯ウ云フコトガ書イテアル、勞農政府ハ單ニ支那ノ革命者ニ同情スルノミデハナイ、彼等ノ目的ヲ阻止セントスル者ハ全部上海附近ノ海中ニ溺死セシムルコトニ努力スヘシ、如何ニ露西亞ガ言論ヲ以テ支那ニ援助シテ居ルカト云フコトハ、是デ御分リニナルト思ヒマス、又露西亞ノ新聞紙デ我國ノ官報ニ相當スル「ブラウタ」紙ニ就テ見マシテモ、斯ノ如キ論文ヲ屢見受ケル「萬國勞動者」ニ檄ス、帝國主義ノ及ハ今ヤ支那國民ノ頭上ニ加ヘラレントス、萬國ノ「ブルジョア」ハ上海ヲ以テ對支武力干涉ノ根據地タラシメンガ爲ニ其海陸ノ兵ヲ進メツツアリ、其先頭ニ立ツハ英國ナリ、日本ノ帝國主義ハ陽ニ平和愛好ヲ標榜シツ、陰ニ支那革命ニ對スル打擊ヲ準備シツ、アリ、中ヲ略シマス、支那出兵ハ世界無產階級ノ堅壘タル「ソヴェエツト」聯邦ニ對スル攻撃ノ準備豫行演習ナリ、又中略イタシマス、

「支那派兵ヲ妨碍スル爲總テノ力ヲ糾合セヨ、支那革命政府ノ承認ト駐支兵力ノ撤退ヲ期シテ進メ、此一大危機ニ對シテ全勞動團體ヲ結合スル大協同戰線ヲ設ケヨ、兄弟ヨ鞏固ニ團結セヨ、支那ヨリ手ヲ引ケ」ノ標語ノ下ニ活動シツ、アル凡テノ機關ヲ戰闘狀態ニ移セ、支那革命萬歲、共產主義萬歲、マダアリマス、「全世界ハ今ヤ支那ニ展開シツ、アル革命事件ニ舉ゲテ注意ヲ拂ヒ、世界ノ『プロレタリア』ハ滿腔ノ欣喜ト期待トヲ表シテ居ル、國際『ブルジョア』ハ階級的惱ミニ呻吟シ、今日トナリテハ何人モ支那ノ事變ガ世界的意義ヲ有シ、國際史上ニ一新紀元ヲ劃シ、人類ノ近キ將來ノ運命ニ多大ノ

關係ヲ及ボスヘキコトヲ否定スルモノハアルマイ、支那領土ノ大部分ヲ占有スル封建軍國主義、反革命主義者、張作霖大軍團ハ外國帝國主義者ノ先棒デ支那ヲ我物視シ、外國資本家ノ走狗トシテ支那ノ不利ヲ圖ルモノデアルカラ、之ト直接鬭争スルハ事實支那革命ニ邪魔ナル外國ノ武力ニ對シテ打擊ヲ與フコトデアル、斯ノ如キ所ノ論文ガ再三露西亞ノ言論界ニ現ハレテ居ルノデアリマス、而モ相當有力者若クハ權威アル所ノ委員會ノ名ヲ以テ出テ居ル、尙ホ「ボローヂン」氏ノ最近與ヘマシタ所ノ報告ノ如キハ、何ト外務大臣ハ御覽ニナツテ居ルノデアリマス、之ヲ以テ見テモ、露西亞ハ支那ニ對シテ無關係デアル、支那ノ運動ニ對シテハ何等ノ關係ガナイカラ、此方カラ抗議ノ申込ミヤウガ無イデヤナイカト仰ッシャル、斯フ云フコトハ私ハ了解出來ナイノデアリマス

〔副議長侯爵蜂須賀正詔君議長席ニ著ク〕

斯ノ如ク舉ゲ來レバ、露西亞ガ物質及精神上ノ供給ヲ支那ニ與ヘナカッタナラバ、支那ノ今日ノ狀況ガ現ハレタデアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、是ハ誰シモ明カニ知ッテ居ル所ノ事實デアルト思ヒマス、而シテ我國ハ支那動亂ノ爲ニ非常ナ影響ヲ受ケツ、アルノデアリマス、我國ノ思想界其他ニ於テモ大影響ヲ受ケツ、アルノデアリマス、外務大臣ハドウ云フ風ニ御考ヘナサルカ、ソレヲ伺ッタ上デ、更ニ改メテ御尋ニスル次第デアリマス

〔國務大臣男爵幣原喜重郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 只今赤池君ノ再御質問中ニ、第一ニ、私ハ今日支那ノ現狀ハ國民的進化ノ道程ニアル一時的現象デアルト云フコトヲ申シタ、然ラバ結局此動亂ナルモノハ鎮定スルモノデアルカドウカ、鎮定スルモノデアルナラバ、イツ鎮定スルカト云フコトデアリマス、私ハ國民的進化ノ道程ニアル一時ノ現象デアルト申シタノデアリマス、此爲ニ支那ガ如何ナル進化ノ道程ヲ經ルカト云フコトハ、私ハ豫言ヲ致サナイノデアリマス、況ヤイツ如何ナル進化ヲ致シテ、結局ハドウ云フモノニナルダラウカト云フコトヲ、豫言者ノヤウナコトヲ私ハ申シタ積リデハナイノデアリマス、唯、今日ハ決

シテ永久ノ事態ヲ、確定セル事態ヲ作ツタモノデハナイ、日々變轉シツ、アル狀況デアル、斯様ニ申シタノデアリマス、既ニ新聞ナドニ現ハレテ居ル記事ニ付テモ御覽デアリマセウ、段々ト支那ノ事態ハ變化シツ、アル、日々變轉シツ、アルノデアリマス、今日、結局支那ハ如何ナル進化ノ結著點ニ達スルカト云フコトヲ、私ハ豫言イタシテ居ルノデアリマセウ、況ヤイツ是ガ鎮定イタスト云フヤウナコトハ、何人ト雖モ豫言シ得ルモノデハナカラウト考ヘマス、其間ニ於テ日本ハ袖手傍觀シテ何モ致サナイノデアアルカト云フ御質問ニ對シテハ、私ハ何回トナク此機會ニ於テ申シテ居ル積リデアリマス、我々ノ重大ナル重要ナル正當ナル權利、利益ガ侵害サレルト云フ場合ニ、之ニ對スル擁護ノ手段ヲ執ルト云フコトヲ申シテ居ルノデアリマス、合理的な法ヲ以テ擁護ノ手段ヲ執ルト云フコトヲ申シテ居ルノデアリマス、今日ニ於テハ此方針デヤツテ居ルノデアリマス、若シ支那ニ於ケル日本ノ總テノ工業ガ悉ク閉鎖シナケレバナラス、商工業ガ何等事ヲ行フコトガ出來ヌト云フヤウナ狀況デアリマスレバ、固ヨリ別ノ手段方法ハ講ジナケレバナリマスマイケレドモ、今日ノ事態ニ於テハ、マダサウ云フヤウナ事態ハ發生イタシテ居ルト、私ハ認メテ居ラヌノデアリマス、國民軍ノ方ニ於キマシテモ、或ハ北京政府ノ方ニ於キマシテモ、日本人ノ權利利益ト云フモノニ對シマシテハ、及ブ限リハ之ヲ保護スル所ノ方針デ以テ進シテ居ルト云フコトハ、彼等ガ度々聲明シテ居ル所デモアルシ、我々ハ其心持ハソコニアルト云フコトヲ信ゼザルヲ得ナイノデアリマス、唯、今日ノ支那ノ事態ニ於テハ、十分ナル保護ヲ盡スコトハ出來ヌ場合モアリマセウケレドモ、今、日本ガ今日執ツテ居ル手段ヨリモ別ノ手段ヲ執ル必要ガアルトハ、私ハ考ヘテ居リマセウ、第二ニ、上海ニ於テハ、或ハ武力ヲ以テ或ハ兵力ヲ以テ列國ト戰ヒ、外國人ヲ驅逐スルト云フヤウナコトハ致スマイガ、平和手段ヲ以テ、例ヘバ「ストライキ」ト云フヤウナ手段ヲ以テ商工業ヲ破壊スルト云フコトハ致サナイデアラウカ、若シソレデアラバ、何か之ニ對シテ政府ノ力ヲ以テ手段ヲ執ルベキデハナイカト云フ御質問デアリマシタガ、政府ノ力ヲ以テ處置ヲ執ルト仰シヤラ

レルノハ、ドウ云フ意味デアリマセウカ、一體「ストライキ」ナルモノハ、日本ノ國內ニ於テモ、政府ノ權力ヲ以テ直チニ之ヲ鎮定スル、鎮壓スルト云フコトハ出來ナイノデアリマス、斯様ナコトヲ致セバ、是ハ極メテ好マシカラヌ事態ヲ生ズルト思フノデアリマス、デ從ヒマシテ今日上海ニ於テハ、「ストライキ」ノ爲ニマダ政府ガ從來執ツテ居リマスル手段以外ノ手段ハ執ルヤウナ場合ニ立至ツテ居ラヌト申シタノデアリマス、ソレカラ第三ニ、露西亞ノ問題ニ御言及ニ相成リマシテ、今日支那ノ國民黨ナルモノハ、共產黨ト云フ言葉ヲ御用キニナリマシタカドウカ能ク記憶ハ致シマセウガ、極メテ密接ナル聯盟ヲ持ツテ居ルヤウナ御話ニナッタノデアリマス、從テ是ガ露西亞ト關係ヲ生ズル前カラ、斯ノ如ク孫文君ノ國民黨ノ組織ガ成リ、其運動ガ行ハレテ居ルノデヤナイカト云フコトニ對シテ、今日ハ事態ガ一變イタシテ居ルト云フヤウナ御話デアッタノデアリマス、私ハ國際的ニ考ヘテ、此帝國主義ノ打破デアルトカ、不平等條約ノ廢止トカ云フコトハ、露西亞ト關係前カラ生ジテ居ルト云フコトヲ申シタノデアリマス、私ハ今日ニ於テモ變ツテ居ラヌト思フノデアリマス、共產主義ガ這入ッタカ這入ラナイカト云フコトハ、是ハ別問題デアリマス、國民黨ガ共產主義ヲ採ラウガ採ルマイガ、我々ノ關知シタ所デアリマセウ、國際的ニ見テ不平等條約ヲ廢止スルト云フコトデアリマスレバ、日本ニ關係ノアルコトデアリマス、併ナガラ今日、不平等條約ノ廢止トカ、帝國主義ノ打破トカ云フヤウナコトハ、是ハ確ニ露西亞ナドト特別ノ關係ガ生ジマシタ前カラ起ツテ居ルコトハ事實デアリマス、ソレハ今日ニ於テ變ツテ居リマセウ、デ其關係ニ於テ「カラハン」氏其他露西亞ノ主ナル人達ガ、支那ニ於テ帝國主義ノ打破ヲシナケレバナラヌト云フヤウナコトヲ言ツテ、支那ノ民衆ヲ煽動シテ居ル、是ガ即チ露西亞ニ對スル抗議ノ一ツノ有力ナル論據デアルト云フガ如キ御話デアリマスガ、私ハ非常ニ意外ニ思フノデアリマス、帝國主義ノ打破ト申シタ所ガ、直チニ日本人ガ帝國主義ナリトシテ、何故ニ日本ニ對シテ反對シタル煽動ヲ致スカト云フヤウナ苦情ガ言ヘルデアリマセウカ、我々ハ今日ニ於テ日本ハ帝國主義ト思ツテ居ラヌ

ノデアリマス、帝國主義ノ打破ト申シテモ、我々ハ左様ナ痛痒ヲ感ズル譯ハナイ、今日、日本ニ於テ行ナッテ居リマス主義ハ決シテ帝國主義ノヤウナコトヲ致シテ居ラナイト云フコトヲ確信シテ居ルノデアリマス、若シ日本ガ帝國主義ヲ執ッテ居ル故ニ、日本ヲ打破シナケレバナラヌト云フヤウナコトヲ、露西亞ノ要路者ガ申シテ居リマスレバ、是ハ別問題デアリマスケレドモ、只今亦池君ノ御朗讀ニナリマシヤウナ決議ノ如キコトハ無イト考ヘテ居ルノデアリマス、「カラハン」君ガ支那國民ニ對シテ「メッセージ」ナドヲ何モ書イテ居ラヌト思フノデアリマス、左様ニ神經ヲ尖ラス必要ハナイト考ヘルノデアリマス

〔國務大臣濱口雄幸君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(濱口雄幸君) 赤池君ノ再度ノ御質問ニ御答ヲ致シマスガ、共產主義ノ運動ガ國際的ノモノデアッテ、限地的ノモノデハナイト云フコトハ、如何ニモ御説ノ通りデアリマス、從テ世界ノ何處カノ一隅ニ於テ石ヲ投ジマスレバ、其波紋ハ直チニ國際的ニ世界各國ノ共產主義ノ運動ノ上ニ及ボスト云フコトハ、勿論ノコトデアリマス、露西亞ノ方面ニ於ケル共產系ノ運動ガ、我が隣邦ヲ經テ内地ニ波及スルト云フ虞ガアリ、又其傾向ガアリマスガ故ニ、先刻御話ノ通り御協賛ヲ得マシタ外事警察ノ設備ヲ致シマシテ、爾來其方面カラ有力ナル情報ヲ常ニ得マシテ、ソレニ依ッテ内地ノ共產主義ノ運動ト思想問題ノ取締ニ頗ル好都合ヲ得テ居ルト云フコトハ、政府ノ確信スル所デアリマス、從テ例ヘバ支那ニ於テ共產系ノ運動ガ盛ニナリマスト云フト、ソレニ勢ヲ得テ内地ノ共產主義ノ者モ亦相當ノ運動ヲ始メル、是亦政府ノ認メル所デアリマス、從テ内地ノ關係ニ於テノミナラズ、外國トノ關係ニ於キマシテモ、此思想問題ノ趨勢ニ付テハ、政府ハ常ニ從來トテモ深甚ノ注意ヲ怠リマセヌ、出來得ルダケノ力ヲ盡シテ、其取締ニ從事ヲ致シテ居ル、又其主義ノ傳播ヲ防グコトニ全力ヲ致シテ居ルト云フコトハ、是ハ申上ゲテ宜シイノデアリマス、先刻ノ御質問ハ、共產系ノ者ガ上海ニ於ケル大運動ヲヤッテ居ル、其運動ガ成功シテ、功ヲ奏シタトキニ於テハ、内地ノ勞働界思想界ニ及

ボス影響ハ甚大ナルモノガ有ルデハナイト、斯ウ云フ御質問ト承知イタシマシタカラ、上海ノ事件ナルモノハ未ダ進行中デアアル、從テ如何ニ成行クカト云フコトハ、今日只今私ノ所ニ於キマシテハ豫斷ガ出來マセヌ、依テ事件ノ成行ニ慎重ナル注意ヲ拂ヒマシテ、其結果又改メテ別ニ施設ヲスル必要ヲ見出シマシタラ、自ラ之ニ應ズル所ノ施設ヲスル必要ガアラウト思ヒマスルガ、今日ノ所ニ於テハ、所謂上海事件ノ成行ニ付テハ、慎重ナ態度ヲ以テ其成行ニ注意ヲスルト云フコトヲ申上ゲタ積リデアリマス、無論、其成行如何ニ依リマシテハ、内地ノ思想問題勞働問題ニ及ボス影響ニ付テハ、十分ナル注意ヲ致シマシテ、出來ルダケノ取締ヲスルコトハ、決シテ躊躇スル所デアリマセヌ、或ハ先刻御答ノ言葉ガ簡單デアリマシテ、政府ノ意ヲ十分盡サナカッタカモ知レマセヌ、改メテ御答ヘテ申上ゲマス

○赤池濃君 內務大臣ノ御斷りの御辯明ガアリマスガ、私ハ是レ以上追究シヤウトハ思ヒマセヌ、內務省ニ於キマシテハ、今マデ御氣付ガナカッタコトヲ非常ニ重大ニ御考ヘニナルヤウナ風ニ願ヒタイト思フ

〔議長公爵徳川家達君議長席ニ復ス〕

兎ニ角、我が國ノ勞働運動ト支那ノ勞働運動トハ、密接ナ關係ガアリマス、單ニ今回ノミノ話デアリマセヌ、一昨年上海ノ紡績騒動ニ於キマシテモ、我國ノ勞働代表者ガ外務省ニ出マシテ、向ウノ罷業者ニ同情シロ、我が企業者ニ對シテ援助ヲ與ヘルナ、援助ヲ與ヘテハ惡イト云フヤウナコトヲ、外務省ニ抗議ヲ申込ダ狀況デアリマス、是ハ今日始マッタ現象デアリマセヌ、ズット前カラ、世界革命ト云フコトヲ希望スル一派ノ人ハ、運動ヲ繼續シテ居ルノデアリマス、外務省ニ於テハ此點ニ特ニ御注意ヲセラレテ、十分御調査ト適當ナ方法ヲ講ゼラレムコトヲ切ニ希望スル次第デアリマス、而シテ外務大臣ノ只今ノ御辯明ニ對シテハ、私ハ甚ダ腑ニ落ちナイコトガアリマス、外務大臣ハ是ハ一時的ノ現象デアアル、時々刻々變ッテ居ル、ダカラシテ手下シヤウガ無イデヤナイカト云フ風ニ伺ッタノデアリマス、實際支那ノ動亂ト申シマスモノハ、イツ終熄スルカ分ラヌコトデアリマスカラ、外務大臣ノ御

意見ヲ承ツタ、變化ノ仕方ニ依ッテモ、善ク變化スレバ仕合セザアル、惡ク變化スレバ困ル、支那ノ動亂ガ始マツテ以來今日マデノ經過ヲ見マスルト、我々ハ段々動亂ガ擴大スル、惡イ方面ニ擴大シタヤウナ風ニ思フノデアリマスカラ、特ニ此點ヲ伺ッタノデアリマスガ、外務大臣ハ之ニ對シテ御明答ヲ避ケラレル、唯變ッテ居ルカラ手ノ下シヤウガ無イト云フ話ダガ、然ラバ外務大臣ハイソ迄モ、變ッテ行ク現象ヲ御覽ニナツテ、袖手傍觀サレテ居ルノデアリマセウカ、今我が日本ノ紡績業ノ企業家ト云フモノハ、兎ニ角モ苦シンデ居ル、外務大臣ハ、貿易及企業ノ狀況ハサウマデ危機ニ頻シテ居ラヌト云フ意味ノ御言葉ノ御話ガアリマシタガ、我々ハ非常ニ意外ニ思フ、上海若クハ漢口ニ於ケル所ノ紡績業者若クハ貿易業者ガ如何ナル苦ミヲシテ居ルカ、外務省マデ陳情ガ來テ居ル筈ダト思ヒマス、如何ニ窮境ニ立ッテ居ルカト申シマスコトハ、普通ノ人ダツテ皆考ヘテ居ル、誰モ知ラス者ハナイト思ヒマス、ソレヲ尙且ツ危機ニ頻シテ居ラナイト仰シタルノハ、ドウ云フ見解ノ下ニ仰シタルノカ、我々ハ實ニ了解ニ苦シムノデアリマス、モット詳シク申シマスレバ、此窮境ヲ外務大臣ハ見殺シニナサル積リデアルカト云フコトヲ、我々ハ伺ヒタクナツテ來ルノデアリマス、外務大臣ハ、正當ナル我が權利利益ハ斷エズ之ヲ擁護スルニ吝カナラズ、斯ウ云フコトヲ仰シヤッタノデアリマスレドモ、外務大臣ハサウ云フコトヲ仰シタルコトガ出來マスカドウカ、一昨年ノ紡績騒動以來、我國ノ職工ニシテ、若クハ監督者ニシテ、支那ノ暴徒ノ爲ニ殺サレタル者ガアル、之ニ對シテマダ何等外務省カラ解決ヲ著ケテ居ラナイノデアアル、所謂祀ラレザル幽魂ガ宙ニ迷ウテ居ル狀況デアリマス、生命スラ帝國政府ノ保護ヲ仰グコトガ出來ナイ狀況デアアル、而シテ今日危機ニ瀕シテ居ル所ノ貿易企業其他ノモノガ、正當ノ權利ヲ擁護サレテ居ラヌト云フ狀況デアリマス、外務大臣ハ正當ノ權利利益ハ保護サレテ居ッテ遺憾ガナイト仰シタルノハ、如何ナルコトヲ以テ仰シタルノデスカ、我々ハ現ニ現ハレテ居ル所ヲ見マスルト、外務大臣ガサウデナイト云フ風ニ考ヘザルヲ得ナイノデアリマス、ソレデモマダ斯ウ云フ狀況ヲ以テ、外務大臣ガサウ云フコトヲ仰シタル御勇氣ガ御有

リニナルノデアリマスカ、ソレカラ又國民黨ノコトヲ申サレマシタガ、國民黨ノ三民五權主義、排外主義ヲ執ツタ所ノ三民五權主義ト、今日ニ於ケル狀況ハ、私ハ全ク違ッテ居ルト云フコトハ、是ハ私ノ一家言デハナイノデアリマス、殆ド國民黨ノ歴史ヲ研究スル者ハ、此場合、舉ッテサウ云フ風ニ見テ居ル、如何ニ國民黨ノ言動ガ變ッタカ、是ハ申ス迄モナイコトダラウト思フノデアリマス、外務大臣ハ何デサウ云フコトヲ仰シタルカ、ソレガ私ハ分ラナイ、民國十三年……我國ノ大正十三年改組以來ノ行動ト云フモノハ、全ク違ッテ居ル、而シテ又「カラハン」氏ガ支那へ參ッテ以來ト云フモノハ、支那人ニ如何ニ標語ヲ與ヘタカ、例ヘバ或ハ武器ヲ貸シ、或ハ人ヲ貸ス、物質上ノ供給ヲシタト申シマスレドモ、是ハ私ハ強ヒテ申シマセヌ、併ナガラ彼等ヨリ宣言ガ發表サレタモノニ付テハ、是ハ確カナモノデアルト私ハ申シタノデアリマス、之ニ依ッテモ能ク御明瞭ニナルコトト思ヒマス、ソレヲワザット知ラナイト言フコトハ、ドウモ合點ガ行カナイト思フ、ソレカラ又上海ノコトニ付キマシテ、何か私ガ非常ニ杞憂ラシテ居ルト云フ御話デアリマスレドモ、私ノ申シタコトハ、今日ノ上海ニ於ケル工場内ノ爭議ト申シマスルノハ、單純ナ勞働爭議デハナイ、彼等ノ上海中央執行委員ノ宣言シタモノ、總工會及中國共產黨ノ名前ヲ以テ發表シタコトニ、斯ウ云フコトガ書イテアル、「上海ノ工人ハ既ニ政治的總同盟罷工ヲ開始シ上海ヲ統治セル帝國主義及軍閥ニ向ッテ宣戰シタ、各界ノ革命的市民ヨ起テ」、或ハ又「革命的上海市民ハ更ニ革命的國民政府ノ軍隊ト結合シ帝國主義及軍閥ノ統治勢力ヲ推翻シ民衆政權ノ市政府ヲ建立シ、獨立自由ノ新上海ヲ創造シ八十年來ノ上海市民ノ恥辱ヲ一洗セヨ」、或ハ「工人ハ北伐軍響應、總同盟罷業ヲ起シ罷工中各方面ノ指揮糾察隊ノ組織及對外活動ハ凡テ總工會ヲ以テ統一の指揮機關トナシ、黨ヲ根幹トシ一切ノ方針決定ハ黨議ノ許可ヲ得ヘシ、次テ黨ノ行動ト策略ヲ統一シ其他各階級民衆運動モ凡テ黨ヲ中心トシテ個人的行動ヲ慎ムヘシ」、コンナヤウナコトデ、始終排外的ノコトヲ言ッテ居ル、是モ宣言ノ一部分デアリマス、斯ノ如キ例ハ枚舉ニ遑アリマセヌ、必ズ一面ニ於テハ軍閥

ヲ倒スト同時ニ、排外的ト云フ文字ヲ始終用キテ居ル、ソレデアリマスカラシテ、私ハ上海工場暴動ト云フモノハ、單純ナモノデナク、國際的ノモノデアルト云フコトヲ申シタノデアリマス、ソレデアリマスルカラ、紡績業者ガ國家ノ力ヲ俟ツト云フコトハ當然ノコトデアアル、國家ノ力ト云ウテモ、單ニ兵力ト云フモノバカリデハアリマスマイガ……ソレカラ尙又帝國主義ノコトニ付テ御話ガアリマシタガ、私ハ帝國主義ハ決シテ惡イモノトハ思ハナイ、併シ革命政府若クハ革命民衆ナリガ、所謂帝國主義ト申シマスノハ、革命主義、帝國主義ト相對立ヲシテ申シマスノデ、一種ノ意味ヲ含メテ帝國主義ヲ解釋シテ居ルノデアリマス、故ニ帝國主義ト云フコトヲ正當ニ解釋セズシテ、特別ノ意味ノ帝國主義ヲ以テ日本ヲ排斥スルコトハ、外務大臣ハ御承知ノコトデアラウト思フノデアリマス

〔國務大臣男爵幣原喜重郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(男爵幣原喜重郎君) 只今ノ赤池君ノ御問ハ、私ハ既ニ大體御答ヘシタヤウニ考ヘテ居ルノデアリマスガ、更ニ御尋ネニナリマシタノデ、又御答ヘ致ス次第デアリマス、第一ニ、此支那ノ紡績工場其他ノ日本人ノ經營イタシテ居ル工業ニ對シテ、色々ノ騒動ガ起ツテ居ル、之ニ對シテ政府ハ何等ノ保護ノ手段ヲ執ツテ居ラヌデヤナイカ、保護ノ手段ヲ執ツテ居ルト云フコトヲ言フ勇氣アリヤ否ヤト云フコトデアリマス、是ハドウシテ左様ナコトヲ仰セラレルノデアリマセウカ、我々ハ出來ルダケノ手段ヲ執ツテ居ル積リデアアル、今日楊子江沿岸ニハ幾多ノ日本ノ軍艦ガ參ッテ居ル、警察官ノ配置ヲ致シタノハ、是ハ御承知ナイノデアリマセウカ、今日上海ニ於キマシテ、若シ斯様ナ暴動ガ起ツテ、日本ノ工場ガ破壊サレルト云フヤウナ場合ガアレバ、甚ダ日本ノ工業ノ發展ノ爲ニ由々シキ大事デアルカラト云フノデ、用心ノ爲ニ軍艦ヲ派遣シテアルノデアリマス、必要ナ場合ニハ、陸戰隊ヲ上陸セシメル手段モ執ルノデアリマス、或ハ既ニ上陸イタシテ居ルカモ知レヌト思フノデアリマスガ、是等ハ皆ナ我國ノ權利ノ擁護ノ手段デアリマス、出來ルダケノ手段ハ執ツテ居ルノデアリマス、ソレカラ露國トノ關係ニ付テノ御話モ、

結局私ノ先刻申上ゲタコトヲ繰返スニ過ギナイノデアリマス、國民黨ノ標榜イタシテ居リマス帝國主義ノ打破、ソレカラ不平等條約ノ廢棄ト云フコトハ、是ハ何ト致シマシテモ、露西亞ト關係ノ出來ナイ時分カラ、孫文君ガ提唱イタシテ居ッタコトデアリマス、私ハ此事ヲ申上ゲタノデアリマス、デ今日ノ國民黨ナルモノハ、共產黨トハ非常ニ關係ガ密接ニナッテ居ッテ、露國ガ之ヲ煽動イタシテ居ル、是ハ事實デアルト云フ御話デアリマシタガ、然ラバ之ニ對シテ抗議ヲ提出シロト云フ風ナ御話デアリマシタガ、是ハ又如何ナル意味カ私ニハ能ク分ラナイ、露西亞ガ支那ニ於テ共產主義ノ宣傳ヲ致シタト假定イタシマシテモデス、是ハ日本ノ抗議シ得ベキ原因ニナルカ否ヤ、私ハ左様ニ考ヘテ居ラス、又日本ト露西亞トノ關係ヲ見マシテモ、左様ナコトニ對シテ、日本ガ露西亞ニ對シ條約ノ違反デアルトカ、國際法ノ違反デアルトカ云フ故ヲ以テ、抗議シ得ベキ理由アリトハ私ハ考ヘテ居リマセヌ、又實際ニ於キマシテ、例ヘバ「ポローデン」君ノ如キハ、度々申シテ居ル所ヲ見マスト、支那ハマダ共產主義ニハ適シテ居ラス、自分ハ支那人ニ對シテハ共產主義ハ勸メナイト云フコトヲ申シテ居ルノデアリマス、私ハ斯ウ云フ風ナ支那ニ於ケル露西亞ノ顧問達ガ、支那ニ對シテ共產主義ヲ執ルベキコトヲ勸告イタシ、力ヲ盡シテ居ルトハ私ハ考ヘラレマセヌ

〔赤池濃君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 赤池濃君ノ御名ヲ呼ンダト思ッテ居リマス

○赤池濃君 外務大臣ハ正當ノ權利利益ヲ主張スルコトニ於テ遺憾ガナイト仰シヤッタノデアリマスケレドモ、現ニ日本ノ工業者ガ困ッテ居ル所ノ狀況ヲ、外務大臣ハ御認メニナッテ居ルノデアアルカドウカ、ソレヲ私ハ實ハ伺ッタノデアリマス、現在ノ狀況ハドウカト云ヘバ、日本ノ工業ハ支那ノ總工會ノ管理ノ手ニ移ッテ居ルヤウナ狀況デアアルノデアリマス、最早今日ハ職工ヲ解雇シヤウトスレバ反對サレル、損失ガアルト云ウテモ閉鎖スルコトモ出來ズ、之ヲ繼續シヤウトスレバ損ヲスル、實ニ進退兩難ノ窮境ニ立至ッテ居ルノデアリマス、茲ニ於テドウスルコトモ出來ヌノデ困ッテ居ル、非常ニ不穩ノ落書

ヲスル者ガアツテ、之ヲ消サウトスレバ消サセナイ、會社ハ之ヲ傍觀スルノ外ハナイノデアアル、實際工場管理ヲ總工會ニサレテ居ル、ソレデモ尙且我國ノ貿易ガ脅カサレテ居ラヌト云フコトガ出來ルカドウカ、此點ニ付テ特ニ疑ヲ持ツノデアリマス、尙ホ外務大臣ハ、「ボローヂン」ハ支那ニ共產主義ヲ宣傳スルコトハ出來ナイト云フ言葉ヲ引用サレタノデアリマス、是ハ前申ス如ク、國民ガ赤化スルト云フコトト、其國ノ政治機關ガ赤化スルト云フコトハ、全ク違フノデアリマス、上海ノ國民黨ハ何ト宣言シテ居ルカ、又徐謙君ハ何ト演說シテ居ルカ、司法ト云フモノハ法ヲ護ル爲デハナイ、其法ヲ毀ツ爲デアアル、從來ノ法ヲ皆ナ毀ツテシマツテ、全部共產的ノモノニシナケレバナラス、其他總テノコトヲ革命化スルト言ツテ居ル、司法モ、行政モ、其他ノ色々ナコトニ付テモ、革命化シナケレバナラスト云フノデアアル、是等ノコトハ詳細ニ申セバ餘リ冗漫トナリマシテ、議場ニ對シテ恐縮ニ存ズルカラ申シマセヌガ、兎ニ角彼等ノ主張ハサウ云フコトデアアル、斯ウ云フコトニ政治ヲサレテハ堪ラナイ、政治機關ガ赤化スルコトガ一番怖ロシイコトデアアル、露西亞ハサウデアアル、露西亞ノ國民ハ赤化シテ居ラナイ、露西亞ノ政治機關ガ赤化シテ居ルノデ、赤化政治ヲナスノデアアル、支那ニ於テモ國民ガ赤化スルコトト、國民政府ガ赤化スルコトトハ、全ク別問題デアアル、露西亞ガ如何ニ國民政府ニ向ツテ赤化ノ指導又ハ宣傳ヲシタカト云フコトハ、聊カ水掛論ノ嫌ガアリマスカラ止シマスガ、併シ天下何人ト雖モ、此共產黨ノ宣言スル所ヲ、外務大臣ノ御話ノヤウナ風ニ解釋スル者ハナカラウト思フノデアリマス、クレトモ私共ハ、今ノ外務大臣ガ對支企業ニ付テ、我が貿易企業ニ付テ、冷眼視シテ居ラレルコトニ對シテ、遺憾ノ意ヲ表シテ此質問ヲ打切りタイト思フノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 藤村男爵ガ發言ヲ求メラレマシタカラ發言ヲ許シマス、藤村男爵

○男爵藤村義朗君 昨今我が財界ニ起ツテ居リマス不安動搖ハ、誠ニ容易ナ

ラス事態デアルト考ヘルノデアリマス、故ニ私ハ此際極メテ簡單ニ政府ニ緊急質問ヲ致シタイト存ズルノデアリマス、御許シテ願ヒタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 藤村男爵ノ要求ヲ許シテ御異存ゴザイマセスカ
 「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、藤村男爵

〔男爵藤村義朗君演壇ニ登ル〕

○男爵藤村義朗君 今朝新聞紙ノ傳フル所ニ依リマスレバ、都下及横濱ニ於ケル二三有力ナル銀行ハ、預金者ノ取付ニ遭ヒマシテ、資金調達ガ不能ト相成リ、遂ニ破綻ヲ來シテ、休業スルノ已ムナキニ至ッタト云フコトデアリマス、既ニ先日渡邊銀行外一二ノ銀行ノ破綻ヲ見ルニ至リマシタ、而シテ今又斯ノ如キ財界ニ動搖ノ兆ヲ見ルニ至リマシタコトハ、誠ニ遺憾至極ニ存ズルノデアリマス、大藏大臣ハ、此財界不安ノ原因ヲ、震災手形關係ノ法案ガ議會ヲ通過スルニ當リマシテ、圖ラズモ政治化サレタ爲デアルト云フヤウニ、昨日御話ガアッタヤウニ承ツテ居ルノデアリマス、私ハドウモ左様ニハ考ヘラレナイノデアリマス、震災手形關係ノ法案ガ議會ニ提出サレマシタ以上、議會ガ之ヲ政治上ノ見地ヨリ、或ハ經濟上ノ見地ヨリ致シテ論議審查イタシマスルコトハ、是ハ當然ノコトデアリマス、政治化シタトカセヌト云フコトハ、全ク無意味ナル御言葉デハナイカト私ハ思フノデアリマス、本案ヲ政府ガ議會ニ提出サレマシタ其事自體ガ、今回ニ於ケル財界ノ不安ヲ惹起シタ原因デ、即チ政府ガ平地ニ波瀾ヲ起サレタモノト見ルノガ、私ハ至當デハナイカト考ヘルノデアリマス、而シテ兩院ニ於テ之ヲ審議スルニ當リマシテ、兩院議員ノ德義ニ信頼セラレズシテ、當然爲サザルベカラザル案ノ内容ノ説明ヲ、政府ガ色々兎ヤカウ仰シヤツテ拒絶セラレマシタ事實、又大藏大臣又ハ政府委員ノ兩院ニ於ケル質問應答ノ際ニ於ケル御説明ニ、度々相違ガアリ、若クハ矛盾ガアリマシタ如キ事實、或ハ又甚ダ失禮ナ申分デアリマスケレドモ、大藏大臣ノ極メテ輕卒ナル御失言ノ如キガ、益々此法案ニ對スル國民ノ疑惑ヲ深カラシメテ、何等カ裏ニ裏ガアリ、底ニ底ガアリハシナイカト云

フヤウナ感ジラ起サセマシテ、遂ニ斯ノ如キ恐慌ノ初歩トモ云フベキ事態ヲ惹起シマシタコトハ……惹起シタノチャナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、即チ大藏大臣ノ仰セラレマシタ財界ノ癘ヲ刺戟イタシテ、之ヲ破裂セシメマシタ其責ハ、政府ニ在ルノデハナイカト云フコトヲ私ハ感ズルノデアリマス、併ナガラ私ハ何モ今日茲ニソレ等ノ責任ヲ問フト云フ意思モ持ッテ居リマセヌ、又政府ノ此法案ニ對スル失態ヲ追究スルト云フ念慮ハ持ッテ居リマセヌ、唯、爛頭焦眉ノ急務デアアル昨今起ッテ居リマス動搖不安ニ對スル措置ニ付テ、政府ガ如何ナル御意見ヲ持ッテ居ラレカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、新聞ニ依リマスルト、大藏大臣ハ昨日斯様ナコトヲ仰セラレタノデアリマス、聞ク所ニ依レバ、此震災手形關係法案モ漸ク通過ノ趨勢ヲ示スヤウニナツタカラ、右兩案ニ依リ金融疏通、銀行整理ノ目的モ達セララルコトトナルベク、尙ホ政府ハ日本銀行ト協力シ、極力財界ノ現状ヲ救済スルノ手段ヲ講ジツアリト云フ風ニ仰セラレテ居ル、又日本銀行當局ハ、斯ウ云フコトヲ申シテ居ルノデアアル、今後日銀當局ガ現在ノ銀行ニ對シテ如何ナル方針ヲ以テ救済ニ當ルカハ、目下ノ所言明ノ限デハナイガ、自立ノ見込アルモノニ對シテハ、徹底的ニ資金ノ融通ヲ行ヒ、救済ニ努メル方針ヲ有シテ居ルト云フコトデアリマス、此震災手形法案ガ、一二貴族院會派ノ人ト政府筋ノ人トニ依ッテ、待合政治的ニ如何ナル妥協ガ出來マシタカ、私ハ存ジマセヌ、又是ガ通過スルカセヌカト云フコトモ存ジマセヌノデアリマスケレドモ、併ナガラ斯ノ如キコトヲ仰セラレマスルコトハ、餘程マダ今日ノ財界ノ不安動搖ヲ、政府ニ於カレマシテハ餘程輕ク見テオイデニナルノデハナカラウカト私ハ思フノデアリマス、私共ノ考ト致シマシテハ、是ハ容易ナラヌコトデアッテ、之ヲ昨今ノ四五ノ銀行ノ臨時休業ヲ導火ト致シマシテ、政府及日銀ノヤリ様次第デ、非常ナル恐慌ヲ惹起スヤウニナリハシマイカト云フコトヲ恐レテ居ルノデアリマス、何故ニ政府ハ、先達テ渡邊銀行ガ破綻ヲ來シマシタル際ニ直チニ、萬一今後他ノ銀行ニ對シテ預金者ノ取付ノ起ツタヤウナ場合ニハ、日本銀行ハ全力ヲ擧ゲテ其銀行ヲ援助スルト云フコトヲ、日本銀行ヲ

シテ聲明セシメラレナカッタノデアラウカ、又日本銀行ガ……日本銀行ノ援助ガ致シ切レナイヤウナコトニナリマシタナラバ、政府ハ國家財力ノ全力ヲ擧ゲテ日銀ヲ援助スルト云フコトヲ、何故ニ政府ニ於カレテハ御聲明ニナラナカッタノデアリマセウカ、今日ノ如キ際ニ於テ、政府及日銀ガ臨機非常手段ヲ執ルト云フコトハ、當然ノ事デアルト私ハ思フ、故ニ私ト致シマシテハ、私ハ此緊急質問ノ機會ニ於テ、政府當局ガ、只今私ガ申上ゲタヤウナ御聲明ノアラムコトヲ切ニ希望スル次第デアリマスガ、政府ハ如何ナル御意見ヲ持ッテ居ラレカ、ソレヲ承リタイ、併セテ昨今ノ財界ノ動搖ノ實狀ニ付テ、ドウ云フ次第デアリマスカ、其邊ノコトヲモ一應承ッテ置キタイノデアリマス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 只今藤村男爵カラ御質問デアリマシタ、金融界ニ於テ藤村君ノ御述べニナリマシタヤウナ事實ノアリマスコトハ、誠ニ遺憾デアリマスガ、政府トシテハ、全力ヲ擧ゲテ此事實ヲ平靜ニ歸セシメタイト考ヘテ居ルノデアリマス、日本銀行當局ニ於テモ、其決心ハ同様デアリマシノデ、政府ト中央銀行トノ協力ニ依ッテ、此財界ノ狀態ヲ一日モ速ニ安靜ナラシムルコトニ努力スル考デ居リマス、是ダケ申上ゲテ、政府ノ決心ヲ申上ゲテ置キタイノデアリマス

○男爵藤村義朗君 私ハ只今若槻大藏大臣ノ御聲明ニ對シマシテ……總理大臣デス、誤リマシタ、多大ノ満足ヲ感ジテ居ル者デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第六、市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和二年三月十九日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 粕谷義三

市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案

市町村義務教育費國庫負擔法中左ノ通改正ス

第二條中「七千萬圓」ヲ「七千五百萬圓」ニ改ム

附 則

本法ハ昭和二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣岡田良平君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(岡田良平君) 只今上程ニナリマシタ市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案ノ趣旨ハ、從來、市町村立小學校ニ對シマスル國庫負擔金ハ七千万圓ヲ下ルコトヲ得ズトゴザイマシタノヲ、昭和二年度ヨリ更ニ五百万圓ヲ増加イタシマシテ、七千五百萬圓ヲ下ルコトヲ得ズト、斯様ニ改正イタスノデゴザイマス、簡單ナ法律案デゴザイマス、速ニ御審査ノ上御協贊ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔長書記官朗讀〕

市町村義務教育費國庫負擔法中改正法律案特別委員

伯爵川村鐵太郎君 子爵大河内輝耕君 子爵野村益三君

男爵今園國貞君 澤柳政太郎君 鎌田榮吉君

赤池濃君 橋本萬右衛門君 小林嘉平治君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第七、保稅倉庫法中改正法律案、第八、保稅工場法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

保稅倉庫法中改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和二年三月十九日

衆議院議長 粕谷義三

貴族院議長公爵徳川家達殿

保稅倉庫法中改正法律案

保稅倉庫法中左ノ通改正ス

第一條中「外國ニ輸出スヘキ」ヲ「命令ノ定ムル所ニ依リ」ニ改ム

第一條ノ二 保稅倉庫ニ於テハ稅關長ノ許可シタル範圍内ニ於テ貨物ノ改装、仕分其ノ他ノ手入ヲ爲スコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ手入ノ材料トシテ内國貨物ヲ外國貨物ニ、外國貨物ヲ

内國貨物ニ使用セムトスルトキハ稅關ノ承認ヲ受クヘシ

第三條 保稅倉庫ニ藏置シタル外國貨物ノ輸入稅ハ輸入ノ時ノ性質及數量

ニ依リ之ヲ徵收ス但シ命令ノ定ムル所ニ依リ庫入ノ際稅關ノ検査ヲ受ケ

タルモノニ付テハ其ノ輸入稅ハ庫入ノ時ノ性質及數量ニ依リ之ヲ徵收ス

前項ノ検査ヲ受ケタル外國貨物カ其ノ藏置中災害ニ因リ滅失若ハ變質シ

又ハ稅關ノ承認ヲ經テ滅却セラレタルトキハ其ノ現存スル部分ニ付輸入

ノ時ノ性質及數量ニ依リ輸入稅ヲ徵收ス

第五條、第十八條、第二十四條及第二十六條中「主務大臣」ヲ「稅關長」ニ改ム

第五條ノ二 保稅倉庫ニ貨物ヲ庫入シ又ハ保稅倉庫ヨリ貨物ヲ庫出セムト

スルトキハ稅關ノ許可ヲ受クヘシ

第七條中「滿二箇年」ヲ「三年」ニ改ム

第九條中「當該官廳」及「政府」ヲ「稅關」ニ改ム

第一章中第九條ノ次ニ左ノ三條ヲ加フ

第九條ノ二 保稅倉庫ニ藏置シタル貨物カ藏置期限ヲ經過スルモ引取ラレ

第九條ノ二 保稅倉庫ニ藏置シタル貨物カ藏置期限ヲ經過スルモ引取ラレ

サルトキハ税關ハ利害關係者ノ費用及危險ノ負擔ニ於テ其ノ貨物ヲ收容シ又ハ庫主ヨリ其ノ輸入税ヲ徴收ス

第九條ノ三 税關長ハ取締上必要アリト認ムルトキハ藏置貨物ノ手入ノ停止又ハ庫出ヲ命シ其ノ他必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ貨物ノ庫出ヲ命セラレタル者之ヲ庫出セサルトキハ税關ハ其ノ者ノ費用及危險ノ負擔ニ於テ其ノ貨物ヲ收容スルコトヲ得

第九條ノ四 關稅法第三條中收容ニ關スル規定竝同法第四十七條、第四十八條及第五十條乃至第五十二條ノ規定ハ本法ニ依リ收容シタル貨物ニ之ヲ準用ス

第十二條及第十七條中「當該官廳」ヲ「税關」ニ改ム

第十六條 削除

第十九條及第二十七條中「當該官廳」ヲ「税關長」ニ改ム

第二十三條 削除

第三十條中「主務大臣」ヲ「税關長」ニ、「重罪輕罪ノ刑」ヲ「禁錮以上ノ刑」ニ改ム

第三十一條 第一條ノ二ノ規定ニ違反シテ貨物ノ手入ヲ爲シ又ハ貨物ヲ使用シタル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第三十二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
一 許可ヲ受ケスシテ保税倉庫ニ貨物ヲ庫入シ又ハ保税倉庫ヨリ貨物ヲ庫出シタル者

二 認可ヲ受ケタル貨物保管規則ニ依ラスシテ貨物ノ取扱ヲ爲シ又ハ認可ヲ受ケサル庫敷料ヲ徴シタル者

三 第二十五條ノ検査ヲ拒ミ、妨ケ又ハ忌避シタル者

第三十三條 施設保税倉庫ノ庫主又ハ輸出若ハ輸入ノ業ヲ營ム者ノ代理人又ハ使用人カ其ノ業務ニ關シ第三十一條又ハ前條ノ規定ニ依リ處罰セラレヘキトキハ其ノ庫主又ハ營業者ヲ處罰ス但シ庫主又ハ營業者カ其ノ代理人又ハ使用人ノ監督ニ付相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スル場合及

税關貨物取扱人カ貨物ノ取扱ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

税關貨物取扱人ノ代理人、雇人其ノ他ノ從業者カ其ノ業務ニ關シ第三十一條又ハ前條ノ規定ニ依リ處罰セラレヘキトキハ税關貨物取扱人ヲ處罰ス

第三十四條 前條ノ場合ニ於テ庫主、營業者又ハ税關貨物取扱人カ未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ヲ處罰ス但シ業務ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十四條ノ二 本法ヲ犯シタル者ニハ刑法第三十八條第三項但書、第三十九條第二項、第四十條、第四十一條、第六十三條及第六十六條ノ例ヲ用ヒス但シ第三十二條第三號ノ罪ヲ犯シタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
第三十四條ノ三 犯則事件ノ調査及處分ニ關シテハ關稅法ヲ準用ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

本法施行前主務大臣カ施設保税倉庫、藏置貨物ノ種類、貨物保管規則又ハ庫敷料ニ付爲シタル特許、認可其ノ他ノ處分ハ税關長ノ爲シタル特許、認可其ノ他ノ處分トシテ本法施行後仍其ノ效力ヲ有ス

本法施行前ヨリ引續キ保税倉庫ニ藏置シタル貨物ニ付テハ其ノ藏置期限ハ最初ノ庫入許可ノ日ヨリ三年トシ其ノ輸入税ハ仍從前ノ例ニ依リ之ヲ徴收ス

保税工場法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和二年三月十九日

衆議院議長 柏谷義三

貴族院議長公爵德川家達殿

保稅工場法案

保稅工場法

第一條 保稅工場ハ外國貨物ニ加工シ若ハ之ヲ原料トシテ製造ヲ爲シ又ハ外國貨物ノ改装、仕分其ノ他ノ手入ヲ爲ス工場トス貨物ノ混合ハ之ヲ貨物ノ製造ト看做ス

第二條 保稅工場ニ於テハ稅關長ノ許可シタル範圍内ニ於テ内國貨物ニ加工シ又ハ之ヲ原料トシテ製造ヲ爲スコトヲ得

第三條 保稅工場ニ於ケル作業ノ原料ニハ内國貨物ト外國貨物トヲ使用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ内國貨物ト外國貨物トヲ使用シタル貨物ハ之ヲ外國貨物トス

第四條 保稅工場ニ於ケル作業及貨物ノ種類ハ稅關長之ヲ定ム

第五條 保稅工場ノ外國貨物ノ輸入稅ハ輸入ノ時ノ性質及數量ニ依リ之ヲ徵收ス但シ命令ヲ以テ指定シタル外國貨物ニシテ作業ノ際其ノ原料ニ付稅關ノ検査ヲ受ケタルモノノ輸入稅ハ命令ノ定ムル所ニ依リ検査ノ時ノ原料ノ性質及數量ニ依リ之ヲ徵收ス

前項但書ノ場合ニ於テハ徵收スベキ輸入稅ノ外命令ノ定ムル所ニ依リ其ノ利子ニ相當スル金額ヲ徵收スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ徵收スル金額ハ之ヲ輸入稅ト看做ス

第六條 保稅工場ノ貨物藏置期間ハ移入許可ノ日ヨリ一年トス但シ稅關長ハ特別ノ事由アリト認ムル場合ニ於テハ更ニ一年ヲ超エザル期間内ニ於テ之ヲ延長スルコトヲ得

前項ノ期間ハ他ノ保稅工場ヨリ移入シタル貨物ニ付テハ最初ノ移入許可ノ日ヨリ之ヲ計算ス

第七條 稅關官吏ハ取締上必要アリト認ムルトキハ保稅工場ニ出入スル者ノ身邊搜索ヲ爲スコトヲ得

第八條 私設保稅工場ヲ設置セントスル者ハ稅關長ノ特許ヲ受クベシ

第九條 私設保稅工場ノ使用規則及使用料ハ稅關長ノ認可ヲ受ケ之ヲ定ムベシ

第十條 保稅倉庫法第五條ノ二、第九條ノ二、第九條ノ三、第十九條、第二十条及第二十五条乃至第三十条ノ規定ハ保稅工場ニ之ヲ準用ス

第十一條 關稅法第三條中收容ニ關スル規定並同法第四十七條、第四十八条及第五十条乃至第五十二条ノ規定ハ本法ニ依リ收容シタル貨物ニ之ヲ準用ス

第十二條 第二條又ハ第四條ノ規定ニ違反シテ作業ヲ爲シタル者ハ三百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス
一 許可ヲ受ケズシテ保稅工場ニ貨物ヲ移入シ又ハ保稅工場ヨリ貨物ヲ移出シタル者

二 第七條ノ搜索又ハ第十條ニ於テ準用スル保稅倉庫法第二十五条ノ検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者

三 認可ヲ受ケタル使用規則ニ依ラズシテ保稅工場ヲ使用セシメ又ハ認可ヲ受ケザル使用料ヲ徵シタル者

第十四條 私設保稅工場設置ノ特許ヲ受ケタル者又ハ輸出若ハ輸入ノ業ヲ營ム者ノ代理人又ハ使用人が其ノ業務ニ關シ第十二條又ハ前條ノ規定ニ依リ處罰セラレベキトキハ其ノ特許ヲ受ケタル者又ハ營業者ヲ處罰ス但シ特許ヲ受ケタル者又ハ營業者ガ其ノ代理人又ハ使用人ノ監督ニ付相當ノ注意ヲ爲シタルコトヲ證明スル場合及稅關貨物取扱人が貨物ノ取扱ヲ爲シタル場合ハ此ノ限ニ在ラズ

稅關貨物取扱人ノ代理人、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ第十二條又ハ前條ノ規定ニ依リ處罰セラレベキトキハ稅關貨物取扱人ヲ處罰ス

第十五條 前條ノ場合ニ於テ特許ヲ受ケタル者、營業者又ハ稅關貨物取扱人が未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ヲ處罰ス但シ業務ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十六條 本法ヲ犯シタル者ニハ刑法第三十八條第三項但書、第三十九條

第二項、第四十條、第四十一條、第六十三條及第六十六條ノ例ヲ用ヒズ

但シ第十三條第二號ノ罪ヲ犯シタル者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第十七條 犯則事件ノ調査及處分ニ關シテハ關稅法ヲ準用ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

假置場法ハ之ヲ廢止ス

舊法ニ依リテ特許セラレタル私設假置場ハ之ヲ本法ニ依リテ特許セラレタ

ル私設保稅工場ト看做シ舊法ニ依リテ認可セラレタル貨物藏置規則及庫敷

料ハ之ヲ本法ニ依リテ認可セラレタル使用規則及使用料ト看做ス

舊法ニ依リテ爲シタル處分及手續ハ本法中之ニ相當スル規定アル場合ニ於

テハ本法ニ依リテ之ヲ爲シタルモノト看做ス

舊法ニ依リテ假置場ニ藏置シタル貨物ニシテ引續キ保稅工場ニ在ル貨物ノ

藏置期間ハ最初ノ移入免許ノ日ヨリ一年トス但シ之ヨリ長キ期間ヲ認メラ

レタル貨物ニ付テハ其ノ期間ニ依ル

前項ノ貨物ノ輸入稅ハ仍從前ノ例ニ依リ之ヲ徵收ス

他ノ法令中稅關假置場又ハ假置場トアルハ保稅工場トス

〔政府委員武内作平君演壇ニ登ル〕

○政府委員(武内作平君) 只今議題ニ上ボリマシタ保稅倉庫法中改正法律案

及保稅工場法案ニ付キマシテ、大體ノ御説明ヲ申上ゲマス、現行保稅倉庫法

ハ明治三十年ニ、同假置場法ハ明治四十五年ニ制定セラレマシタノデゴザイ

マスガ、我が經濟界ハ其後長足ノ進歩發達ヲ遂ゲ、貿易ノ狀況等モ亦大イニ

變化イタシマシタ爲メ、兩法共ニ現下ノ實情ニ適應セザル點ヲ生ズルニ至ッ

タノデアリマス、依テ政府ニ於キマシテハ、諸般ノ事情ニ付キ慎重審議ヲ遂

ゲ、且ツ當業者ノ希望ノ存スル所ヲモ考慮イタシタル結果、現行法ヲ改正ス

ルヲ適當ト認メ、茲ニ保稅倉庫法中改正法律案及假置場法ニ代ル保稅工場法

案ヲ提出イタシタ次第デゴザイマス、兩法案ヲ努メテ本邦ノ貿易及商取引等

ノ實情ニ適應セシメムトスルト同時ニ、關稅取締上支障ナキ限ハ、手續其他

ニ關スル當業者ノ負擔ヲ成ルベク輕減イタシ、以テ我が貿易ノ振興ニ寄與セ

ムトスル趣意ヲ以テ提案イタシタル次第デゴザイマス、何卒御審議ノ上協贊

ヲ與ヘラレムコトヲ御願ヒ致シマス

○議長(公爵德川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀イタサセマ

ス

〔山本書記官朗讀〕

保稅倉庫法中改正法律案外一件特別委員

子爵八條 隆正君 子爵綾小路 護君 内田 嘉吉君

男爵 北河原 公平君 添田 壽一君 室田 義文君

西野 元君 尾崎 元次郎君 田村 駒治郎君

○議長(公爵德川家達君) 日程第九、防火地區内借地權處理法案、政府提出、

衆議院送付、第一讀會

防火地區内借地權處理法案

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和二一年三月十九日

衆議院議長 粕谷 義三

貴族院議長公爵德川家達殿

防火地區内借地權處理法案

防火地區内借地權處理法案

第一條 本法ニ於テ借地權ト稱スルハ建物ノ所有ヲ目的トスル地上權及土

地ノ賃借權ヲ謂フ

第二條 市街地建築物法ニ依リテ指定セラレタル甲種防火地區内ニ於テ同法第十三條ニ基ク命令ニ定メラレタル建物以外ノ建物ノ所有ヲ目的トスル借地權ヲ有スル者ガ其ノ土地ニ建物ヲ築造セントスル場合ニ於テ借地條件ノ變更ニ關シ當事者間ニ協議調ハザルトキハ裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ防火地區内借地委員會ノ意見ヲ聽キ借地權ノ殘存期間、從前ノ借地條件、土地ノ狀況、借地ニ關スル從前ノ經過等一切ノ事情ヲ斟酌シテ借地條件ノ變更其ノ他當事者間ノ衡平ヲ維持スル爲相當ノ措置ヲ命ズルコトヲ得甲種防火地區外ニ互リテ借地權ヲ有スル者其ノ境界線ヲ超エテ建物ヲ築造スルノ必要アル場合亦同ジ

前項ノ申立ハ其ノ事件ニ付先ヅ借地借家調停法ニ依ル調停ノ申立アリテ其ノ調停ノ成ラザリシ場合ニ非ザレバ之ヲ爲スコトヲ得ズ

第三條 前條ノ裁判ヲ爲ス場合ニ於テ裁判所ハ當事者ノ申立ニ因リ相當ノ出捐其ノ他適當ノ條件ニテ借地權ノ消滅ヲ命ズルコトヲ得

第四條 本法ノ裁判ハ借地ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ニ於テ非訟事件手續法ニ依リ之ヲ爲ス

第五條 防火地區内借地委員會ハ五人以上ノ委員ヲ以テ之ヲ組織ス

第六條 防火地區内借地委員ハ特別ノ知識經驗アル者其ノ他適當ナル者ニ就キ毎年豫メ地方裁判所長ノ選任シタル者又ハ當事者ノ合意ニ依リ選定セラレタル者ノ中ヨリ各事件ニ付裁判所之ヲ指定ス

第七條 防火地區内借地委員會ノ決議ハ委員ノ過半數ノ意見ニ依ル

第八條 防火地區内借地委員會ノ評議ハ祕密トス

第九條 防火地區内借地委員ニハ旅費、日當及止宿料ヲ給ス其ノ額ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第十條 本法ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得其ノ期間ハ之ヲ二週間トス

前項ノ即時抗告ハ執行停止ノ效力ヲ有ス

第十一條 本法ノ裁判ニシテ財産上ノ給付ヲ命ズルモノハ執行力ヲ有スル債務名義タルノ效力ヲ有ス

第十二條 本法ノ裁判ノ費用ニ付テハ民事訴訟費用法第十六條及民事訴訟用印紙法第十六條ノ規定ニ依ル

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
 本法施行ノ地區ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔國務大臣江木翼君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(江木翼君) 只今議題ニ上ボリマシタル防火地區内借地權處理法案ニ付キマシテ、提出理由ヲ簡單ニ申上ゲマスル、御承知ノ通り、市街地建築物法ニ依リマシテ指定セラレマシタル甲種防火地區内ニ於キマシテハ、建物ノ構造ニ付キマシテ著シキ相違ガアルノデアリマス、從テ借地權者ガ是等ノ地區内ニ於テ建物ヲ築造セムト致シマスル場合ニハ、從來ノ借地契約デハ幾多ノ支障ヲ生ズルモノガアリマスノデ、此際適當ノ方法ニ依リマシテ當該借地條件ヲ變更シ、一面借地關係ノ公平ニシテ圓滿ナル解決ヲ圖リマスルト同時ニ、他面防火地區計畫ノ進捗ヲ圓滑ナラシムルノ必要ヲ認メマシテ、本法ヲ提出イタシタ次第ゴザイマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ特員委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔長書記官朗讀〕

防火地區内借地權處理法案特別委員

- 伯爵松 浦 厚君 子爵池田 政時君 子爵渡邊 七郎君
- 男爵大寺 純藏君 西久保 弘道君 岡田 文次君
- 永田 秀次郎君 佐々木志賀二君 森田 福市君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十、第十一、第十二、第十三、第十四、第十五、第十六、第十七、第十八、第十九、第二十、第二十一、承諾ヲ求ムル件、衆議院送付、會議

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長 粕谷義三

大正十三年度第一豫備金支出ノ件

大正十三年度特別會計第一豫備金支出ノ件

大正十四年度第二豫備金支出ノ件

大正十四年度豫備金外ニ於テ豫算外支出ノ件

大正十四年度特別會計第二豫備金支出ノ件

大正十四年度特別會計豫備金外ニ於テ豫算超過及豫算外支出ノ件

臨時軍事費特別會計豫備費支出ノ件

自大正六年二月二十六日
至大正九年六月二十五日 臨時軍事費特別會計豫備費外ニ於テ豫算超過支出ノ件

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和二年三月十九日

衆議院議長 粕谷義三

貴族院議長公爵徳川家達殿

大正十四年度第一豫備金支出ノ件

大正十四年度特別會計第一豫備金支出ノ件

大正十五年
昭和元年 度第二豫備金支出ノ件

大正十五年
昭和元年 度特別會計第二豫備金支出ノ件

右本院ニ於テ承諾スヘキモノト議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和二年三月十九日

〔政府委員武内作平君演壇ニ登ル〕

○政府委員(武内作平君) 大正十三年度第一豫備金支出外十一件ニ關スル事後承諾ヲ求ムル爲メ、玆ニ議案ヲ提出イタシマシタニ付キ、其大體ノ説明ヲ致サウト存ジマス、大正十三年度一般會計第一豫備金ノ施行豫算額ハ六百萬圓デアリマシテ、大正十三年勅令第三百三十八號ニ依リ第一豫備金ヨリ補充イタシマシタル主ナル事項ハ、外務省所管在勤俸、衛生試驗所阿片費、諸拂戻及補填金、家畜傳染病豫防費等デアリマシテ、何レモ必要缺クベカラザル豫算ノ不足ニ對シテ充用シタルモノデアリマシテ、其總額五百九十四萬六千五百四十八圓デアリマス、又朝鮮總督府其他ノ特別會計ニ於キマシテモ、各、其第一豫備金ヨリ豫算超過ノ支出ヲナシタルモノガアリマス、大正十四年度一般會計第二豫備金ノ豫算額ハ八百萬圓デアリマシテ、支那事件費、山陰地方震災復舊貸付金、樺太廳臨時經費補充金、米國獨立百五十年記念萬國博覽會參同費、其他各省所管ニ互ル震災、火災、風水害等ニ因ル復舊及應急諸費等ノ緊急已ムヲ得ザル費途ニ對シ第二豫備金ヲ以テ豫算外ノ支出ヲ爲シタル總額ハ八百萬圓デアリマス、大正十四年度一般會計第二豫備金豫算拂切トナリ、追加豫算ノ成立ヲ待ツ能ハザルガ爲ニ、政府ハ已ムヲ得ズ歲計ノ剩餘金ヲ以テ豫算外ノ支出ヲ爲シタルモノガアリマス、其事項ノ主ナルモノハ、支那關稅特別會議參列費、支那事件費、臨時畜牛傳染病豫防費、震災火災風水害ニ因ル復舊費等デアリマシテ、其總額ハ五百四十三萬八千七百七十三圓デアリマス、各特別會計ニ於キマシテモ、第二豫備金及豫備金外ニ於テ、其歲計剩餘金或ハ歳入金ヨリ豫算外支出ヲ爲シタルモノガアリマス、又大正十三年臨時軍事費ニ關スル臨時軍事費特別會計豫備費ノ當初豫算額ハ二千萬圓、第一次追加豫算額ハ三千万圓、第二次追加豫算額ハ千万圓、合計六千万圓デアリマシテ、臨時軍事費ノ款項ニ於テ豫算ニ不足ヲ告ゲタルガ爲、同特別會計豫備費ヨリ

豫算超過ノ支出ヲ爲シタル總額ハ、五千六百八十一万七千九百十六圓デアリマス、臨時軍事費特別會計豫備金豫算成立前及其拂切り後ニ於テ同特別會計ノ歳入金ヨリ豫算超過ノ支出ヲ爲シタル總額ハ、一億三千六百八十万六千十六圓デアリマス、以上ハ曩ニ第五十一議會ニ提出イタシマシタル所、衆議院ニ於テハ議決セラレマシタルモ、當院ニ於キマシテ議決ニ至ラズシテ閉會ニナリマシタルニ付キマシテ、先例ニ從ヒ今議會ニ再ビ之ヲ提出イタシタル次第デアリマス、次ニ大正十四年度一般會計豫備金支出ニ付キ申上ゲマス、大正十四年度勅令第二百十七號ノ第一豫備金ヨリ補充イタシマシタル主ナル事項ハ、傳染病豫防、檢疫所費、海軍受託造修費、家畜傳染病豫防費、染料製造獎勵金等デアリマス、各特別會計ニ於キマシテモ其第一豫備金ヨリ豫算超過ノ支出ヲ爲シタルモノガアリマス、次ニ大正十五年即チ昭和元年度第二豫備金支出ニ付キ申上ゲマス、一般會計第二豫備金支出ノ主ナル事項ヲ舉ゲマスレバ、北海道十勝嶽爆發被害復舊諸費、軍艦派遣諸費、國際諸會議參列費及補足、海底電線修繕費、其他各省所管ニ互リ火災、風水害ニ因ル復舊及新營費等デアリマス、尙ホ朝鮮總督府、臺灣總督府ノ各特別會計ニ於キマシテモ、其第二豫備金デ支出ヲ爲シタルモノガアリマス、以上御審議ノ上御承諾ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀ヲ致サセマス

〔山本書記官朗讀〕

大正十三年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)外十一件特別委員

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 侯爵 四條 隆愛君 | 侯爵 徳川 圀順君 | 子爵 櫛笥 隆督君 |
| 子爵 渡邊 千冬君 | 和田 彦次郎君 | 男爵 黒田 長和君 |
| 徳富 猪一郎君 | 菊池 恭三君 | 三木 與吉郎君 |

○議長(公爵徳川家達君) 午後一時三十分マデ休憩イタシマス

午後零時四分休憩

午後一時四十五分開議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ書記官ヲシテ報告ヲ致サセマス

〔山本書記官朗讀〕

本日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

議院法中改正法律案修正報告書

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、近衛公爵

○公爵(近衛文麿君) 此際、日程ヲ變更セラレテ議院法中改正法律案第一讀會ノ續ヲ上程セラレムコトヲ希望イタシマス

○子爵吉大路吉光君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 近衛公爵ノ議事日程追加ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス……政府ノ同意ヲ求メマス

○議長(公爵徳川家達君) 政府ノ同意ヲ得マシタ……議院法中改正法律案、衆議院提出、第一讀會ノ續、委員長報告、近衛公爵

議院法中改正法律案

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

昭和二年三月二十二日

右特別委員長

公爵 近衛 文麿

貴族院議長公爵徳川家達君

議院法中左ノ通改正ス

(小字及——ハ特別委員修正)

議院法中左ノ通改正ス

第四十條ニ左ノ一項ヲ加フ

豫算案カ貴族院ニ移サレタルトキハ豫算委員ハ其ノ院ニ於テ受取りタル日ヨリ二十一日以内ニ審査ヲ終リ議院ニ報告スヘシ

各議院ハ已ムコトヲ得サル事由アルトキハ議決ヲ以テ審査期間ヲ延長スルコトヲ得但シ其ノ期間ハ通シテ五日ヲ超ユルコトヲ得ス

〔公爵近衛文麿君演壇ニ登ル〕

○公爵近衛文麿君 委員會ノ經過ヲ簡單ニ御報告イタシマス、委員會ニ於キマシテハ、先ツ總理大臣ノ出席ヲ特ニ求メマシテ、此案ニ對スル政府當局ノ意嚮ヲ重ネテ御尋ネ致シタノデアリマス、其際總理大臣ヨリ述べラレマシタル所ハ、大體、過日本會議ニ於テ述べラレタル所ト同様デアリマシタ、即チ此案ノ通過ト否トハ必シモ、政府ノ便宜ノ上カラ申セバ問題デハナイケレドモ、併ナガラ同ジ豫算ヲ審査スルニ當ツテ、衆議院ニ於テハ制限ヲ附シ、貴族院ニハ其制限ガナイト云フコトハ、兩院ニ對シテ差別ヲ設クルガ如キ誤解ヲ起ス虞ガアルカラシテ、政府ト致シテハ成ルベク兩院ノ取扱ヲ平等ニ致シタイト云フ、一種ノ權衡論ヲ述べラレタノデアリマス、之ニ對シテ一委員ヨリ、可ナリ熱心ナ反對ガゴザイマシタ、其反對ハ、豫算先議權ヲ有スル所ノ衆議院ハ、其豫算ヲ審議シテ更ニ之ヲ貴族院ニ廻付シナケレバナラヌガ故ニ、衆議院ノ豫算審議ニ對シテ期限ヲ設ケルト云フコトハ已ムヲ得ナイケレドモ、貴族院ニ於テハ其豫算ヲ議決シテシマヘバ、之ヲ他ニ廻付スベキ場所ガ無イノデアアル、從テ貴族院ニ於テ豫算ノ審議ニ日限ヲ附スルト云フ理由ハ、毫モ見出セナイ、又豫算ノ審議ト云フコトト、豫算關係ノ法律案ノ審議、此ニツハ相並行シテ、相調和シテ行ク必要ガアル、然ルニ貴族院ノ豫算審議ニ對シテ期限ヲ附スルト云フコトハ、此必要ノ上カラ見テモ、甚ダ不便ヲ感ゼシメルモノデアアル、我々ハ議院法、此憲法附屬ノ重要ナル法典デアアル所ノ此議院法ニ於テ、十分ニ豫算ヲ審議スベキ餘裕ヲ與ヘラレテ居ル、然ルニ政府ノ言フガ如キ薄弱ナル一種ノ論據、權衡論若クハ平等論ト云フガ如キ薄弱ナ

ル論據ニ依ツテ、此我々ニ與ヘラレタル權能ヲ制限ヲ致スト云フコトハ、是ハ大キク申セバ貴族院ノ權限縮小デアルト見ラレルノデアアル、又豫算ト法律トノ關係カラ申シテモ、今期議會ノ議事ノ進行ニ鑑ミ、斯ノ如キ制限ヲ附スルト云フコトハ、甚ダ不便デアルト云フヤウナ御論デアリマシタ、併ナガラ委員ノ多數ノ空氣ト申シマスカ、御意見ハ、理窟ハドウニデモ付ク、贊成論ニモ理窟ガアリ、反對論ニモ理窟ガアルガ、此案ハ既ニ三度マデ、衆議院ヲ全會一致ヲ以テ通過イタシテ居ル、此三度マデ衆議院ヲ全會一致ヲ以テ通過イタシタト云フコトハ、貴族院トシテ最モ深甚ナル考慮ヲ拂ハナケレバナラヌ、又豫算ト法律トノ調和ト云フ上カラノ便宜論ニ對シテモ、茲ニ二十一日ト云フ餘裕ガアレバ、衆議院ニ於テモ此期限ノ間ニ於テ審議ガ出來ルノデアラカラシテ、貴族院デモ出來ナイコトハナカラウト云フヤウナ譯デアリマシテ、大體此案ヲ通過セシムルト云フコトニ、大多數ハ一致イタシタノデアリマス、ソレデ唯多少ノ修正ヲ之ニ加ヘマシタ、其修正ハ、御手許ニ差上ゲマシタ通デアリマス、念ノ爲ニ讀ミマス、「四十條ニ左ノ一項ヲ加フ」ト云フ所ヲ「二項」ト致シマス、サウシテ末項ニ、「各議院ハ已ムコトヲ得サル事由アルトキハ議決ヲ以テ審査期間ヲ延長スルコトヲ得但シ其ノ期間ハ通シテ五日ヲ超ユルコトヲ得ス」ト云フ修正ヲ致シテ、大多數ヲ以テ可決イタシタノデアリマス、御報告ヲ終リマス

〔高橋琢也君演壇ニ登ル〕

○高橋琢也君 私ハ只今問題ニナツテ居リマスル豫算審議期間ヲ二十一日ニシタイト云フ衆議院ノ原案、之ニ更ニ五日間以内ノ延期ヲ許スコトヲ得ルト云フ修正ヲ加ヘテ、委員會ハ議決ニナツタ趣ヲ、只今委員長ヨリ御報告ニナリマシタガ、私ハ委員長ニ伺ヒタイノデス、五日以内ト云フモノヲ延バシタラ宜カラウ、五日以内ノ期限ガアッタナレバ、貴族院デハ豫算ノ會議ガ終了シ得ルデアラウト、斯ウ御認メニナツタ根據ハ何處ニゴザリマスカ、何ニ依ツテ之ヲ御認メニナリマシタノデアリマスカ、定メシ委員會デソレゾレ議論ガゴザイマシタラウト思ヒマス、ソレヲ一ツ承リタイ、ソレカラ兩院通ジテ延

期ヲ爲スコトヲ得ルト、斯ウ云フ案ノヤウニ見エマスル、然ルニ衆議院ハ二
十一日以上、一日一時モ延バシテ貰ヒタイト云フ意味ハナイヤウデア
ル、衆議院ガ別ニ好マナイコトヲ、貴族院カラオセツカイニモ、俺ノ方
デモ少シ日ヲ延バスカラ、オ前ノ方デモ延バサヌカト、斯ウ云フヤウニ
モ聞エルノデス、衆議院ノ意嚮ガ果シテ之ヲ延バスト云フコトガ希望
デアルヤ否ヤト云フコトハ、何レノ方面カラカ御質シニナツタ譯デ
ゴザイマスルカ、或ハ唯單ニ衆議院モ斯ウシタラ便利デアラウ、
斯ウ云フ御考デアアルノデアルカ、私ニハチヨット了解ニ苦シムノ
デス、ソレカラ貴族院ノ先例ヲ伺ヒマスルノニ、豫算關係ノ法案ガ
定マラス以上、確定シナイ以上、豫算案ハイツデモ審議ヲ終了ス
ルコトガ出來得ナイ、斯ウナツテ居ルヤウデゴザイマス、是ハドウ
云フヤウニ御考ヘニナルノデゴザイマスルカ、今後ハ總テサウ云フ
法案ニハ關係ハナイ、豫算ニ關係ガアラウトモ、ソレハ顧ミル必要
ハナイ、法案ハ法案トシテ單ニ審議シ、豫算ハ豫算トシテ單ニ審議
スル、サウシテ若モ法案ニ掲ゲタル所ノ豫算ノ金額トカ、何か其
他ノ事項ガ豫算ニ觸レマスルコトガアツタレバ、其時ハ別ニ審議ス
ルト、斯ウ云フ意味デアアルノデゴザイマセウカ、斯ウ延バシテ置
クトハスルケレドモ、併シ若シ法律案ニ拘束セラル、場合ニハ、先
例ニ依ツテ矢張り延バスノデアアルト、斯ウ云フノデゴザイマセウ
カ、之ヲ伺ヒタイ、私ハ元來、衆議院ノ案ニ賛成ナノデス、又憲法
ノ上カラ見テモ、議院法ノ上カラ見テモ、議院法ノ上カラ見テモ、無
論、衆議院ノ案ニ賛成スルノガ當然デアラウト思ヒマス、依テ後
ニ討論ニ至リマシテハ、私別段ニ意見ガゴザイマスルガ、先ヅ以
テ委員長ニ此點ヲ伺ヒタイ

〔藤澤利喜太郎君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 藤澤君ハドウ云フコトデスカ

○藤澤利喜太郎君 委員長ニ御質問ヲ致シタイノデゴザイマスルガ、
只今高橋君ガ述べラレマシタ所ト聯繫シテ居リマスカラ、同時ニ御答
ヲ戴イタ方ガ便宜カト思ヒマス、此際發言ヲ御許シテ願ヒタイト思ヒ
マス

○議長(公爵徳川家達君) 宜シウゴザイマス

○藤澤利喜太郎君 私、御質問ヲ致シタイト存ジマスル點ハ、一部分ハ只
今高橋君カラ御述べニナツタ次第デアリマス、此案ハ極メテ簡單ナル
ガ如クアルニモ拘ラズ、重大ナル問題ノ端緒、端緒ト申シマシテハ、
マダ肯綮ニ當ッテ居ラヌ、其又端緒ノ片鱗デアルト云フ、ソコニ重大
ナル意義ノアルコトト存ジマス、第五十議會及ビ第五十一議會ニ
政府案トシテ提出サレタノデアリマシテ、第五十議會ニ於キマシ
テハ、唯、今回ト異ナル所ハ、此但書ガ貴族院ノ場合ニ限ッテ附ケ
ラレ、其案ガ兩院協議會ニ於テ協議ガ調ハナカッタヤウニ、私ハ
記憶シテ居ルノデアリマス、ソレデ今回ノ此案ト五十議會ノ時ノ
案トノ違ヒハ、五十議會ノ時ニハ、單ニ貴族院ニ限ッテ若干ノ延
期ヲ許スト云フコトデアリマシタ、今度ハ之ヲ衆議院ニマデ及ボ
スト云フ、ソコニ重大ナル差ガアルト思ハレル、此案ニ付キマシ
テハ、元來ノ感情デアルト云フヤウナ言葉ガ用キラレタヤウニ
記憶シテ居リマスガ、私ハ寧ロ感情ト云フヨリハ、心理状態ノ懸
隔ト云ツタ方ガ宜イカト思フノデアリマス、サウ云フ譯デアリ
マスカラ……又仄聞スル所ニ依リマスレバ、衆議院ハ今日ニ至
ルマデ此二十一日ノ期間デ満足シテ居ル、此但書ノヤウナ意味合
ヲ更ニ附加ヘルト云フ意思ハ、衆議院ハ嘗テ發表シテ居ラヌト
云フヤウニ承知シテ居リマス、デアリマスカラ、極ク俗ノ言葉ヲ
用キマスルト、恰モ此但書ノヤウナモノヲ、衆議院ノ方ニ希望モ
無イノニ、コチカラ押掛ケケルニスルト云フヤウナ形ニナラナイ
カト、窃ニ恐レルノデアリマス、前申シタ通り、私ガ他ニ適當ノ
言葉ヲ發見イタシマセヌガ、心理状態ノ懸隔ト云フ、斯ウ云フ性質
ノ問題デアリマス、其道行ニ付キマシテモ、大ニ考慮シナケレ
バナラヌコトト考ヘルノデアリマス、デアリマスカラ之ヲ、各議
院ハ已ムヲ得ザル事由アル時ハ云々、即チ衆議院及貴族院兩方ニ
適用スルヤウナ但書ガ、此際現ハレルコトニ付キマシテハ、或ハ
更ニ心理状態ノ懸隔ヲ増大スルヤウナ懸念ガナイカト云フコトヲ
恐レルノデアリマス、申サバ結果ハ同ジコトニナリマシテモ、先
以テ貴族院ニ於テ此但書ヲ附ケル、何レ是ハ衆議院ノ方ニ回送ニ
ナリ、其上デ衆議院ノ方デ、貴族院デ斯ウ云フ但書ヲ附ケルナ
ラバ、自分ノ方デモ附ケタイ、其意思

ノ發表ガアッタ後ニソレニ同意スルト云フノト、今日豫メ斯ウ決メテシマヒマスノトハ、其間ニ、意思ノ懸隔ト云フヤウナ考慮ノ下ニ於テ、重大ノ相違ガアルト思ヒマス、元來ガ斯ウ云フ性質ノ問題デアリマスカラ、其點ニ付テ、多分特別委員會ノ方ニ於テモ、色々御議論、御考慮モアッタコトデハナイカト推察イタシマス、サウ云フコトガアリマシタカ、アリマシタナラバ其點ニ付テノ模様ヲ、特別委員長カラ伺ヒタイノデアリマス

〔公爵近衛文麿君演壇ニ登ル〕

○公爵近衛文麿君 只今高橋君ノ御質問ノ點ニ付キマシテハ、委員會ニ於キマシテモ、多少ノ議論ハアッタノデアリマス、併ナガラ大シタル議論モナク、修正案ノ通り可決イタシタノデアリマス、斯ウナリマシタ第一ノ理由ト申シマスカ、理由ハ、二十一日ト申シテモ、多少ノソコニ、ユトリヲ附ケテ置イタ方が宜クハナイカト云フ、極ク簡單ナル理由デアリマス、ソレカラ今一ツハ、一昨年ノ議會ニ於キマシテ、貴族院ニ於テハ一週間ノ延期ノ但書ヲ附シテ居ル、今年ハ全然其但書ヲ附セズシテ何スルト云フコトハ、餘リニ一昨年ノ院議ヲ無視シタヤウナ結果ニナリハシナイカト云フ意味カラシテ、五日間ト云フ期限ヲ附シタノデアリマス、ソレカラ衆議院ノ方ヨリ何等ノ要求モナイノニ拘ハラズ、貴族院ニ於テ衆議院ノ方デモ其延期ノ但書ヲ附スルト云フコトハ、如何ナル譯カト云フ御話デアリマシタ、其點ニ付テモ多少ノ論ハアッタノデアリマス、抑、此起リガ、兩院ノ差別的ノ取扱ヲ成ルベク少クスルト云フコトカラ出發イタシタノデアリマスカラシテ、コチラノ審査期限ニ對シテ多少ノ延期ノ餘裕ヲ存スル以上ハ、衆議院ニ對シテモ、ソレダケノ延期ノ日數ガアツテ然ルベキデアラウ、是ハ寧ロ衆議院ニ對スル敬意ノ表徴トシテ、此期間ヲ各議院……兩議院共ニ平等ニ五日間ノ延期ヲ致シテ差支ナイト云フ規定ヲ設ケタ次第デアリマス、大體只今ノ御質問ノ點ニ付キマシテハ委員會ニ於テハ、サシテ大ナル論争ハ見ズシテ可決イタシタ次第デアリマス

○小野塚喜平次君 特別委員長ニ對スル質問ニ對シテノ特別委員長ノ御答ガアリマシタガ、ソレニ付テチヨット補充ノ發言ヲ致シタイト思フノデアリマ

ス、特別委員長カラ前ニ何か補充スルコトガアッタラ遠慮ナシニヤツテ呉レト云フ御話モアリマシタガ、委員長ニ對スル御質問デアリマスカラ、私ガ補充スルノモ如何カト思ツテ居ッタノデアリマス、所ガ今他ノ特別委員長カラ何か言フコトガアッタラ遠慮ナシニ言ツテ宜イト云フ、サウ云フ先例デアアル、斯ウ云フ注意モアリマシタノデアリマスカラ、ソレデ少シバカリ補充シテ見タイト思フノデアリマス、其補充ハ、今日ノ午前此特別委員會ガアリマシタノデアアルカラ、マダ速記録ガ諸君ノ手許ニ御渡リニナツテ居ラナイト思ヒマス、ソレガ渡ツテ居ルナラバ、ソレヲ御覽下サレバ大分解ケルト思フノデアリマス、此但書ニ付テ、特別委員會ニ於テ私ハ多少述ベテ置イタノデアリマス、其但書ノ必要ト云フコトニ付キマシテハ、只今特別委員長カラ大體簡單ナル御答辯ガアッタノデアリマスガ、唯ソレヲ補充シタイト思ヒマス點ハ、是ハ委員會デハナクシテ、委員會ヲ終了イタシマシタ後ニ、一昨日デアリマシタガ、第一回ノ委員會ノ後トデ、懇談會ナルモノヲ開イタノデアリマス、其時ニ無論速記ナシニ色々懇談ヲシテ、何トカ此問題ヲ解決シヤウト云フヤウナ話合ガアッタノデアリマス、其際ニ於ケルコトデアリマシテ、速記録ニハ出テ居リマセヌガ、併シソレヲ只今私ガ補充ニ申スト云フコトガ、非常ニ不都合デアラウトモ私ハ思ハナイノデアリマスカラ、其事ヲチヨット申シタイト思フノデアリマス、ソレハ先程藤澤博士ノ質問ニ、衆議院ノ方デハ要求モシナイ、ソレニコチラカラシテ無理ニ強フルト云フノハ、却テ所謂博士ノ言葉ノ心理的狀態、申サバ感情デアリマスガ、心理的狀態ノ目カラ見テ、却テ宜クハナイ……不都合ハナイカ、宜クナイコトハナイカト云フコトノ御尋デアリマシタ、其點ニ付キマシテハ、サウデハアルマイ、却テ同等デアアル、コチラデ但書ヲ附ケルガ、アナタノ方デモ附ケタラ宜カラウ、ソレハ但書ヲ附ケル積極的ノ理由ハ別ニアリマス、ケレドモ單ニ今ノ心理狀態ト云フ理由カラ見レバ、コチラデ附ケル時ニ向ウデモ附ケルト云フノハ宜カラウ、ト云フ話合ハアッタノデアリマス、ソレハ一方カラ見ルト、衆議院ノ方ニ廻ッタ時ニ、向ウデ但書ヲ附ケタラ附ケテ、ソコニ權衡ヲ得セシムルト、向ウノ感情ニ適スルト

モ言ヒ得ルノデアリマスケレドモ、形ノ上カラ見マスト、サウ致シマスト、貴族院ハ貴族院ダケガ第五十議會ニ於ケルガ如ク但書ヲ附ケルノダ、即チ矢張り同等デヤナイノダ、權衡ノ上カラ貴族院ガ得ヲシテ居ルノダト云フコトハ、現ハレテ來ルノデアリマス、所ガ今ノ第三項ヲ「各議院ハ」トスル時ニ於テハ、我々ダケガ但書ヲ利用スルト云フコトハナイ、アナタノ方デモ同ジヤウニ利用サレルコトガ御便利デモアラウシ、我々トシテモ希望スルノデアリマスト云フコトヲ、ハッキリ言ッテアルノデアリマスカラ、若シ反對ニ貴族院デハ但書ヲ自分ノ方ノミニ附ケテ、衆議院ノ方ヘ此案ヲ回付イタシマシタ時ニ、衆議院ノ方デハ自分ノ方デ又但書ヲ追加スル、ソレガ又貴族院ニ來マシタ時ニ、ソレニ對シテ貴族院ガソレヲ宜イト云ヘバヨシ、或ハ貴族院ダケガ必要デ、衆議院ハ別ニ請求シナンダカラ今更但書ノ均霑ト云フコトハ不都合ダト云フコトヲ貴族院ガ言フカモ知レナイ、サウ云フ幾ラカ不明不安ノ念ヲ懷カスト云フヨリハ、明カニコチラカラシテ兩院同等デアルト云フコトヲ、形ノ上ニ於テ示シテ置ク方ガ却テ宜カラウ、斯ウ云フ風ニ話合ガアッタノデアリマス、ソレカラ又衆議院ハソレデ承認スルデアラウカト云フコトニ付テモ、私ガ確カ先輩諸君ニ御尋ネシタト思ヒマスガ、ソレハ多分承認スルダラウ、コチラダケノ但書デハ無論承認シナイガ、衆議院ニモ同等デアルト云フコトデアレバ、コチラモ多少讓歩シタコトデアルシ、向ウモサウ何時マデモ頑張ラズニ、御互ニ讓歩妥協スル態度デ以テ此問題ヲ解決シヤウト云フコトデ、貴族院ガサウ云フ態度ヲ取ルナラバ、衆議院ノ可ナリ強硬ノ論者モサウ云フヤウニナルト云フダケハ、是ハ雜話デ、何等サウ云フコトヲ仰シヤッタ方ニ根據ハナイト言ッテハオカシイノデスガ、責任問題ヲ起スト云フノデハナイ、マア讓歩トデモ云ヒマスガ、見込トデモ云ヒマスガ、ソレハ兩院同様に但書ヲ附ケルナラバ、多分衆議院モ納得スルデアラウト斯ウ云フ話ハアリマシタ、モウ一ツ念ノ爲ニ申上ゲマスト云フト、私モ其點ニ付テハ、二月二十八日ニ此法案ガ本院ニ於テ初メテ取扱ハレマシタ時ニ、總理大臣ニ對シテ其點ヲ、懸念デアリマシタカラ、假定的デアアルガ、質問ヲ致シマシタ、其

總理大臣ノ御答辯ハ速記録ニアリマスガ、其要點ヲ申シマスト云フト……今ノ點ニ付テ要點ヲ申シマスト云フト、私ハ茲デ何トモ申上ゲ兼ネルノデアリマス、併シ兩院ノ間ガ……ト書イテアリマスガ、期間ガト云フ「期」ノ字ガ落チテ居ルノダラウト思フ、速記……誤植ダラウト思ヒマスガ、兩院ノ「期間ガ」ヲ「間ガ」ト書イテアリマスガ……同ジヤウナ規定デアリマシタナラバ、衆議院ニモ大シテ異議ハ無イデアラウカト想像イタシマス……即チ總理大臣モ、衆議院ノコトヲ今更言フ譯ニ行カナイガ、同等デアルト云フトナラ、衆議院モ無論承認スルダラウト云フコトヲ、茲デ答辯シテ居ラレマスシ、其前ニ私ハコチラデ斯ウ云フ風ニ但書ヲ附ケタナラバト云フ想像ヲ致シマシテ、ソレニ對シテ政府ハ同意スルカト云フト……一々讀上ゲマセヌガ、政府ハ同意スル、ソレデハ更ニ積極的ニ、衆議院ニ對シテ貴族院ノ趣旨ヲ能ク了解スルヤウニ努力シテ下サルカト云フトニ對シテハ、ソレハ精々努力ヲ致シマスト云フコトヲ、總理大臣ガ明カニ答ヘラレテ居ルノデアリマス、要スルニ藤澤君ノ御心配ハ、私モ同ジク心配イタシタ點デアリマシテ、其點ニ付テハ、無論衆議院ノ決議ヲ私ガ何等申スコトハ出來マセヌガ、何等其コトニ考ヘ及バズシテ斯ウ但書ヲ附ケタト云フコトデアナイコトダケヲ、申上ゲテ置キタイノデアリマス

○高橋琢也君 只今委員長ノ補足トシテ、小野塚サントカ仰シャル方カラ御辯明ガゴザイマシタ、之ニ對シテ委員長ニ伺ヒマス、只今小野塚サンノ御話ハ、ドウヤラ速記モナク懇談會デ唯話シタコトガアルト斯ウ仰シャルヤウニ承ル、ソレダト云フト、此修正案ナルモノハ、唯小野塚サンノ御話ニ依ッテ出來タノデアッテ、委員會デ決議シタコトデモ何デモナイヤウニ伺ハレル、又何故ニ之ヲ速記ヲ置カズ、委員會ニ諮ラズ、唯、一私人ノ懇談會トシテソレデ御決メニナッタノデアルカ、ソレヲ伺ヒタイ

○公爵近衛文麿君 委員會ニ於キマシテハ、便宜上懇談會ノ形式ヲ取ッタノデアリマス、而シテ只今小野塚博士ノ御述ベニナリマシタコトハ、懇談會ニ於テ確カ御述ベニナッタコトデアラウト思ヒマス、其後、懇談會ノミヲ以テ

終ッタノデハナイノデアリマシテ、今日ハ正式ニ會議ヲ開キマシテ、討論イ
タシテ此決定ヲ見タノデアリマス

○高橋琢也君 質問ハ是デ打切りマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起立ヲ請
ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマ
ス

○子爵榊岡隆督君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、是ニハ高橋琢也君ノ
通告ガゴザイマスカラ、發言ヲ許シマス

〔高橋琢也君演壇ニ登ル〕

○高橋琢也君 私ハ先刻質問ノ場合ニモ申上ゲテ置キマシタ、此修正案即チ
二十一日以後尙ホ延期ヲスルト云フ但書ノ方ヲ削除スルト云フ意見デゴザイ
マスル、先以テ此委員長ニ御禮ヲ申上ゲマス、度々委員長ヲ御煩ハシ申シテ
誠ニ相濟ミマセヌ、伺ヒマスレバ、是程大切ナ議案ガ、餘リ十分ナ御審議ヲ
御盡シニナラナカッタヤウニゴザイマス、委員長ノ御報告ニ依リマスルト、
多少御意見モ出タト云フヤウナコトデゴザイマスルガ、之ニ對シテ十分ナ御
審議ハ、御盡シニナラナカッタカノ感ガアル、是ハ誠ニ遺憾デアル、又第二、
只今小野塚君カラ、先般本案ガ此議場ニ上ツタ場合ニ、期限ヲ延バスト云フ
コトノ御意見ヲ御出シシナツテ、之ニ對シテ總理大臣ガ差支ナイヤウナ答辯
ヲシタト、斯ウ云フヤウナ御話ガゴザイマシタ、總理大臣ノ仰シタルコトデ

アレバ誠ニ結構ナコトデアツテ、何デモ御承知ヲ遊バスカモ知レナイ、併シ
議會モ第五十二議會トナツテ居ル、今日貴族院ハ……人間ノ定命ハ五十三ト

アルガ、正ニ來年ハ人間ノ定命ニ當ル位ノ年度ヲ經テ居ル、サウスレバ此間
ニ、貴族院ノ議員ノ頭ハ十二分ニ發達シテ居ル筈デアル、論ハナイ、然ルニ

衆議院デハ二十一日、而モ初メテ出テ來タ豫算案デアル、ソレヲイツデモ二
十一日間デ議了シテシマフ、貴族院ニ廻シテ來タ後ハ、イツデモ貴族院デハ

殆ド議會ノ仕舞マデ此豫算案ヲ引張ル、ト言ッテヤ語弊ガアルガ、兎ニ角ソ
レマデハ豫算案ハ貴族院ニ居ルノデアル、甚シケレバ曩ニ、今晚ノ十二時ヲ

過グレバ議會ハ仕舞ニナルノデアル、サスレバ質問ヲ今ヨリ十時間續ケルナ
ラバ、其時間ハ經過シテシマフ、サウスルト豫算ハ不成立ニナルゾト言ッ

タヤウナ人ガアッタト聞イテ居リマス、誠ニ危険千萬ナコトデアル、其ヤウ
ナコトヲセヌデモ、公明正大ニ豫算ガ惡ケレバドノヤウニモ修正ガ出來ルダ

ケノ、貴族院ハ其權能ヲ有ツテ居ルノデアル、惡イ所ハズンノ削除シテ宜
シイ、更正ヲシテ宜シイ、修正意見ヲ出シテ宜シイ、何ノ願ミル所ガアツテ、

之ヲ長ク引張ツテ置ク、ソレハ或ル部分ニハ、是ガ長ク引張ツテアル中ニハ、
何カ出テ來ルカモ知ラヌト云フヤウナ、變ナ心ヲ持ツテ居ル人ガ、是ハドウ
モ多數ノ議員ノ中ニハ無イトハ言ハレマスマイガ、マサカ貴族院ノ中ニハ、

サウ云フ人ハ會テ無イ筈デアル、殊ニ正義高潔ナ人バカリヲ以テ組織シテ居
ル貴族院デアル、此間ニオカシナ考ヲ持ツテ居ル人ハ一人モアルマイト私ハ

思フ、サスレバ何ヲ苦ンデ、二十一日デ之ヲ議了スルコトガ出來ナイカ、貴
族院ノ人ノ頭ハ、先ニモ言ウタ如ク、衆議院ノ人ノ頭ヨリ劣ツテ居ルカト云

ウタラ、劣ツテ居ナイト云フコトハ明カデアルノミナラズ、寧ロ優ツテ居ル、

優ツテ居ル頭ヲ以テ之ヲ審議スルノニ、ドウシテ多數ナ日子ガ掛カルカ、掛
カル筈ガナイ、又嘗テ或ル議員ハ、或ル新シイ事項デ、高橋君、是ハマア今

ヨリ十年先デナケレバ貴族院ハ通りマセヌゾト言ッテ御方ガアルガ、其案ハ
翌年ツルリ貴族院ヲ通ツテシマッタ、中ニハ斯ウ云フ御方モアル、ダカラナカ

ナカ貴族院ノ議員ノ頭モ皆、分析シテ見タラ色々デアルデセウ、併シ今日ト

ナツテハサウ舊イ頭ハナイ、恐ラクハ一番舊イノハ私ノ頭ガ一番舊イニ違ヒナイ、併シ如何ナ私ノ舊イ頭ヲ以テ見テモ、最早衆議院ト駈ケクラヲシテ負ケルヤウナ考ハ持ツテ居ナイ、ソレ故ニ若イ御方ナドハ尙以テノ話、思想ガ我々ヨリ百段モ若イニ違ヒナイ、學者達ハ尙以テノ話、ソレデアルカラサウ云フ方ハ、二十一日ハ餘リ長過ギルカラ寧ロ十五日ニシヤウ、二週間ニシヤウト仰シタルノデナイカト思ウテ居ルノニ、アベコベニモウ五日バカリモ長クシテ置カスト、ドウモ安心ガ出來ナイ、貴族院議員ヂヤ是ハアブナイト仰シタルノガ、私ニ分ラナイ、ドウ云フ譯ダカ……決シテ危ナクナイ、ソレ故ニ貴族院トシテモ衆議院ト同一ニ、二十一日ト立派ニ切ツテ御置キニナル方ガ宜カラウト思フ、併シイツ迄モ法律關係ノ先例ヲ言ハレテハ困ルカラ、是ハ別ニ御定メニナル機會ガアラウト思フ、私ハソレヲ望ムノデアアル、貴族院ノ慣例ニ依レバ、イツデモ法案ガ決マラス以上ハ豫算ハ決メナイゾヨ、是ハ宜シクナイ、衆議院ガ既ニ先キニ決メル、衆議院ハ法案ハ後ニ殘ツテ居ル、若シカ後デ其法案ガ否決ニナツタリ握リ潰シニナツタリシタラ、其時ニソレニ關係ノ部分ダケノ豫算ヲ修正スレバソレデ宜イ、削除スレバ宜イ、何デモナイ話デアアル、之ヲ玉手箱見タイナコトヲシテ握ツテ居ル必要モ何モナイ、ウツカリ握ツテ居ルト、中カラ様々ナ傀儡ガ出テ來ル、ソレデアアルカラ私ハ、斯様ナコトヲ長ク言フ必要ハナイ、ドナタニモ分ツテ居ル話ダラウト思フカラ、此修正案ハ削除シテ、衆議院ノ原案通り可決シテ戴キタイ、私ハ簡單ニ意見ヲ述ベテ降リマス

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ發言モナイト認メマスカラ、採決ヲ致シマス、委員會ノ修正ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス、是ニテ第二讀會ヲ終リマシタ
○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵五條爲功君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 水戸鐵道株式會社、越後鐵道株式會社、陸奥鐵道株式會社、苦小牧輕便鐵道株式會社及日高拓殖鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案、鐵道敷設法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、酒井伯爵

水戸鐵道株式會社、越後鐵道株式會社、陸奥鐵道株式會社、苦小牧輕便鐵道株式會社及日高拓殖鐵道株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二年三月十八日

右特別委員長

伯爵 酒井 忠 正

貴族院議長公爵徳川家達殿

鐵道敷設法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二年三月十八日

右特別委員長

伯爵 酒井 忠正

貴族院議長公爵德川家達殿

〔伯爵酒井忠正君演壇ニ登ル〕

○伯爵酒井忠正君 只今上程イタサレマシタニ法律案ノ特別委員會ノ經過並ニ結果ヲ簡單ニ申上ゲマス、委員會ハ四回ニ互リマシテ、先ヅ當局ヨリ説明ヲ求メマシテ、質問應答ヲ重ネマシタ結果、兩案トモ異議ナク可決スベキモノト認メタノデアリマス、先ヅ水戸鐵道株式會社外四會社ノ所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案ニ付テ申上ゲマスルガ、案ノ内容ニ付テハ、嚮ニ本會議ニ於テ鐵道大臣ヨリ御説明ガアリマシタコトデアリマスカラ、各線ニ付テノ説明ハ之ヲ省略イタシマシテ、質問ノ一二ヲ御紹介イタシテ置キタイト思ヒマス、質問中私設鐵道ノ買收ニ付テハ、鐵道當局ニ於テハ如何ナル方針ニ依ッテ之ヲスルノデアルカ、今回買收スル鐵道ノ私設鐵道モ重要ナル線路デアルケレドモ、ソレト同等又ソレ以上ニモ重要ト思ハレル線ガ無イデハナイト思ハレルケレドモ、サウ云フ買收ヲ爲スニ當ッテハ、其地方鐵道ノ如何ナル線ヲ買收スルカト云フ決定ハ、全ク大臣ノ自由意思ニ依ッテ之ヲ定ムルモノデアルカ、サウナレバ從テ黨勢擴張デアルトカ、其他ノ弊害ガ伴フ虞ガアリハシナイカト思ハレルケレドモ、何等カソコニ信賴スベキ道行キガ有ルカドウカト云フ御質問ガアリマシタ、之ニ對シマシテハ、鐵道當局トシテハ、一地方ノ交通ヲ目的トスル鐵道ハ、是ハ地方鐵道ノ經營ニ任セルト云フコトハ、是ハ國有鐵道ノ制定以來ノ根本ノ方針デアリマスガ、地方ノ産業ノ開發デアルトカ、或ハ國有鐵道ノ普及等ノ關係ヨリシテ、國有鐵道トシテ買收スベキ必要ナルモノハ、順次之ヲ買收シテ行ク方針デシテ居ルノデアルケレドモ、更ニ其中ニ於テ、ドノ線ヲ先ニ買收スルト云フヤウナコトニ至ッテハ、是ハ全ク技術上ノ方面ト經濟上ノ方面ト、此ニ方面ノ調査ニ基クコトデアッテ、鐵道省各機關ヲ經テ、慎重ニ審査ノ上決定スルモノデアッテ、今申シタ

經濟上技術上以外ノ理由ヲ以テ、何等決定スル權力ハ持ッテ居ラヌト云フコトデアリマシタ、併ナガラ過去ノ場合ニハ往々其前後ヲ多少誤ッテ居ッタト思ハレル所モ無イノデナイノデ、今後ハ尙ホ一層組織立ッタ調査ノ下ニ地方鐵道ノ買收ヲシタイト云フ、鐵道大臣ノ御答デアリマシタ、尙ホ一點ハ敷設法ノ豫定線デアリマシテ、ソレガ既ニ豫算ニ計上サレテ居ル線路ニ接續シテ居ル地方鐵道、斯ウ云フ地方鐵道ハ成ルベク早く買收スル方ガ、國家經濟上利益デハナイカト云フ質問デアリマシタ、斯ウ云フヤウナ地方鐵道ガマダ六七線現在アルヤウニ思ハレルケレドモ、斯ウ云フ鐵道ハ、一方敷設法ニ掲上サレテ居ル線路ノ工事ガ進ムニ連レテ、工事材料ノ運搬ト云フヤウナコトデ、營業狀態ガ非常ニ良クナリ、從テ買收スル場合ニハ非常ニ高イ價格ヲ以テ買收シナケレバナラヌヤウナ不利益ナ狀態ニ陥ル憂ガアル、現在今回買收サレル水戸鐵道ノ如キモ其實例トシテ、買收時期ガ多少遅レテ居ルヤウニ思ハレルガ、ドウデアアルカト云フヤウナ質問デアッタノデアリマス、當局モ是等ノ鐵道ニ對シテハ、早晚國有鐵道ニスベキモノト考ヘテ、漸次調査ヲ進メテ適當ナル處置ヲ取ルト云フ答辯デアリマシタ、其他各線ニ付テ、各鐵道會社ノ營業狀態デアルトカ、其他ノ詳細ニ互ッテ質問ガアリマシタガ、此點ハ速記録ニ讓リタイト思ヒマス、討論ニ入りマシテ、一委員カラ希望決議ノ動議が出タノデアリマス、ソレハ

政府ハ將來鐵道ヲ買收スルニ當テハ、慎重調査ノ上緩急前後ヲ誤ラザルヤウ注意セラレムコトヲ望ム

此希望決議ニ對シマシテハ、何等ノ異議モナク、採決ニ入りマシテ、右ノ希望決議ヲ附シテ原案通り全會一致可決イタシタノデアリマス、次ニ敷設法中改正法律案デアリマス、是ハ花卷釜石間鐵道外五線ヲ新ニ敷設法別表ニ追加スル法律案デアリマス、是モ各線ニ對スル說明ハ省略イタシマス、質問中ニ、豫算ヲ伴ハズシテ敷設法ニ新線ヲ掲上スル場合ニハ、往々其地方デ以テ土地ノ投機的賣買ト云フヤウナコトガ行ハレ、弊害ヲ起ス憂ガアル、政府ハ成ルベク豫算ヲ伴ハナイデ敷設法ニ掲上スルト云フコトヨリモ、既ニ掲

水戸鐵道株式會社、越後鐵道株式會社、陸奥鐵道株式會社、苦小牧輕便鐵道株式會社及日高拓殖株式會社所屬鐵道買收ノ爲公債發行ニ關スル法律案 外一件 第二讀會 第三讀會 徵兵令改正法律案 第一讀會ノ續

上サレテ居ル敷設法中ノ線路ヲ、成ルベク早く、財政上許ス限ニ於テ速成サレムコトヲ望ムト云フ、希望的ノ質問モアッタノデアリマス、之ニ對シマシテハ、政府ハ財政ノ許ス範圍ニ於テ、出來得ルダケ現在掲上サレテ居ル各線ノ速成ヲ期スルト云フ答辯デアッタノデアリマス、討論ニ入りマシテ何等ノ異議ナク、全會一致ヲ以テ可決イタシタノデアリマス、以上兩法案ノ經過ヲ御報告ヲ申上ゲマス

○議長(公爵徳川家達君) 只今酒井特別委員長ノ報告セラレマシタ兩案トモ、第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵榊岡隆督君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵五條爲功君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 榊岡子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 兩案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵榊岡隆督君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵五條爲功君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ兩案ノ第三讀會ヲ開クト云フ、榊岡子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 徵兵令改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、大井男爵

徵兵令改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二年三月十九日

右特別委員長

男爵 大井 成 元

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔男爵大井成元君演壇ニ登ル〕

○男爵大井成元君 徵兵令改正法律案即チ兵役法案ニ付キマシテ、委員會ノ經過及結果ヲ報告イタシマス、委員會ハ五回開會ヲ致シマシテ、各委員ハ本法案ノ重大性ニ鑑ミマシテ、熱心御勉勵ニナリマシテ、毎回長時間ニ互ッテ慎重審議ヲ遂ゲラレタノデアリマス、本法案ノ改正ノ趣旨ニ付キマシテハ、上程ノ際陸軍大臣ヨリ御説明ガアリマシタカラ、之ヲ省略イタシマスルガ、先ヅ改正ノ要點ニ付キマシテ、二三申上ゲテ置クノガ宜シイト考ヘマス、第一現制ニ於キマシテハ、陸軍ハ現役ガ三年デ、在營期間ガ概ネ一年十箇月デアリマス、デ之ヲ現役二年、在營期間ヲ一年六箇月マデ短縮シヤウト云フノデアリマス、海軍ハ從來現役四年デアリマシテ、在營期間ヲ三年トシテ居ラレルノデアリマスガ、之ヲ今回ハ現役ヲ三年、在營ヲ三年、斯ウ云フ風ニシヤウト云フノデアリマス、第二、現役ニ於キマシテ陸海軍トモ一箇年ヲ減ジ

マシタ結果、豫備役後備役ニ於テ各一箇年ヲ増加イタシマシテ、陸軍ハ現役豫備役ヲ通ジマシテ、七箇年四箇月、海軍ハ七箇年、斯ウシヤウト云フノデアリマス、第三、現制ノ補充兵役ヲ第一補充兵役トシテ、新シク第二補充兵役ヲ設ケラレタノデアリマス、第四、一年現役兵ヲ短期現役兵ト改稱セラレマシテ、現役ヲ五箇月ト云フコトヲ原則トセラレマシタ、此短期現役兵ハ、海軍ノ現役ニモ服セシムルト云フコトデアリマス、第五、服役延期ノ制度ヲ若干擴張イタシマシテ、出師ノ準備、守備若クハ警備、又ハ天災等ノ必要アル場合ニハ、服役ヲ延期スルノ制ヲ設ケヤウト云フコトデアリマス、第六、徴兵検査ニ出場スルコトヲ憚ルガ如キ廢疾不具者ハ、検査場ニ出頭スルコトナク、事實ヲ證明スル書類ニ基イテ兵役ヲ免除シヤウ、サウ云フコトデアリマス、第七、現制ニ於キマシテハ、露領沿海州、露領薩哈噠、支那香港、厦門等ノ外國ニアル者ハ徴集ヲ延期セラレザル制度デアリマスルガ、今後ハ一般ニ、外國ニ在ル者ハ、其一小部分ヲ除クノ外ハ徴集ヲ延期シヤウ、斯ウ云フノデアリマス、第八、同一ノ世帯ニ在ル者ガ二人以上在營……同時ニ在營ヲシナケレバナラスト云フ場合ニハ、家事上ノ都合ニ依リマシテ、一人ノ在營間ハ、他ノ一人ノ入營ヲ延期シヤウト云フノデアリマス、第九、歸休兵豫備役第一年次兵ハ、未ダ戰時事變ニ至ラザル前ノ國家緊急ノ場合ニ於テ、特別ニ召集シ得ルノ制ヲ設ケヤウト云フノデアリマス、第十、右ノ外豫後備兵ノ勤務演習ノ回数、其日數、補充兵教育ノ召集期間ノ減少、戶籍ニ略符號ヲ設ケルコト、又從來ノ經驗ニ基イテ若干ノ整理改正ヲ行ヒ、成ルベク法規ヲ統一シヤウ、斯ウ云フコトデアリマス、本案ノ内容ニ付キマシテハ、各委員ヨリ各種ノ點ニ互ツテ熱心ニ質問ヲ致シマシタ、之ニ對シ政府ヨリモソレト答辯ガアリマシタ、委員一同ハ概ネ政府ノ意ノ存スル所ヲ了承ヲ致シマシタガ、念ノタメ最後ニ若干ノ希望ヲ開陳イタシマシテ、之ニ對シ政府ノ言明ヲ求メテ、之ヲ速記録ニ留メテ置ク方宜カラウト云フ意見デアリマシテ、所要ノ質問ヲ致シマシタ、政府ヨリ何レモ満足ナル答辯ガアリマシ

タ故ニ、討論ノ後全委員ハ一致シテ、原案ヲ可決スルコトニナリマシタ、以下重要ナル質問應答ニ付キマシテ、其要點ヲ簡單ニ申述ベマス、第一ニ申上ゲマスルノハ、本法案ノ十一條ニ付キマシテ、青年訓練ノ開始後日ガマダ淺イノニ拘ラズ、其成果ヲ見越シテ在營年限ノ短縮ヲ行ハントスルノハ、聊カ早計デハナイカ、又在營年限ヲ短縮スルト云フコトニ付テ、國防上缺陷ヲ來スト云フヤウナコトハ無イカト云フ趣旨ノ質問ニ對シマシテハ、陸軍大臣ヨリ、成程青年訓練ノ施設ハ日ガ尙ホ淺イケレドモ、其成績ハ極メテ良好デアツテ、豫期以上トモ申シ得ル状態デアルカラ、之ニ甘ンズルコトナクシテ、官民一致、一段ノ努力ヲ爲スニ於テハ、其成功ハ期シテ待チ得ラル、デアラウ、而モ在營期限ノ短縮ト云フコトハ、獨リ青年訓練ノ結果ニノミ信賴スルノデハナク、軍隊施設ノ改善ト相俟ッテ行フベキモノデアアル、又青年訓練ヲ終了ヲシタ者ト雖モ、之ヲ無條件ニ受入レルノデハナイ、入營後檢定モ行ヒ、又在營間其成績ノ惡イ者ニ對シテハ、在營短縮ヲシナイト云フコトモアルカラ、之ガ爲ニ國防ノ缺陷ヲ生ズルノ虞ハ萬々ナイノデアアル、尙ホ併シ十分ノ努力ヲ拂ッテ、御憂慮ノ如キコトノ無イヤウニ努メルト云フ所ノ御答辯デアリマシタ、第二、右ニ關聯ヲ致シマシテ、第十一條ニハ在營短縮ヲ六ヶ月以內ト規定シテアルガ、最初ハ二三箇月位カラ始メテ、漸次六箇月ノ程度ニ達シテハドウカト云フ所ノ質問ニ對シマシテ、陸軍大臣ハ、目下ノ成績ヨリ見テ大體差支ナイト認ムルガ故ニ、目標ヲ今カラ六箇月ニ置イテ、是非コ、ニ達スル如ク努力スルノヲ以テ、寧ロ此時勢ニ善處スルノ途デアアル、斯ウ云フ所ノ御答辯ガアリマシタ、且ツ萬々一實驗ノ結果不都合ノ點ヲ見出シタナラバ、法案ノ規定範圍ニ於テ更ニ考慮スルデアラウト云フコトデアリマス、第三、學校教練及青年訓練ノ結果、就中精神教育ノ結果ハ、此法案ノ運用ニ關スル所極メテ大デアアルガ、之ガ普及徹底ニ付テ、當局ノ覺悟ハドウデアアルカ、斯ウ云フ趣旨ノ質問ニ對シマシテハ、陸軍文部兩大臣カラ交、全力ヲ盡シテ之ガ振作ヲ圖ッテ、決シテ本法ノ運用ニ支障ヲ來サシムルヤウナコトハナイト云フ所ノ答辯ヲ得マシタ、第四、科學ノ進歩ニ伴フ戰術兵器ノ變遷

ハ、軍隊教育ヲ益、困難ナラシムルニ拘ラズ、現役年限、在營年限ヲ短縮スルト云フコトハ、精兵主義ノ點カラ見テ寧ロ不利益デハナイカト云フ趣旨ノ質問ニ對シマシテハ、陸軍大臣ヨリ、既ニ二十年間モ長イ經驗ヲシテ、今日既ニ其差支ナイト云フ結論ニ到達シテ居ルノデアアル、故ニ之ヲ斷行スルノデアルト云フ御答辯デアリマシタ、第五、兵役義務ノ均衡ト云フコトハ極メテ重大ナルコトデアアルガ、本法ノ立案ニ當ッテ、此點ニ付テ當局ハ如何ナル考ヲ以テシタカト云フ趣旨ノ質問ニ對シマシテハ、陸軍大臣ハ、國防上ノ要求ニ支障ノナイ限り、國民ノ負擔ヲ輕減ヲシ、義務ノ均衡ヲ圖ルト云フコトハ、立案ノ方針ノ一ツトシタ所デアッテ、本案ハ此點ニ付キマシテハ、現行徵兵令ヨリ更ニ一步ヲ進メタモノデアルト云フ御答辯デアリマシタ、第六、第十一條ニアリマス六箇月在營短縮ハ、海軍ニモ適用スル考デアアルカト云フ質問ニ對シマシテハ、海軍ノ政府委員ヨリ、海軍ニモ入營ノ當初凡ソ六箇月バカリ陸上ノ教育ガアルカラ、追ッテハ本條ヲ適用スル積リデアアルガ、今直チニ在營ヲ六箇月ヲ短縮スルト云フコトニ付テハ、マダ十分ノ見込ガ立ッテ居ラヌ、強ヒテ行ハムトスルナラバ、先ヅ一二箇月位ノ短縮ハ出來ルカモ知レヌト云フ御答辯デアリマシタ、第七、青年訓練所ニ海軍將校ヲ用キナイカト云フ質問ニ對シマシテハ、政府委員ヨリ、十一校ノ商船學校ニ海軍將校ヲヤル考デアアル、又青年訓練所ニハ海軍モ十分努力スル考デアアル、斯ウ云フ御答辯デアリマシタ、最後ニ委員會ハ服役ノ負擔ヲ免レマシタ者ニ對シテ兵役義務ノ均衡ヲ圖リ、服役者ノ優遇ノ途ヲ講ズルコト、第十一條ト第十四條トノ關係ニ付テ青年訓練ヲ受クルコトヲ得ズシテ入營シタ者デモ、入營後ノ成績ガ訓練ヲ受ケテ入營シタ者ト同等、或ハソレ以上デアッタ場合ニハ、此者ニモ在營期間ヲ短縮スルト云フコトニ付テ、彼此レ均衡ヲ失ハヌヤウニシナケレバナラヌ、斯ウ云フコト及ビ學校教練、青年訓練ヲ振作シテ之ガ普及徹底ヲ圖ラナケレバナラヌ、此三點ニ付キマシテ特ニ論議セラレマシテ、陸軍當局大臣ノ言明ヲ求メマシタ所、陸軍大臣ヨリ、兵役稅ヲ設ケルト云フコトニ付テハ、從來ニ於テ多少部内ニ異議ガアッタガ、追々時勢ノ變遷ニ伴ッテ、其必要ヲ考慮シナ

ケレバナラヌ、時勢ノ變遷ニ伴ッテ之ヲ考慮シナケレバナラヌト云フ必要ヲ認メタカラ、此方面ニ於テモ何等カ適當ノ方法ヲ發見セムトシテ研究中デアアル、斯ウ云フ言明デアリマシタ、斯ウ云フ趣意ノ言明ガアッタノデアリマス、第二ノ點ニ付キマシテハ、陸軍大臣ヨリ、固ヨリ其御論ノ通りデアアル、必ズ御希望ニ副フヤウニ致ス積リデ居ル、斯ウ云フ御答辯デアリマス、又第三ノ點ニ對シマシテハ、文部大臣ヨリ、全力ヲ盡シテ其完備ニ努力スルト云フ言明ヲ得タノデアリマス、斯様ナル兩大臣ノ言明ガアリマシタニ依ッテ、各委員ハ本案ヲ實施スル上ニ付テ、最早何等ノ支障ナキコトヲ確認イタシマシタガ故ニ、全員一致デ賛成ヲ致シタノデアリマス、是デ報告ヲ終リマス、詳細ハ速記録ニ讓リタイト思ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 通告ニ依リマシテ志水小一郎君ノ發言ヲ許シマス

〔志水小一郎君演壇ニ登ル〕

○志水小一郎君 本員ハ本案ニ反對イタス者デアリマス、其事ニ付テ一言申シテ置キタイノハ、本員ハ決シテ好ンデ反對スルノデアリマセヌ、本員ノ立場ト申シマセウカ、閱歷ト申シマセウカ、其方面ノ本員ノ所信ガ何分沈黙ヲ許サヌノデアリマス、以下全編中ヨリ本員ノ反對スル事項ヲ指摘イタシマシテ、之ヲ反對ノ理由ト致シマス、先ヅ本案開卷ノ第一ノ規定ニ付テ、本員ハ多大ノ疑義ヲ有スルノデアリマス、政府側ノ説明ヲ伺ヒマスニ、本員ニハ何分立法ノ要旨ガ分ラヌノデアリマス、ソレハ總則的規定ノ兵役義務ヲ定ムルノ條文デアリマス、其條文ニ「男子」ト云フ文字ガアリマス、其「男子」ト云フ文字ノアリマス次第ヲ承リマシタケレドモ、本員ニハ何分分ラヌ、其政府側ノ説明ヲ本員ノ解シマスル所デハ、憲法第二十條ノ「日本臣民」ト云フ文字ハ、女子ヲモ含ンデ居ル、故ニ男子ノ文字ヲ用キテ以テ、女子ヲ兵役義務者ヨリ除去シタノデアアル、本員ハ何ンボ伺ッテモ、サウヨリ外ニ聞エヌ、立法ノ趣旨ガ果シテサウデアリマシタナラバ斯ウ云フコトニナル、法律ノ明文ヲ以テスレバ、憲法上兵役義務ヲ有スル者ト雖モ、之ヲシテ兵役義務ナカラシムルコトヲ得ト、斯ウ云フ風ニ讀メルダラウト思フ、果シテ然ラバ、神官、

僧侶、布教師ト云ハムガ如キ者ハ、兵役義務ナカラシムルト云フコトニモナリ得ルドラウト思フ、斯ノ如ク解シマスルト、忽チ問題ガ起ルノデアリマス、ソレハドウ云フ問題デアルカト申シマス、法律ノ明文ヲ以テシタナラバ、一部ノ日本臣民ニ兵役義務ナカラシムルト云フコトデアリマシタナラカ、斯ウ云フ極端ナル問題モ起リ兼ネナイト思フデアリマス、若シサウデアツテ差支ナイト云フコトニナリマシタナラバ、國民皆兵ノ實何レニ在リヤ、斯ウ云フコトニナラウト思フ、政府ハ、六年以上ノ懲役禁錮ニ處セラレタル者ハ、兵役義務ニ服セシメナイノデハナイカ、是即チ法律ヲ以テスレバ兵役義務ナカラシムルコトヲ得ル一證デハナイカト、斯ウ云フ風ニ言ハレルヤウニ本員ハ聽クノデアリマス、所ガ罪餘ノ、刑餘ノ人、或程度ノ……或程度以上ノ刑餘ノ人、ソレヲシテ兵役ニ服セシメナイト云フ規定ハ、至ル所有ルノデアリマス、各國ノ制度ニアル、ソレハ何モ服役ノ方法ヲ定メタノデハナイ味デアリマス、服役ノ方法デモ何デモナイ、本員ノ心得テ居リマスル所デハ、帝國憲法ノ起草ニハ普魯西ノ憲法ガ大分參考ニナツテ居ルト云フコトデアリマス、普魯西ノ憲法ノ兵役義務ヲ規定スル條文ニ、本員ハ確ニハ覺エテ居リマセケレドモ、意味ハ違ヘヌ筈デアリマス、普魯西國民ハ兵役ニ服スルノ義務ヲ有ス、絶對的規定デアリマス、其服役ノ方法ハ法律ヲ以テ之ヲ定ムト、斯ウアツタヤウデアリマス、極メテ明晰デアリマス、兵役義務ニ服スルト云フコトハ絶對的、否、絶對的ニ兵役義務ヲ持ッテ居ル、併シ是ハ體用ニ分テバ、體ノ規定デアリマス、用ガナクチャナラス、用ノ規定ハ即チ服役、服役ハ法律ヲ以テ定ム、或意味ニ於テハ服役ノ規定ハ法律事項デアアル、命令デハイカヌ、法律事項デアアル、斯ウ云フコトニナルドラウト思フ、帝國憲法ハ其行文ハ是ト少シ違ッテ居リマセケレドモ、意味ニ於テハ矢張り是ハ同一デアラウト本員ハ思ッテ居ル、ソレダカラシテ本員ノ解釋ニ依リマスレバ、果シテ帝國憲法ハ男女ヲ問ハズ兵役義務ニ服スルト云フ意味デアリマシタナラバ、

法律ヲ以テシテモ、女子ヲ除外スルコトハ出來ヌノデアリマス、本員ノ解釋デアリマス、併シ男子ト云ヒ、女子ト云ヒ、其服役ノ方法ハ法律事項、法律ヲ定マル、斯ウ云フ意味デアリマスマイカ、本員ハサウ讀ンデ居ルノデアリマス、所ガ政府ノ御説明ヲ聽キマス云フト、憲法ハ曰ク、法律ニ依ッテ兵役ノ義務ニ服スル云々、ソレダカラ兵役義務ニハ法ノ根據ガ無クチャナラス、斯ウ云フ風ニ言ハレルヤウデアリマス、本員ハ分ラヌ、本員ノ讀ム所デハ、兵役義務ハ帝國臣民ガ生レナガラ持ッテ居ル、其服役ノ方法ハ大切ナ事項デアアルカラ法律ヲ決メナクチャナラス、本員ハ斯ウ讀ンデ居ル、同時ニ憲法二十條ノ規定ハ、矢張り普魯西憲法ノ當該條ノ規定ト同ジコトデアラウト本員ハ信ズルノデアリマス、ソコガ政府ノ御説明ハ何ンボ伺ッテモ本員ニハ分ラヌノデアリマス、ソレカラ次ハ在營期限ニ付デアリマス、在營年限ハ、兵器ノ進歩ニ伴ヒ寧ロ長キヲ要スル理由ガアル、是ハ専門家ノ言デアリマシテ、此専門家ノ言ハ、少クモ或範圍ニ於テハ頗ル理由アルコトデ、傾聽ニ値スルモノデアアルト本員ハ信ジテ居ルノデアリマス、サウスレバ在營年限ハ容易ク之ヲ短縮スルコトヲ許サヌノデアリマス、容易ク之ヲ短縮イタシマシタナラバ、忽チ復舊ノ必要ヲ生ズル、或ハ又現制ヨリハモウ一層長クセケレバナラヌト云フ必要ヲ告ゲ來ルコトモ亦知ルベカラズト、本員ハ深く信ズルノデアリマス、而シテ在營年限ノ短縮ト云フコトハ、從來ニ於ケルガ如ク、歸休兵制度ノ應用ヲ以テ實行ガ出來ルノデアリマス、必シモ徵兵令ノ明文ヲ改ムルコトヲ要セヌノデアアル、即チ現行法ノ下ニ之ヲ實行スルコトガ出來ルノデアリマス、故ニ本員ノ意見トシテハ、強ヒテ外國ノ事例ニ倣ッテ法律ヲ改ムルヤウナコトヲセズ、當分現行ノ儘推移スルノガ得策デアルト、本員ハ斯ウ信ズルノデアアル、又法律ニハ、本員ハ大別スレバ二類アルデハナイカト思フノデアリマス、一ツハ社會ノ進運ニ伴ヒ頻繁改メテ行カナクチャナラス、改メテ行カヌケレバ用ヲ爲サヌ、斯ウ云フノガ一ツ、又他ノ一種ハ、サウ云フ風ニ改ムルノ必要ナキノミナラズ、頻繁改ムルノハ其基礎ヲ危クスル、斯ウ云フモノガアラウト思フ、徵兵令ノ如キモノハ即チ此第二類ト本員

ハ深く信じて居ルノデアリマス、而シテ御承知ノ如ク、徵兵令ハ所謂國民皆兵ノ基礎デアリマス、之ニ依リテ國軍ハ建設セラレ、國軍ハ維持セラレ、ノデアリマス、我軍政ノ上ニ於テ、徵兵令ヨリ貴イモノハナイノデアリマス、故ニ徵兵令ハ決シテ容易ニ之ヲ改ムルコトヲ許サヌノデアリマス、若シ容易ニ之ヲ改ムルノ例ヲ開キマシタナラバ、其害ハ測ラレザルモノデアリマス、是ハ十二分ニ詳説スル材料ヲ本員ハ持つテ居リマスケレドモ、ソレハ止メマス、尤モ今回ノ改正中ニハ、在營年限ノ短縮ノ外ニ、社會政策ノ意味ニ出デタモノ、國民ノ海外發展ヲ期スルモノ、經驗ニ依リ發見シタル所ノ不備ヲ補ハムト欲セルモノ等、有益ノ規定モ少クナイノデアリマス、サリナガラ改正ノ主眼ハ矢張り在營年限ノ短縮ト、本員ハ見テ居ルノデアリマス、他ハ皆附隨ノ規定デアルト、斯ウ見テ居ルノデアリマス、故ニ只今申シマシタ如ク申上ゲルノデアリマス、假ニ一步ヲ讓リマシテ三年ノ在營年限ハ之ヲ二年ニ改ムルト、斯ウ致シマシテモ、二年以内ノ在營年限ヲ更ニ短縮スルニ、歸休兵制度ニ依ラズシテ、所謂青年訓練ヲ終リタリト云フコトヲ條件ニ掲グル、條件トスル、斯ノ如キ規定ヲ設クルノハ斷ジテ惡イト、本員ハ深くサウ信ズルノデアリマス、其理由ヲ申上ゲマス、英國ヤ米國ニ於ケルガ如キ、其國民性ノ我レニ於ケルニ比シテ大ニ同ジカラズ、國ニ強制兵役法ノ設ケナク、而モ其設ケナキモ國軍ノ建設ニ難カラザルガ如キ國ニ於テ、所謂國民的軍事教育ノ發展イタシマスノハ、寧ロ當然デアリマス、之ニ反シテ、是ト大キニ國民性ヲ異ニシ、且ツ大キニ國情ヲ同ジクセザル、從テ歴史沿革モ亦異なる我國ニ於テ、俄ニ英米ノ例ニ倣ハムト致シマシテモ、其成功ノ期スベカラザルハ當然ノコトデアリマス、況ヤ我國ニ於テハ、等シク國民的軍事教育ナリ青年訓練ナリヲ行フニ、少シ言葉ガ激越カモ知レマセスガ、本員ガ毎度申シマスガ如ク、微温不徹底デアリマス、斯ノ如キ方法ニ依リ、且マダ眠ヲ覺マサザル、即チ覺醒セザル國民ニ對スルニ、敢テ之ヲ強制スルニモアラズ、又之ヲ覺醒セシムルガ爲ニ根本的手段ヲ講ズルニモアラズ、僅ニ利害ヲ以テ之ヲ誘フニ過ギズト云フヤウナコトデ、ドウシテ行ハレマセウ、青年訓

練トカ青少年訓練トカ申シマスコトハ、只今申シマスガ如キ状態ナルガ故ニ、青年訓練ノ思ハシク行ハレザルノハ、實施以來、日尙淺キガ爲デハナイト本員ハ信ズル、行ハレザル所以ノ理由ガアッテ行ハレヌト思フノデアリマス、エライ暴言ヲ吐クヤウデアリマスケレドモ、本員ノ言ガ果シテ暴デアるか否カ、ドウカ數年ノ後ヲ期シタイト思ヒマス、而シテ今申シマスガ如キ、英米ニ於テ、國民的軍事教育、青年訓練ト云ハムガ如キコトノ如何ニモ能ク行ハレ、我國ハサウ行ハレヌト云フ理由ハ、一ハ自覺ニ依リテ之ヲ行フ、故ニ法令ノ強制モナク、政府ノ干與モ要セズ、自治ニ委テモ能ク行ハルノデアリマス、我國ハ自覺ナキ者ヲシテ之ヲ行ハシメ、而モ法令ヲ以テ之ヲ強フルニアラズ、只今申シマスガ如キ、僅ニ利害ヲ示シテ之ヲ誘フ、斯ウ云フ相違ガアリマス、縦シヤ形ノ上ニ於テハ若干行ハレマシテモ、精神ガマルデ違フノデアリマス、當局者ハ所謂青年訓練ヲ、軍事教育デハナイ、體育デア、精神教育デアルト頻ニ申サル、ノデアリマス、所ガ名稱ノ如何ニ拘ラズ、現ニ之ヲ在營年限短縮ノ條件トセラル、以上ハ、事實ニ於テハ軍事教育ニアラズシテ何ゾ、矢張り軍事教育デアリマス、強ヒテ軍事教育デハナイト云フコトヲ辯ゼラル、理由ガ、本員ニハ分ラヌノデアリマス、本員ノ青年訓練ニ關スル所見ハ斯ノ如キモノデアリマスガ、本員モ、青年訓練ト徵兵令トヲ結合スルヤウナコトヲ爲サズ、青年訓練ハ青年訓練トシテ別ニ之ヲ行ヒ、幸ヒ功績ヲ擧ゲタナラバ、其功績ヲ得タル者ヲシテ歸休兵制度ニ依リテ歸休セシメラル、ト云ハムガ如キコトハ、或ハ適當ナル方法カトモ思フノデアリマス、併ナガラ成功ノ確保シ難キ……期セラレザル青年訓練ト在營年限トヲ、何故徵兵令ヲ以テ結合スルノ必要ガアリマスカ、是ハ斷ジテ必要ナキノミナラズ、不可ナリト斯ウ申スノデ、法ノ明文ヲ以テ、青年訓練ヲ終ッテ者ハ之ニ斯クノノ利益ヲ與ヘルト云フコトニナッテ居リマスナラバ、其實行ガ誠ニ面倒デアリマセウ、複雑デアリマセウ、果シテ其資格ヲ有シテ居ルカ否カナドト云フコトヲ検査スル人ノ煩勞ハ、實ニ察スルニ餘リアリデアリマス、何故サウ云フコトヲ爲サルノデアラウカ、殊ニ本員ノ了解ニ苦シムノハ、青

年訓練ト云フコトハ、僅ニ昨秋ヲ以テ切メテ實行ニ著セラレタノデアリマス、前途ノ見据エノ付カヌノハ申ス迄モナイコトデアリマス、何ノ必要ガアツテ大早急ニ是非之ヲ實行セナクチャイカヌ、斯ウ云フコトニナリマスデアラウカ、本員ハ少シモ了解セヌノデアリマス、又本員ノ最モ本案ノ不備ナリトスル點ハ、兵役義務ノ要件タル均等ト云フコトヲ閑却シテアルコトデアリマス、兵役義務ノ要ハ均等ニアルト云フコトハ、徵兵令發布ノ時ノ勅語ニ炳乎タルノミナラズ、兵役義務ノ重大ナル性質ニ考ヘ、其他當初徵兵令ノ創設ノ際ニハ、徵兵令ノ適用ハ、畏多クモ皇族ニモ之ヲ除外セヌト云フ詮議ガアツタ事實ガ、歴々トシテ舊記ニ殘ッテ居ルノデアリマス、然ルニ本案ニ於テハ、サウ云フ大切ナ平等均一ト云フコトガ、往々ニシテ閑却サレテアルノデアリマス、實例ヲ申上ゲマス、在營年限短縮ノ問題ハ、主トシテ壯丁ノ生産問題、職業問題、經濟問題デアリマス、故ニ在營年限短縮ノ必要ハ、比較的富メル者ノ子弟ニ存スルヨリモ、寧ロ多ク貧者ノ子弟ニ存スルト云フコトハ、疑ナイノデアリマス、少クトモ其必要ハ貧者ト富者ト……貧者ノ子弟ト富者ノ子弟トノ間ニ、平等ニ、存スルモノトシナクチャナラヌノデアリマス、從テ短縮ノ條件タル青少年訓練、又ハ青年訓練ノ施設ト云ハムガ如キコトハ、富者ノ子弟ニ對スルモノト、貧者ノ子弟ニ對スルモノトノ間ニ、決シテ彼此レ厚薄アルコトヲ許サヌノデアリマス、然ルニ富者ノ子弟ノ爲ニスルモノハ甚ダ厚クシテ、貧乏人ノ子弟ノ爲ニスルモノハ甚ダ菲薄デアルト云フコトハ、事實デアリマス、制度モサウデアリシ、實際モサウデアアル、蓋シ之ガ爲ニ貧者ノ子弟ハ、之ガ爲バカリデハアリマセヌ、種々ナ事情ノ爲ニ貧者ノ子弟ハ、假令青年訓練所ノ訓練ヲ受ケムト欲スルモ、意ノ如クナラヌコトガ極メテ多カラムト察スルノデアリマス、是ハ兵役義務ノ均等ト云フ肝腎ナコトヲ忘却シタル顯著ノ一例デアリマス、其他一年志願兵制度ノ如キモ、比較的富裕ナル者ノ子弟ニ附與スル所ノ一ノ特權デアリマス、今ヤ此制ニ依ラザルモ、他ニ戰時ニ必要ナル豫備將校ヲ得ル途ハ幾ラモアルト本員ハ思フ、是ニモ拘ラズ、少シモ是等ノコトニ付テ疑ハナイ、ソレハ恰モ訓練ニ關スル設備

施設ガ、富者ノ子弟ノ爲ニスルモノト、貧者ノ子弟ノ爲ニスルモノトノ間ニ、大イニ厚薄アルニ拘ラズ、一向氣ガ付カヌト云フノト同ジ意味デアリマス、ソレハドウ云フ事カラ來ルカト云フト、矢張り因襲ノ久シキ、兵役義務ノ均等ニ業ニ己ニ大イナル缺陷ガアルケレドモ、之ニ氣付カヌガ爲メデアリマス、別言イタシマシタナラバ、將來ノ戰爭ハ國民ヲ擧ゲ國力ヲ投ジテ戰ハヌケレバナラヌト云フコトハ、十二分ニ自覺シ居リナガラ、國民ノ一部ヲ以テ戰爭ヲ爲シ遂ゲムト欲スル、舊時ノ思想カラ脱却シ得ヌト、斯ウ言ヘルダラウト思フ、本員ハ今ヤ徵兵令ノ基礎ガ果シテ永ク鞏固デアアルカドウカト云フコトヲ疑ヒ來ッタノデアリマス、ナゼナラバ一方ニハ是等ノ重要ナル問題ガ兎角閑却セラルルト同時ニ、他ノ一方ニハ、是ハ軍事當局者モ能ク御承知ノ筈デアリマス、壯丁ニシテ、兵營ニ入り兵役ニ服スルノヲ人生無限ノ屈辱ナリト心得テ居ルヤウナ者ガ、現ニアルノデアリマス、幾度モ本員ハサウ云フ者ニ遭遇シテ居ルノデアリマス、又他ノ一方ニハ、新ニ勃興セムトスル政黨中ニハ、徵兵令ノ撤廢ヲ政綱ノ一トシテ居ルト云フモノモアルノデアリマス、本員ガ徵兵令ノ基礎ガ果シテ永ク鞏固ナルヲ得ルヤウ心配スルト申シマスノハ、斯ウ云フ事實ガアルカラデアリマス、又本員ハ、是ハ外國デモ能ク申シマスコトデアリマスガ、在營年限ノ短縮ヨリ生ズル所ノ缺陷ハ、極メテ確實ナル方法ヲ以テ之ヲ補ハナクチャナラヌ、是ハ蓋シ誰デモ専門家ハ言フダラウト思フ、ナゼナラバ所謂其缺陷ハ、壯丁ノ低下トデモ申シマセウカ……ヨリ延イテ國防ノ缺陷ニ及ブノデアリマス、故ニ在營年限ノ短縮ヨリ生ズル所ノ缺陷ハ、アヤフヤナコトデハイカナナイ、簡明直截、極メテ效力アル方法ヲ以テ定メヌケレバナラヌノデアリマス、本員ハ毎度申シマスガ、今ヤ歐洲各國ハ軍事教育、軍事豫備教育ガ非常ニ見事ダト云フコトヲ毎度承ハリマスガ、蓋シソレハ英米ノコトヲ言ハレルノダラウト思フ、試ニ佛蘭西トカ伊太利トカ云フ方面ノコトヲ調べテ見マスト、ドウモサウハ思ヘヌノデアリマス、ソレハ其筈デス、徵兵令ヲ金科玉條トシテ居リマスカラ、英米トハ事情ガ違フノデアアル、右ノ如ク在營年限短縮ノ爲ニ生ズル所ノ缺陷ヲ補フニ、成功ノ確保

シ難キ青少年訓練ヲ以テスルト云ハンガ如キモノハ、極メテ不備ナ制度ダト
思フ、決シテ是ハ完全ノ、確實ノ方法デハナイノデアリマス、故ニ本員ハ此
點ニ付テモ著シキ缺陷ガアルト信ズルノデアリマス、以上ハ本員ガ本案ニ反
對スル所以ノ要旨デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 他ニ發言者モ無イモノト認メマスカラ、採決イタ
シマス、本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵榊筒隆督君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵五條爲功君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開クト云フ榊筒子爵ノ動
議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴ
ザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵榊筒隆督君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵五條爲功君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 榊筒子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 電氣事業法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、
第一讀會ノ續、委員長報告、秋田子爵

電氣事業法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二年三月十九日

右特別委員長

子爵 秋田 重季

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵秋田重季君演壇ニ登ル〕

○子爵秋田重季君 只今上程セラレマシタ電氣事業法中改正法律案ノ特別委
員會ニ於ケル經過竝ニ結果ヲ御報告イタシマス、特別委員會ニ於キマシテ
ハ、本案ノ内容ハ本會議ニ於テ既ニ政府カラ説明ガアリマシタノデ、省略ヲ
致シテ、直チニ質疑ニ移リマシタ、其主ナル點ニ付キマシテ、三點ダケヲ御
報告申シマス、其一ツハ、電氣事業法ハ餘程以前ニ制定セラレタルモノデア
ルカラシテ、其全部ヲ改正スル必要ガアリハセヌカ、今回ノ改正ハ其一部ニ
止マツテ居ルト云フコトハドウ云フ譯デアアルカ、是ガ其一ツデアリマス、之
ニ對シマシテ政府ノ答辯ハ、我國ノ電氣事業ニ關スル……電氣事業法ノ全部
ノ改正ト云フコトハ無論認メテ居ル

〔副議長侯爵蜂須賀正韶君議長席ニ著ク〕

本年ノ……本年デアアリマセヌ、來年度ノ豫算ニ計上シテアリマス所ノ、電
氣事業ノ調査費、之ニ依リマシテ其調査ヲ行ヒ、根本的ノ改正ヲスル積リデ
アル、併ナガラ目下ノ電氣事業ニ對スル急務ト致シマシテ、電氣事業ノ資本

ノ固定スルコトガ多大ナル、其爲ニ一般ニ此電氣ノ供給ガ甚ダ不満足ナル、之ヲ救済スル爲ニハ、社債ニ依ッテ之ヲ補フ、是ガ目下最モ緊要ナル問題デアアル、從テ此法案ヲ改正スル次第デアリマス、是ガ第一ノ政府ノ答辯デアリマシタ、第二ハ、此電氣事業ノ、社債發行ノ制限ニ除外例ヲ設ケタナラバ、他ニモ同様ノ例外ヲ希望スルモノガ自然ト起ッテ來ハシナイカ、例ヘバ私設鐵道ノ如キニ於テハ、最モ之ヲ要求シテハ居ラヌカ、是ガ第二ノ質問デアリマス、之ニ對シマシテ政府ノ答辯ハ、私設鐵道ニ於テモ、電氣事業ト同ジク矢張り此社債募集ヲ必要トスルコトヲ要求シテ居ラヌコトハナイ、併ナガラ鐵道當局ニ於テハ、社債ニ依ラズシテ株式金ヲ以テ其事業ヲ營マセルト云フ方針ニ、今日マデ行ッテ居ル、ソレガ爲ニ今日ニ於テハマダ、私設鐵道ニ於テハ、此改正ヲ要スルマデニハ、多少ノ距離ヲ有シテ居ル、斯ウ云フ答辯デアリマシタ、第三ニ於キマシテハ、本案ヲ改正スルニ付テハ、或ル特殊ノ會社カラノ要求ニ依ッテ此改正ヲシタノデハナイカ、ト云フ質問デアリマシタ、政府ノ答辯トシマシテハ、決シテ斯ノ如キ不純ナルモノデハナイ、今日我國ニ於ケル所ノ電力ノ状態ヲ見マスノニ、決シテ我國ニ於ケル所ノ電力ハ過剩デハナイ、今日其過剩ト云フコトガ世間ヤカシク唱ヘラレテ居リマスケレドモ、決シテ過剩デハナイ、益、我國ニ於テハ此電氣事業ナルモノヲ發達助長シナケレバナラナイノデアリマス、之ニ對シテ或ル特殊ナル會社ノ要求ニ依ッテ此法案ヲ改正スルト云フコトハ、毛頭アリマセヌ、斯ウ云フ言明デアリマシタ、委員會ニ於キマシテ討論ニ移リマシタ、デ其討論ニ入りマシテ一委員ヨリ、本改正案ナルモノハ、我國ノ電氣事業ニ對シテ、目下ノ場合ニ於テハ最モ必要ナル改正案デアルト云フ意見ガアリマシタ、之ニ對シテ委員ニ御諮リ致シマシタル所ガ、滿場一致ヲ以テ可決イタシマシタル次第デアリマス、以上御報告イタシマス

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 御異議ナイモノト認メマス

○子爵榊原隆督君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵五條爲功君 贊成

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 原案全部ヲ問題ニ供シマス、原案全部御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 御異議ナイト認メマス

○子爵榊原隆督君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵五條爲功君 贊成

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 只今榊原子爵ヨリ直チニ第三讀會ヲ開クコトノ動議ヲ提出セラレマシタ、御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 第二讀會ノ決議通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 御異議ナイト認メマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○副議長(侯爵蜂須賀正詔君) 御異議ナイト認メマス

○副議長(侯爵蜂須賀正韶君) 國有財産整理資金特別會計法ノ特例ニ關スル法律案、國產獎勵ノ爲ノ會計法ノ特例ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告

國有財産整理資金特別會計法ノ特例ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二年三月十九日

右特別委員長

伯爵 二 荒 芳 德

貴族院議長公爵徳川家達殿

國產獎勵ノ爲ノ會計法ノ特例ニ關スル法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二年三月十九日

右特別委員長

伯爵 二 荒 芳 德

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔伯爵二荒芳徳君演壇ニ登ル〕

○伯爵二荒芳徳君 國有財産整理資金特別會計法ノ特例ニ關シマスル法律案ノ特別委員會ハ、前後二回開催ヲ致シマシタ、此法案ノ提出ノ理由等ハ、既ニ本會議ニ於テモ説明ガゴザイマシタカラ省略イタシマシテ、其内容ニ付テ質疑應答ヲ致シタノデアリマス、本來國有財産ノ整理處分ノ收入ハ、此特別會計ニ依リマシテ、特別會計ニ繰入レルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、此提出サレマシタ例外ノ規定ニ依リマシテ、一般會計ノ收入ニシヤウト云フノデアリマス、帝都復興事業ニ關シマシテハ建物ノ移轉料等ニ多額ノ經費ヲ要シマシタガ故ニ、約二千三百万圓ノ追加ヲ致スコトニナツタノデアリマ

ス、此中四百万圓ハ、東京横濱ノ復興ニ付テ、公債ニ依ッテ補フコトトシマシタノデアリマスガ、其應募ガ遅レマシタ爲ニ、十四年度ノ剩餘金トシテ殘ッテ居ルノデアリマス、他ノ二百万圓ハ、器具機械賣上金等ニ依ッテ、現行法ニ依ッテ一般會計ニ繰入レルコトニナツテ居ルノデアリマシテ、約一千九百万圓、是ガ今日此法律案ニ依リマシテ、一般會計ニ繰入ラレルコトニナルノデアリマス、此一千九百万圓ヲ得マス爲ニハ、土地竝ニ土地借地權ノ處分ニ依ッテ一部分ヲ得、他ノ部分ハ船舶ノ賣却ニ依ッテ得ルコトガ出來マスシ、第三番目ニ建物ニ依ッテ此收入ヲ得ヤウトスルモノデアアルト云フ、當局ノ説明デアリマシタ、其處分ニ付キマシテハ、復興局ニ於キマシテ全責任ヲ以テ處分ヲスルト云フコトデアリマシタ

〔議長公爵徳川家達君議長席ニ復ス〕

デ此法律案ノ提出ハ、今日復興事業ノ遂行上必要ト見ラレマス爲、委員會ニ於キマシテハ、全會一致シテ可決ヲ致シタノデアリマス、次ニ國產獎勵ノ爲ノ會計法ノ特例ニ關スル法律案デゴザイマスガ、此法律案ノ出マシタ理由ハ、會計法ノ原則ト致シマシテ、總テ相當額ノ價額ヲ有ッテ居リマス品物ニ付キマシテハ、競争入札ニ依ッテ其購入ヲ致スコトニナツテ居ルノデアリマス、比較的價額ノ低イ物ハ、姑ク例外ガゴザイマス、ソコデ國産品ノ製作モ段々進ンデ參リマシタ、又國產ヲ一層獎勵スルノ必要カラ此特例ヲ設ケマシテ、假令稍價額ニ於テ外國品ヨリ高シトスルモ、之ヲ購入シ得ル途ヲ講ジタイト云フノガ、此法律案ノ目的トシテ居ル所デアリマス、此法律案ニ付キマシテ、法文中ニ「當分ノ内」ト云フ言葉ガアルノデアリマス、之ニ付テ委員會ニ於テハ、當分ノ内ト云フ字ハ寧ロ無キモ宜カラウト云フ説モ出タノデアリマスガ、當局ノ説明ト致シマシテハ、會計法ノ殊ニ特例ヲ設ケルノデアリマスカラシテ、飽ク迄モ一時的ノモノデアアルト云フコトヲ目當ニシテ、此字ヲ入レルコトガ必要デアアルト云フ説明デアリマシタ、國產獎勵ノ語ハ既ニ可ナリ長イ年ヲ閱シテ居ルノデアリマシテ、今日此特例ヲスルト云フコトハ、寧ロ時期ハ遅イトモ思ハレル位デアアルノデアリマス、委員會ハ政府ノ提案ヲ諒ト致

シマシテ、満場一致可決イタシタノデアリマス、右二件ヲ報告イタス次第デアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 只今二荒特別委員長ノ報告セラレマシタ兩案共、第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵榊岡隆督君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵柳生俊久君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 榊岡子爵ノ兩案ノ第二讀會ヲ直チニ開クト云フ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 兩案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵榊岡隆督君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵柳生俊久君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 榊岡子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通りテ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 兌換銀行券整理法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會ノ續、委員長報告、伊東子爵

兌換銀行券整理法案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二年三月十九日

右特別委員長

内田 嘉吉

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔子爵伊東祐弘君演壇ニ登ル〕

○子爵伊東祐弘君 委員長ガ御差支ガアリマスノデ、私カラ兌換銀行券整理法案特別委員會ノ報告ヲ致シマス、本案提出ノ理由ハ既ニ大藏大臣ヨリ御述ベニナリマシタカラ、茲デハ省略ヲ致シマシテ、唯衆議院ニ於テ修正セラレマシタ點ヲ御參考迄ニ申シテ置クコトニ止メテ置キマス、政府原案ニハ、整理ノ期間ヲ昭和十七年三月三十一日ト定メテアッタノデアリマスガ、衆議院ニ於テ之ヲ昭和十四年三月三十一日ト修正セラレタノデアリマス、此理由ハ、利得ヲ成ルベク早ク國庫ニ收メルコトガ、財政上ノ見地カラ歡迎スベキコトデアル、又印刷能力、製造ノ工程竝ニ從來兌換銀行券ガ發行停止トナッテ其回收セラレタ實蹟ニ徴シテモ、十二箇年デ十分デアッテ、之ガ爲ニ國民ニ迷惑ヲ掛ケルコトハナイト云フコトデアリマス、殊ニ第一條但書ニ於テ、政府又ハ日本銀行ガ受入レノ場合ニ強制通用力ガアルノデアアル、又第三條ニ於テ期限經過後ト雖モ政府ハ之ガ引換ヲ爲スノデアリマスカラ、兌換銀行券ノ信用ヲ害スル虞ガナク、十二箇年トシテ十分デアルト云フノデアリマス、政府ハ此修正ニハ同意ヲセラレテ居ルノデアリマス、特別委員會ハ去ル十八日及十九日ノ兩度ニ互リマシテ質問ヲ致シタノデアリマス、此質問中本案ノ審査ノ進行ノ上ニ最も重要ナルモノハ、左ノ質問デアッタノデアリマス、即チ大藏大

臣ハ、本案提出ノ際本會議ニ於テ説明セラレタル所ニ依リマスレバ、兌換銀行券ノ整理ニ依ル利得ハ、主トシテ震災手形ノ整理ノ爲ニ發行スル國債ノ償還ニ充ツルト云フコトヲ言ハレテ居ルガ是ガ、震災手形ノ整理ニ關スル法案ト相關スルヤウナ疑ガアルノデアアル、然ルニ本案ニハ單ニ國債ノ償還ニ充ツルト云フコトダケデアッテ、何等斯様ナコトハ現ハレテ居ラナイノデアアル、是ハ唯行政上ノ手心デアッテ、法律上ノ根據ヲ有シテ居ルモノトハ思ハレナイガ、如何デアルカ、此點ニ關シマシテハ、特ニ大藏大臣ノ出席ヲ求メマシテ、其答辯ヲ煩ハシタノデアリマス、之ニ對シ大藏大臣ハ、本案提出ノ場合ノ説明ノ中ニ、此兌換銀行券整理ノ結果生ズル利得ハ國債ノ償還ニ充テ、主トシテ震災手形ノ整理ノ爲ニ發行セル國債ノ償還ニ充ツルト云フコトヲ申シタノハ、單ニ行政上ノ方針ヲ言ッタノデアッテ、此事ハ法律ニハ規定ガナイノデアアル、法律ハ廣ク國債ノ償還ニ充ツルト云フコトデアアルカラ、震災手形損失補償公債法案又ハ震災手形善後處理法案ノ公債デナケレバナラヌト云フコトヲ固執スル譯デハナク、將來ニ於テ必要ト認メル種類ノ國債ノ償還ニ充テテ何等差支ハ無イノデアアル、此意思ハ茲ニ表明シテ置クト云フコトデアリマス、此大藏大臣ノ言明ニ依ッテ、本案ト震災手形ノ整理ニ關スル法案トハ關係ナイコトガ、ヨリ明カトナッタ次第デアリマス、其他二三ノ質問ヲ御參考マデニ申上ゲマスレバ、第一ハ兌換銀行券整理法案ノ如キハ、既ニ提出ニナルベキモノト思フガ、是ガ今日マデ提出ニナラナカッタ原因ハ何處ニアル、又外國ノ例ハドウナッテ居ルカト云フ質問デアリマス、之ニ對シテハ、兌換銀行券ノ整理ト云フコトハ既ニ考ヘラレテアッタ所デアラウガ、先年大震災ニ依ッテ其滅失ガ殊ニ多額デアラウト云フコトガ想像セラレテ、是ガ動機トナッテ考究ニ著手シタノデアアル、金融制度調査會ガ一方ニ開カレルヤウニナッテ、大藏省カラ原案ヲ出シテ審議セラレルコトトナッタ次第デアアル、外國ノ立法例ハ各國各異ナッテ、整理ノ規定ガ有ルモノト無イモノトアルノデアアル、我國ニ於テモ、國立銀行、臺灣銀行等ノ場合ニ法律ガ出タコトガアル、何年迄ニ之ヲ引換ヘテ、其期限ヲ經過スレバ損失トナルヤウニ定メタ例ガアルガ、

併シ今日ハ其流通モ廣ク發行額モ大ナルモノデアアルカラ、信用上慎重ニ考慮ヲ煩ハシ、單ニ個人ノ損失ニ歸スルト云フコトハ、信用上ニ於テモ昔日ノモト同様ニ取扱フコトハ出來ナイカラ、強制通用力ヲ失ハレマシテモ、政府又ハ日本銀行ニ受入レル場合ハ引換ヲ爲シ得ルコトトシタノデアアルト云フコトデアリマス、第二ノ質問ハ、滅失シタル兌換銀行券ノ總額ハドレ程ノ見込デアアルカ、又印刷局ノ兌換銀行券製造能力ハ現在ノ儘デ十分デアアルカ、或ハ其能力ノ發展ヲ圖ル考デアアルカト云フコトデアリマス、之ニ對シテハ、滅失兌換銀行券ニ付テハ、適確ナル調査ノ方法ガ無イノデアッテ、震災前ニ於テ滅失シタル額ハ、日本銀行ノ推定ニ依レバ、約一千二百五十萬圓デアッテ、震災ニ依ル滅失額ハ不明トナッテ居ルガ、政府ニ於テハ、震災前ニ滅失セルモノガ約二十萬圓、震災ニ依ルモノガ一千万圓乃至二千万圓程度ノモノデアラウト推測シテ居ル、又印刷局ハ最善ノ努力ヲ爲シテモ、現在デハ能力ガ不十分デアアルカラ、昭和二年度追加豫算ニ於テ相當ノ金額ヲ要求シ、其發展ヲ圖リ、又一方印刷局ノ益金カラモ金ヲ出シテ、技術ノ最善ヲ圖ル積リデアアルト云フコトデアリマス、最後ニ第三ノ質問トシテ、兌換銀行券ノ整理ハ、政府原案デハ昭和十七年デ、衆議院ノ修正ニ依ッテ昭和十四年マデトナッテ居ルガ、整理ハ是デ打切ラレルコトニナルノデアアルガ、併シ斯カルコトハ將來モ起ルベキコトデアッテ、之ニハ何か適當便利ナル法律ヲ作ッテ置ク必要ハナイカ、即チ一時的ノ規定デナクシテ、永久的ノ規定ヲ置ク必要ハナイノデアアルカ、之ニ對シテ政府ノ考ハ如何デアアルカト云フ質問デアリマシタ、之ニ對シテハ、外國ノ立法例ハ多少區々ニナッテ居ルガ、此法律案デハ一度デ打切ルヤウナ法律トナッテ居ル、將來滅失ノ高ガ多クナッタ時ハ、其際臨機ニ又法律ヲ出ス方ガ宜イト考ヘテ居ル、豫メ法律トシテ定メテ置クコトモ一ツノ方法デアラウケレドモ、此法案ノ如キ方法ガ、却テ拘束セラレナクテ宜シイヤウニ思フト云フコトデアリマス、以上ガ委員會ニ於ケル質問應答ノ主ナル點デアリマス、質問ヲ終リマシテ討論ニ移リ、採決ノ結果ハ、全員一致ヲ以テ衆議院ノ修正案通り可決イタシタ次第デアリマス、以上御報告ヲ申上ゲマ

ス
○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵榑笥隆督君 直チニ第二讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵五條爲功君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 榑笥子爵ノ動議ニ御異存アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵榑笥隆督君 直チニ第三讀會ヲ開カレムコトヲ望ミマス

○子爵五條爲功君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 榑笥子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 報告ヲ致サセマス

〔長書記官朗讀〕

本日本院ニ於テ修正議決シタル左ノ衆議院提出案ハ直ニ之ヲ衆議院ニ回付セリ

議院法中改正法律案

本日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

花柳病豫防法案

○議長(公爵徳川家達君) 只今書記官ヲシテ報告ヲ致サセマシタ花柳病豫防法案ヲ衆議院ヨリ受領イタシマシタカラ、議事日程ヲ變更イタシマシテ、此際第一讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 花柳病豫防法案、第一讀會、俵内務政務次官

花柳病豫防法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ困テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和二年三月二十二日

衆議院議長 粕谷義三

貴族院議長公爵徳川家達殿

花柳病豫防法案

花柳病豫防法

第一條 本法ニ於テ花柳病ト稱スルハ梅毒、淋病及軟性下疳ヲ謂フ
第二條 主務大臣ハ業態上花柳病傳播ノ虞アル者ヲ診療セシムル爲市又ハ

(小字ハ衆議院ノ修正文)

特ニ必要ト認ムル其ノ他ノ公共團體ニ對シ診療所ノ設置ヲ命ズルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ設置スル診療所ニ於ケル診療ノ費用ノ負擔及徵收ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ從ヒ前條ノ規定ニ依リ診療所ヲ設置スル市其ノ他ノ公共團體ニ對シ其ノ診療所ニ關シ市其ノ他ノ公共團體ノ支出スル經費ノ六分ノ一乃至二分ノ一ヲ補助ス

第四條 主務大臣ハ期間ヲ指定シ適當ト認ムル公私立ノ診療所ヲ其ノ承諾ヲ得テ第二條第一項ノ規定ニ依リ設置スル診療所ニ代用スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第二條第二項及前條ノ規定ヲ準用ス

第五條 傳染ノ虞アル花柳病ニ罹レルコトヲ知リテ賣淫ヲ爲シタル者ハ三月以下ノ懲役ニ處ス

傳染ノ虞アル花柳病ニ罹レルコトヲ知リ又ハ知ルベクシテ賣淫ノ媒合又ハ容止ヲ爲シタル者ハ六月以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

前二項ノ場合ニ於テ傳染防止ニ付相當ノ方法ヲ講ジタル者ハ其ノ刑ヲ減輕ス

第六條 醫師傳染ノ處アル花柳病ニ罹レル者ヲ診斷シタルトキハ傳染ノ危険及傳染防止ノ方法ヲ指示スベシ

第七條 花柳病ニ關スル賣藥ハ其ノ容器又ハ被包ニ其ノ成分及分量、成分不明ナルモノハ其ノ本質及製造法ノ要旨ヲ記載スルニ非ザレバ之ヲ發賣スルコトヲ得ズ

賣藥營業者前項ノ規定ニ違反シタルトキハ地方長官ハ其ノ發賣ノ免許ヲ取消スコトヲ得

附 則

第八條 前條第一項ノ規定ニ違反シタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

本法施行ノ期日ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ各條ニ付之ヲ定ム
花柳病ニ關スル賣藥ニシテ本法公布前ヨリ發賣シ來レルモノニ關シテハ當分ノ間第七條ノ規定ヲ適用セズ

〔政府委員俵孫一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(俵孫一君) 只今上程ニナリマシタ花柳病豫防法案ノ御説明ヲ申

上ゲマス、花柳病ハ結核、酒精中毒ト共ニ三大庶民病ト稱セラレマシテ、何レノ民族ノ間ニ於キマシテモ、深ク且ツ一般ニ浸潤シテ居リマス所ノ疾患デアリマスノミナラズ、更ニ其子孫後裔ニ及ボス害毒ノ甚シキ、誠ニ憂慮ニ堪ヘナイモノガアリマスルノミナラズ、各國共ニソレレ、必要ナル法規ヲ制定イタシマシテ、施設ヲ整へ、以テ本病ノ豫防撲滅ニ最善ノ努力ヲ拂ヒツ、アルノデゴザイマス、然ルニ從來我が國ニ於キマシテハ、花柳病ニ對シ之ガ豫防法ノ制定ヲ見ナカッタコトハ、衛生行政上ノ缺陷ト致シマシテ、政府ノ識者ト共ニ甚ダ遺憾トスル所デアリマス、茲ヲ以テ保健衛生調査會ノ設置セラ、ヤ、本病豫防ノ爲ニ特ニ法案ヲ設ケテ、其調査ニ當ルコトト致シマシタノデアリマシタガ、爾來多年銳意之ガ調査審議ヲ重ネタ末、漸ク昨年ニ至リマシテ其成案ヲ得テ、同會ノ總會ノ決議ヲ經テ内務大臣ニ答申シテ參ッタノデアリマス、是即チ政府ガ茲ニ提出シテ居リマスル所ノ骨子ヲ成スモノデアリマシテ、其要旨ヲ申上ゲマスレバ、左ノ二點ニ歸著スルノデゴザイマス、第一ハ花柳病病毒ノ傳播ノ危険最モ大ナリト認メラレル所ノ特殊業態者ニ對シテ、容易ク花柳病ノ診療ヲ受ケ得ル……受ケルコトヲ得セシムル爲ニ、處處ニ必要ナル設備ヲ致シマシテ、以テ是等業態者間ノ花柳病患者ノ減少ヲ圖ルト云フコトデアリマス、第二ノ點ハ、傳染ノ虞アル花柳病ニ罹ッタ者ノ賣淫及其媒合、容止ニ對シマシテハ、健全ナル者ノ密賣淫ニ對スルヨリモ重キ刑ヲ科シマシテ、以テ病者ノ賣淫ヲ抑止シ、本病ノ傳播ヲ防止セムトスルコトニアルノデアリマス、尤モ如何ニ重刑ヲ科シマシテモ、有毒者ノ賣淫ヲ絶滅スルコトハ困難デアリマスルカラ、之ガ傳染防止ニ付キマシテ相當有效ナル方法ヲ盡シマスル時ニ於キマシテハ、本法ノ刑ハ之ヲ輕減スルコトニ致シマシテ、常ニ十分ナル豫防方法ヲ涵養スルヤウ、之ヲ馴致イタシタイ積リデアリマス、固ヨリ花柳病豫防上ノ方策ガ、淫賣ニ對スル施設取締ノミヲ以テ盡セルモノデアリマセヌ、ケレドモガ賣淫者ニ對スル施設取締ガ、花柳病

豫防上ニ最モ重要ナル部分ヲ占ムルコトハ、争フベカラザル所デアリマシテ、即チ本法案ハ、現狀ニ於キマシテ實施實行シ得ベキ所ノ最善ノ方法トシテ、花柳病傳播ノ主要源泉ニ對シテ其防止方法ヲ講ゼムトスルモノデアリマス、而シテ其花柳病豫防上多大ノ效果アルコトヲ信ジテ疑ヒマセヌノデアリマス、今日會期切迫イタシマスル場合ニ於キマシテ甚ダ御迷惑ト存ジマスルガ、慎重審議ノ上協賛ヲ與ヘラレムコトヲ切ニ希望イタシマス

〔津村重舍君演壇ニ登ル〕

○津村重舍君 只今提出ニナリマシタ花柳病豫防法案ノ衆議院ニ於テ修正セラレテ提出ニナリマシタコトニ付テ、政府ニ質問ヲ致シタイト思フノデアリマス、只今ノ御説明ニナリマシタ通り、花柳病デアルトカ、肺病デアルトカ、酒精中毒ト云フ此三ツノ三大病氣ニ對シテハ、豫防法ガ最モ必要デアルト、必要デアアルノニ、衆議院デ修正ヲシテ來タ所ノ第七條ト云フモノハ、「花柳病ニ關スル賣藥ハ其容器又ハ被包ニ其ノ成分及分量、成分不明ナルモノハ其ノ本質及製造法ノ要旨ヲ記載スルニ非ザレバ之ヲ發賣スルコトヲ得ズ」賣藥營業者前項ノ規定ニ違反シタルトキハ地方長官ハ其ノ發賣ノ免許ヲ取消スコトヲ得」ト、是ハ衆議院デ修正セラレテ來タ案デアリマスルガ、恐ラクハ政府ハ、斯ノ如キ矛盾ヲシタ規則ハ、全然精神的御賛成デアアルマイト私ハ思フノデアリマス、只今モ御説明ニナリマシタ此三大病ト云フモノガアルノニ、獨リ此花柳病豫防法ト云フ規則ニ隱レテ、此病氣バカリヲ斯ウ云フ風ナ制裁ヲ加ヘルト云フコトハ、如何デアリマセウ、政府ハ何故ニ斯ノ如キ不公平ナルコトニ御賛成ヲ爲スツタノカ、私ハ奇怪ニ堪ヘヌト思フ、若シ賣藥ノ内容ヲ公表スルト……或ハ此花柳病ニ限ッテ公表スル必要ハドウ云フ譯デアアルカ、ソレナラバ賣藥モ公表スル必要ガアル、又ハ傳染病モ公表スル必要ガアル、賣藥ト云フモノハ由來秘密藥ト云フコトデ、一子相傳ト云フコトデ、秘密ニスルコトヲ專一ニシテ發賣ヲシテ居ル者デアアル、ソレヲ公開セシムルト云フコトハ、人ノ業權ニ立入ッテ公開セシメルノデアッテ、必要上ナラバ致シ方ハアリマセヌガ、是ガ必要トスルナラバ、醫者ノ處方箋ヲ何故ニ必要トシ

テ公表ヲシナイノデアリマスカ、日本ノ醫者ト云フ者ハ、日本ノ衛生ト云フモノヲ擔當シテ、總テヲ醫者ガ擔當スルカラシテ、賣藥ニハ印紙ヲ取ッテヤレ……此印紙ハ甚ダ不公平デアアルカラシテ、昨年モ賣藥稅法ヲ改正シヤウト云ヘバ、御醫者サンハ取リツケタ稅デアアルカラ取ラウト云ッテ丸デ病人カラデモ稅ヲ取ルノニ賛成ヲナシ、不公平ヲナサレルコトガ多クテ困ルノデアリマス、現ニ今回ノ花柳病豫防法案ト云フモノノ骨子ト云フモノハ、流行ヲシナイヤウニ前ノ六條ヲ以テ意味ヲ盡シテ居ルノデアッテ、行掛ケノ駄賃ニ賣藥屋ヲ脅迫スルヤウナ、コンナ不公平ナ改正案ヲ何故ニ行フノデアリマスカ、此委員會ト云フモノハ、衆議院デ極ク少數ノ小委員ト云フモノヲ設ケテ、格闘ヲシテ大喧嘩ガアッタト云フコトヲ、只今傍聽席デ聞イテ來タノデアリマスガ、隨分是ハ不公平ナ修正デアアル、況ヤ此花柳病ダケノ藥ヲ斯ウ云フヤウナ取扱ヲスルト云フコトハ、營業ヲ公平ニ扱フト云フ上ニ、不都合デアアル、賣藥ト云フモノハ規則ガ改正セラレマシテ、今日デハ醫者デアルトカ藥劑師デアルトカ云フ者デナケレバ、新シク營業ガ出來ナイノデアアル、サウシテ許可制度ト云フ譯デ、政府ガ之ヲ許可シテ居ルノデアアル、内容ヲ嚴密ナル調査ヲシテ、是ガ效能ガ有ルカ無イカト云フコトニ付テ、嚴密ナル調査ヲシテ許可シテ居ッテ、醫者ト藥劑師デナケレバ此出願モ出來ナイノデアアル、資格マデ調査ヲシテ、是ダケノ嚴重ナル資格マデ有ルモノガ發賣ヲスルノニ、内容ヲ公開セシムルトカ……是ハ外國デハ此醫者ノ……醫、藥ト云フモノハズット以前カラ分業ヲシテ居リマシテ、サウシテ醫者ハ醫者ノ治療ノミノ研究ヲシ、或ハ治療ノミヲ營業トスルノデアッテ……醫者ガ藥ヲ賣ルト云フ營業ヲ兼ネシメル爲ニ、常ニ賣藥屋ガ憎イト見エテ、ドウモ衆議院デモ醫者ノ委員ガ多クテ、斯ウ云フ無理ナ修正ヲシタト云フコトデアアルガ、何モ此花柳病ノ藥ノミガ、斯ウ云フ制裁ヲ受ケヌナラヌコトハナイ、或ハ肺病モ、或ハ流行病モ、賣藥規則ト云フモノデ制裁ヲ受ケルガ當然デアアル、況ヤ此成分、分量ト云フ内容ヲ皆サンニ公表シタ所ガ、日本デハ醫者ガ醫藥ヲ分業シナイ限ハ、一般國民ハ藥ノ成分トカ藥ノ内容ヲ知ッテモ、判斷ノ知識ガ無イノデアリマ

ス、是ハ早く醫藥ノ分業ヲシテ、一般ノ國民ニ藥ト云フモノノ知識ヲ與ヘ、サウシテ内容ヲ公開シタナラバ、アノ藥ハ利クトカ利カナイトカ云フコトニスルナラバ宜イケレドモ、賣藥營業ト云フモノハ祕密藥デアルト云フ位ノモノヲ、殊ニソレヲ全體デナクシテ、單リ花柳病ノ藥ノミヲ公開セシメルト云フコトハ、何タル不公平ナル、何タル不都合ナル……恐ラク此法案ヲ通過セシムル爲ニ斯ウ云フコトヲ……御醫者ノ言フコトヲ聽カナイト、外ノ案ガ通過シナイカラ、已ムヲ得ズ通過シタ、御承知ニナツタカトモ私ハ推察セラレ

ルノデアリマス、賣藥規則法ト云フモノガアルノデアリマシテ、全體ノ取締ヲ爲シタラ宜カラウト思フニ、斯ウ云フ唯一ツノ取締法ニ限ッテ、斯ウ云フコトヲスルト云フコトハ、營業ノ公平、政府ノ商人ヲ扱フ公平ト云フ上ニ、大イナル不公平デアルト思フノデアリマス、ソレカラ此次ニ至ッテ、當分ハ……從來ノ營業ヲシテ居ル者ハ、當分ハ此規則ヲ適用セヌ、第七條ノ規定ヲ適用セヌト云フコトデアルト云フト、今度ハ新シイモノニ之ヲ適用スル、是ハ恐ラクハ當分ト云フ言葉ヲ以テ、同業者ニ、オ前等ノ營業ニハ差支ナイデハナイカト云フコトデ、ゴマカシテ置イテ、或ハ之ヲ取締ルノカモ知レナイト思フノデアリマスガ、斯ノ如ク當分取締ラヌノナラバ、新シイモノニ營業ノ許可ヲ與ヘル時ニ嚴重ニシタナラバ、政府ノ權能ニ在ルノデアッテ、當分行ハヌナラバ、モウ一層精密ニ調査ヲシテ、ソレデ賣藥規則ノ改正ヲ企テ、モ、敢テ遅クハナカラウト思フ、故ニ斯ノ如キモノヲ、花柳病ニ限ッテ何故ニ御贊成ニナツタノデアルカ、又醫藥分業ト云フコトヲ、近キ將來ニ於テ政府ハ實行スル意思ガアルカ無イカ、隨分御醫者様デモ、九州ノ大學デ若返リ法等ヲ唱ヘテ、隨分國民全般ヲ愚弄シタコトガアル、醫藥分業ニナツテ居レバ、斯ウ云フコトハ忽チ分ルノデアアル、分業シナイ爲ニ、神様ノ御神酒デモ賜ハツテ來タヤウニ、御醫者様ニ藥ヲ盛ッテ貰ッテ來テモ、何ヲ盛ッテ貰ッテ來タカ分ラナイ、若シ醫藥分業デアレバ、直チニ何々が這入ッテ居ル、コンナ馬鹿ナモノハ飲メヌト云フコトガ直グニ分ル、是ガ日本ノ醫術ナリ藥學ナリヲ進歩セシメル……社會問題デアル、尙ホ進ンデ這入ッテ行クト、飲マイデモ宜イ

藥ヲ飲マスコトガアルガ、日本國民ノ非常ナ社會問題デアル、之ヲ政府ガ顧ミナイ、恬トシテ顧ミナイ、ソレハ問題デアリマスカラ、他日大ニ論議ヲシヤウト思ウテ居リマスルガ、斯ノ如ク賣藥ト云フモノハ祕密藥デアルト云フコトガ、商賣上ノ習慣デアアル、況ヤ醫者ガ分業ヲシナイノニ、此賣藥ノミヲ、而モ此花柳病藥ダケニ内容ヲ公示セシムルト云フ、此不公平ナル法律ニ御同意ナスッタ政府ノ御趣意ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス

〔政府委員鈴木富士彌君演壇ニ登ル〕

○政府委員(鈴木富士彌君) 只今津村サンカラ、本案ニ關スル質問ガゴザイマシタ、簡單ニ便宜上私ヨリ御答ヲ致シマス、本案ハ衆議院ニ於キマシテ修正セラレマシタ、ソレハ只今津村サンカラ申サレマシタ如ク、第七條及第八條ヲ追加シ、更ニ附則ニ一箇條ヲ挿入シタノデアリマス、如何ニモ津村サンノ御説ノ如ク、花柳病ニ關スル賣藥ニ限ッテ、内容公示ヲセシムルト云フ規定ヲ茲ニ挿入シマシタコトハ、場所柄ヲ少シ取間違ヘテ居ルト云フ感ハアルノデアリマス、デアリマスルカラ政府ト致シマシテハ、若シ内容公示ノ問題ヲ解決スルナラバ、賣藥法ノ改正ノ際ニ讓ッテ貰ヒタイト云フ意思ハ述ベタノデアリマス、併ナガラ委員會ニ於キマシテ、是ハ是非トモ此點ダケヲ挿入シテ貰ハナケレバ困ルト云フコトデ、遂ニ其通り多數ヲ以テ可決サレタノデアリマスガ、其理由トスル所ヲ承ッテ見マスルト、昨年賣藥稅法廢止法律案ヲ議スル際ニ當リマシテ、議員ノ中カラ賣藥ノ取締ニ關スル極メテ峻嚴ナ質問ガゴザイマシタ、其際ニ一委員ハ、賣藥ハ内容ヲ公示シナケレバナラヌデハナイカト云フヤウナ意味ノ質問ガアリマシタ際ニ、時ノ内務大臣ハ、此點ハ能ク慎重ニ考慮ヲシマシテ、將來適當ナ時期ニ適當ナ立法ヲスルコトニ致シタイ、斯ウ云フ意味ノ答辯ヲ致シテ居リマス、然ルニ其後政府ニ於テ手ヲ著ケテ居ル模様モナイヤウデアアル、此點ハドウシタノダト云フ非常ナ質問デゴザイマシタ、別ニ手ヲ著ケヌ譯デハゴザイマセヌケレドモ、未ダ成案ヲ得ナイノデアリマシテ、議院ニ提出スル運ビニナラナカッタノデゴザイマスルガ、其昨年ノ言明モアリ旁、致シマスルカラ、茲ニ花柳病ノ豫防法ト云フ

モノガアル以上ハ、豫防法ト云フモノヲ成立サセヤウト云フ場合ニ於キマシテハ、特ニ此點ニ重キヲ置カネバナラヌト云フコトハ、外ノ病ト違ッテ、花柳病ハ特ニ此手後レニナルコトガ、傳染ヲ甚シカラシムル所ノ一大原因デア
 ル、相成ルベクハ手療治ハサセヌヤウニシナケレバナラヌ、ソレヲスルニハ
 又賣藥ヲ用キルト云フヤウナコトハ宜シクナイカラ、此場合、此條文ヲ挿入
 シテ置ク必要ガアラウト云フ、委員ノ意思デゴザイマシタ、デ尙ホ最近起リ
 マシタ某「ドラック」事件ナドモ引合ニ出サレマシテ、ドウシテモ是ダケハ挿
 入イタシタイト云フコトデアリマシタカラ、何分政府ニ於キマシテモ、賣藥
 法改正ノ際ヲ待チタイト思ヒマシタノデアリマスルガ、サウ云フ御意見デア
 リマスカラ、若シ此法案ガ修正案共ニ兩院ニ於テ認メラレルノデアレバ、御
 同意ヲ申上ゲル、斯ウ云フ意味ニ於テ同意ヲ致シテ居リマスルカラ、此點ハ
 惡シカラズ御了承ヲ願ヒタイノデアリマス、而シテ如何ニモ是ハ賣藥業者ヲ
 脅威スルヤウナ形ニ見エルカモ知レマセケレドモ、先程津村君カラ申サレ
 タ如ク、附則ノ第二項ニ於キマシテ、當分ノ間第七條ノ規定ヲ適用セズト云
 フコトニナッテ居リマスカラ、此點ニ於テ現在ノ賣藥業者ハ決シテ脅威ハサ
 レナイ、斯ウ云フ點デアリマス、將來ノ者ハ脅威サレルデハナイカト云フ御意
 見デアリマスルガ、是ハ昨年内務大臣カラモ答辯ガアリマシタ如ク、此賣藥
 ニ關スル件ニ付キマシテハ、將來適當ナ時期ニ何等カ考慮イタシタイト思ッ
 テ居ルノデアリマスルカラ、ソレマデハ何等別段、賣藥業者ニ於テヒドク迷
 惑ニモナルマイカト考ヘマシタノデアリマス、斯様ナ次第デアリマシテ、政
 府ハサウ云フ意味ノ同意ヲ與ヘタ譯デアリマス、醫藥分業ノ件ニ付キマシテ
 ハ、是ハ隨分非常ナ重大問題デアリマシテ、只今イツカラ之ヲ實行スルカト
 云フコトハ、茲ニ言明スルコトノ出來マセヌノヲ、甚ダ遺憾ト致シマス、右
 簡單デアリマスルガ、御了承ヲ願ヒタイノデアリマス

○津村重舍君 只今ノ衆議院カラ廻リマシタ所ノ修正案ハ、貴衆兩院デ通過
 スルコトヲ得ルナラバ、理事者ハ同意ヲスルト云フヤウナ御意思デアッタヤ
 ウニ伺ヒマシタガ、ソレナラバ何レ委員ヲ設ケラレルデゴザイマセウカラ、

委員會デ御尋ネ致シタイト思フ、又「ドラック」ガ近頃喧マシク新聞ニ載ッテ
 居リマスルガ、斯ウ云フコトハ甚ダ宜シクナイコトデ、獨リ賣藥ノミナラズ、
 醫者ニモ隨分澤山アリマス、醫者ノ方ガモット戰慄スベキ驚クベキコトガ澤
 山アルノデアリマスカラシテ、衛生局トシテ何トカ醫藥分業ニ付テ早ク考慮
 フセラレムコトヲ希望イタシマス、今日ハ此質問ハ是デ打切りマス
 ○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀ヲ致
 サセマス

〔山本書記官朗讀〕

花柳病豫防法案特別委員

- 伯爵 柳澤 保惠君 子爵 實吉 安純君 子爵 板倉 勝憲君
- 子爵 米倉 昌達君 岡 喜七郎君 男爵 高木 喜寛君
- 川上 親晴君 金杉 英五郎君 瀨川 彌右衛門君

○議長(公爵徳川家達君) 部落問題ノ國策確立ニ關スル建議案、公爵二條厚
 基君外十二名發議、會議、建議案ノ朗讀ハ省略イタシマス

部落問題ノ國策確立ニ關スル建議案

右貴族院規則第六十九條ニ依リ提出候也

昭和二年三月十八日

發議者

- 公爵 二條 厚基 侯爵 佐佐木 行忠 男爵 木越 安綱
- 子爵 清岡 長言 淺田 德則 大島 健一
- 石塚 英藏 男爵 船越 光之丞 男爵 長 基連
- 男爵 稻田 昌植 南 弘 松本 丞治
- 西久保 弘道

贊成者

- 侯爵 四條 隆愛 伯爵 川村 鐵太郎 伯爵 二荒 芳徳

伯爵堀田 正恒	服部 一三	男爵大井 成元
子爵藤谷 爲寬	子爵牧野 忠篤	子爵酒井 忠亮
子爵伊集院兼知	子爵前田 利定	子爵櫛笥 隆督
子爵柳生 俊久	子爵藪 篤麿	子爵片桐 貞央
子爵大河内輝耕	子爵白川 資長	子爵野村 益三
子爵池田 政時	子爵米津 政賢	子爵八條 隆正
子爵保科 正昭	子爵石川 成秀	子爵森 俊成
子爵東園 基光	子爵戶澤 正己	子爵渡邊 七郎
子爵裏松 友光	子爵鍋島 直繩	子爵稅所 篤秀
子爵板倉 勝憲	子爵米倉 昌達	子爵舟橋 清賢
子爵瀧脇 宏光	田中館 愛橘	嘉納 治五郎
犬塚 勝太郎	水上 長次郎	佐藤 三吉
玉利 喜造	渡邊 暢	男爵阪谷 芳郎
荒川 義太郎	和田 彦次郎	岡 喜七郎
男爵鍋島 直明	男爵小原 駘吉	笠井 信一
若林 寶藏	男爵伊藤 安吉	男爵千秋 季隆
男爵北河原 公平	男爵北大路 實信	男爵安場 末喜
男爵中島 久萬吉	男爵黒川 幹太郎	男爵上田 兵吉
男爵大島富士太郎	男爵福原 俊丸	男爵黒田 長和
男爵今園 國貞	男爵二條 正麿	男爵上村 從義
男爵赤松 範一	男爵郷 誠之助	男爵野田 龜喜
男爵伊藤 文吉	男爵辻 太郎	男爵足立 豊
男爵松岡 均平	男爵沖 貞男	男爵周布 兼道
男爵井上 清純	男爵北島 貴孝	男爵伊江 朝助
男爵近藤 滋彌	男爵渡邊 修二	石井省一郎
藤田 四郎	鮫島 武之助	高橋 琢也
石渡 敏一	澤柳 政太郎	福永吉之助

貴族院議長公爵徳川家達殿

添田 壽一	倉知 鐵吉	山之内 一次
中村 純九郎	竹越 與三郎	室田 義文
安樂 兼道	川上 親晴	中川 小十郎
菅原 通敬	岡田 文次	川村 竹治
馬場 鏌一	青木 周三	尾崎 元次郎
津久居 彦七	藤安 辰次郎	坂田 貞
田村 新吉	磯貝 浩	齋藤 善八
田村 駒治郎	平田 吉胤	西本 健次郎
花井 卓藏	土田 萬助	瀨谷 勇次郎
工藤 八之助	吉田 羊治郎	山田 惠一
森 平兵衛	松本 勝太郎	長尾 元太郎
小林 嘉平治	濱 平右衛門	山上 岩二
高廣 次平	森田 福市	

部落問題ノ國策確立ニ關スル建議

政府ハ近時ノ情勢ニ鑑ミ我ガ同胞間ノ因襲的觀念ニ基ク所謂部落問題ノ解決ニ關シテハ舊來ノ陋習ヲ打破シ同胞融和ノ實ヲ舉ゲ以テ國民生活ノ安定ヲ期スルハ現下ノ急務ナリト信ズ政府ハ速ニ官民合同ノ調査機關ヲ設ケ確乎タル國策ヲ樹立シ此ノ問題ノ解決ヲ圖ラレシムコトヲ望ム

右建議ス

〔子爵清岡長言君演壇ニ登ル〕

○子爵清岡長言君 只今上程ニ相成リマシタ部落問題ニ對スル國策確立ニ關スル建議案ノ提出理由ニ付キマシテ、私カラ極メテ簡單ニ申上ゲヤウト存ジマス、順序トシテ一言申上ゲテ置キタイノハ、所謂部落問題ノ意義デアリマス、今日尙ホ多數國民ノ間ニ、封建時代ノ因襲的賤視觀念ガ殘ッテ居ル、ソ

レガ爲ニ約百五十万人ニ達スル所謂部落ノ同胞ガ、一般ノ人ヨリ侮辱的ノ言動ヲ受クルコトニ依リマシテ、其生活ノ上ニ斷エズ壓迫ト脅威トヲバ痛感シテ居ルノデアリマス、ソレガ爲ニ是等ノ部落ノ人々ノ受クル痛苦ニハ、第一ニ堪ヘ難イ精神上ノ苦惱ガアリマス、而シテ日夜煩悶懊惱ノ末、遂ニ自暴自棄ノ生活ニ陥リ、時ニ鐵路ノ露ト消エ、或ハ海川ニ身ヲ投ズル等、傷マシキ最後ヲ以テ敢テ自ラヲバ葬リツ、アル實例ハ、日々新聞紙上ヲ通ジテ知ルノミデモ、數フルニ遑ナイ状態デアリマス、加之、社會外ノ社會ニ抑壓サレタ結果ト致シマシテ、蒙ムル所ノ物質上ノ苦痛、生活上ノ不安ハ、益々其窮境ニ達シ、此大多數ノ人々ハ、今日ニ於キマシテ其最モ甚シキ生活状態ヲ見ルニ至ッタ次第デアリマス、斯クシテ部落ノ人々ガ、精神物質兩方面ノ脅威ヲ受ケ、就學ニ、就職ニ、個人生活ニ、社交ニ、其他有ラユル社會生活上、不幸ナル境遇ニ置カレテ居ルト云フ事實ニ係ル問題ガ、即チ此所謂部落問題デアアルノデアリマス、御承知ノ如ク、本問題ハ明治四年八月、所謂解放令ニ依リマシテ、制度ノ上ニ於テ不合理極マル差別ノ扱ガ撤廢サル、ニ至ッタノデアリマス、併ナガラ政治的ニ改革サレタ本問題モ、爾來數十年ノ間、一ハ根強キ社會的因襲ノ爲ニ、一ハ又、陛下ノ大御心ニ副ヒ奉リ得ナカッタ無自覺ナル大多數ノ國民ニ依リマシテ、遂ニ之ヲバ國民生活上ニ實際化サレズ、殘存セル因襲ハ、益々根強ク社會ノ裏面ニ猛威ヲバ逞シウスルニ至ッタノデアリマス、斯クテ大多數ノ國民ハ、今尙ホ個人的ニモ、社會的ニモ、益々此因襲ニ泥ンデ居リマシテ、爲ニ被差別者ハ、社會生活上、極メテ不遇ナル地位ニ置カレルニ至ッタノデアリマス、試ニ最近ニ於ケル差別ノ實例ヲバ擧ゲマシレバ、彼ノ福岡聯隊ノ差別事件デアリマス、福岡第二十四聯隊對九州水平社問題デ、實ニ痛嘆スベキ話デアアルノデアリマス、事ノ發端ハ、同聯隊内ニ於ケル水平社出身ノ兵卒ニ對スル不道理ノ差別的言辭カラデアリマス、之ニ憐慨ヤル方ナキ水平社同人ハ遂ニ、直訴、屯營占領等ノ暴擧ヲバ試ミムトスルニ至ッチャウデゴザイマス、其他、曩ニ起リマシタ奈良縣ニ於ケル水平社ト國粹社トノ衝突事件、又彼ノ群馬縣世良田村ニ起リマシタ事件等、是等ノ事件ニ

對シマシテ是非曲直ヲ述ベムトスルモノデアリマセヌガ、我日本ノ國內ニ於テ、同ジ日本ノ國民ノ間ニ於テ、斯ノ如キ事柄ガ起ルト云フコトハ、實ニ國家ノ不祥事デアアル次第デアリマス、陛下ニ於カセラレマシテハ、如何ニ宸襟ヲ惱マセタマフカト深ク恐察スル次第デゴザイマス、又結婚問題ニ付キマシテハ、誠ニ涙グマシイ悲惨事ハ多々耳ニスル所デゴザイマス、其一例ヲバ申述ベマスレバ、一昨年ノ出來事デゴザイマス、鐘ヶ淵紡績ノ岡山工場ノ一職工トシテ、サ、ヤカナル生活ヲ送ッテ居ル一人ノ職工ガアリマシタ、而シテソレハ青年デ、同ジ工場ニ勤メテ居ル岡山縣英田郡某村ノ某女ト結婚イタシタノデアリマス、屋外ニハ早ヤ彼岸櫻ガ咲キ初メ、寒風ハ全ク其影ヲ没シテ居リマシタ、彼等兩人ノ心ハ此時季ト同ジヤウニ温カッタノデアリマス、男ハ愛スル妻ノ實家ヲモ屢、訪ヅレマシテ、己ノ兩親ニ事フル如クニ好誼ヲ捧ゲ、又家ニ在リマシテハ善良ナル夫トシテ妻ニ接シ、貧シキ中ニモ滿タサレタ生活ヲ續ケ來ッタンデアリマス、既ニ彼ノ女ノ胎内ニハ早ヤ愛ノ結晶サヘ宿サレタノデアリマス、併ナガラ此幸福ハ忽チニシテ破レネバナラヌコトニ立至リマシタ、不合理ナ因襲ニ囚ハレタ無智ノ彼女ノ兩親達ノ手ニ依ッテ、根柢カラ覆サレタノデアリマス、昨日ノ幸福ハ一場ノ夢ト化セラレタノデアリマス、ソレハ昨年ノ七月初メ彼女ノ實家カラ、突然歸國ヲバ促ス電報ガ彼女ノ手許ニ届イタノデアリマス、神ナラヌ身ノ不幸ヲ知ル由モナク、取ルモノモ取敢ズ、彼女ハ歸國イタシマシタ、彼女ノ實家ニ於キマシテハ、男ノ本籍地デアアル岡山縣久米郡某村ヲ取調べマシタ結果、所謂部落民デアッタノデアリマス、茲ニ於テ彼女ノ一家ハ言ハズモガナ、親戚近隣一同、彼女ニ離婚ヲ促スベク急激歸國ヲ命ジタノデアリマス、彼女ハ日夜、兩親其他カラ離婚ヲ強ヒラレタノデアリマス、勿論、彼女ハ之ヲバ肯セズ、却テ我が胎内ニ宿ッテ居ル子供ノ行末等ヲ訴ヘマシテハ、極力兩親達ノ不合理ナ考ヲバ覆スヤウニ努メタノデアリマス、併ナガラ兩親達ノ意思ヲバ覆スコトハ出來ナカッタ、彼女ハ善後ノ策ヲ相談スベク夫ヘ電報ヲ發シマシタ、其電報ヲ受ケタ夫ハ、彼女ニ會ヒ詳カニ事情ヲ聞キ其處置ヲバセムモノヲト、急イデ彼女ノ實

家ヲ訪問シヤウト致シマシタガ、不幸ニモ工場ノ都合デ二三日遅レタノデア
リマス、一方、家ニ在ッテ無理解ノ兩親達ニ苦メラレツ、アッタ彼女ハ、夫ヘ
打ッタ電報ノ返事ガナイ、是ハ夫ノ……男ノ變心シタ結果デアルト、斯様ニ
一圖ニ思ヒ込ミマシテ、悲觀ノ極、自ラ身ヲバ村外レノ池ニ投ジテ命ヲ落シ
タノデアリマス、之ヲ知ッタ兩親ハ勿論驚キマシタ、併ナガラマダ彼等ノ迷
妄ハ依然トシテ醒メナカッタノデアリマス、自殺ノ通知スラ夫ノ許ニハ通知
シナカッタ、臨檢ノ警官ハ其不當ヲバ詰問イタシマシタガ、彼等ハアンナ者
ニドウシテ知ラセル必要ガアリマセウ、斯ウ云ウテ耳ヲバ傾ケナイ、警官ノ好
意ニ依ッテ知ッタ所ノ彼ノ夫ハ、急イデ此家ニ駈ケ付ケマシタ、然ルニ彼女ノ
葬式ガ營マレテ間モナク、男ハ葬儀場カラ二里程離レタ野原ニ倒レテ居ルノ
ヲ知ッタノデアリマス、檢死ノ結果、猫イラズヲ服用シタコトガ判明イタシ
マシタ、サウシテ傍ラニアリマシタ遺書ニ依リマシテ、彼女ノ自殺ヲ知ッテ
駈ケ付ケテカラ後ト云フモノハ、彼女ノ兩親達カラ聞クニ堪ヘナイ侮辱ヲバ
受ケタ、左様ナコトガ知レタ結果、此男モ命ヲ落シタノデアリマス、斯様ナ
悲惨ナ状態、事柄ガ幾ラモアルノデゴザイマス、擧ゲテ數フルコトハ出來マ
セヌ、而シテ苦痛ノ中ニ在ッテ、被差別者ハ次第ニ明確ナル自覺ヲバ呼ビ醒
マスニ至ッタノデアリマス、近代思想ノ上カラ考ヘテモ、虐待ニ泣キ壓迫ニ
苦ム者ノ立場トシテモ、イツ迄モ泣寝入りシテ居ナイト云フコトハ、理ノ當
然デアリマス、而シテ所在ニ怨嗟ノ聲ヲ聞クト共ニ、自負ノ解放ノ積極的ナ
ル現ハレヲ見ルニ至ッタノデアリマス、斯ノ如クシテ此問題ハ漸次社會ノ表
面カラ裏面ニ潛ミ、却テ深刻化シ、解決難ヲ招キ、今日デハ重大ナル社會問
題タルニ至ッタノデゴザイマス、私共見ル所デハ、我國ノ社會問題ヲバ解決
シ、國民生活ノ幸福ヲバ企圖シヤウト云フノニハ、何ヲ措イテモ先ヅ本問題
ノ解決ヲバ期スベキデアラウト考ヘルノデアリマス、其故ニ前述ベタ如ク、
既ニ深刻ナル社會問題ノミナラズ、最近ノ傾向ト致シマシテ、他ノ社會問題
トモ聯繫シテ、我國全般ノ社會問題ヲバ更ニノノニ重大化シ、混亂ニ陥ラシ
メルニ至ルヤモ推察スルコトガ出來ナイ所ニマデ立至ッタノデアリマス、斯

ノ如キハ、徒ラニ國民ノ社會生活ヲバ紛糾セシメルノミナラス、延イテ國家
ノ平和ニ支障ヲバ來ス一大原因タラムコトヲ恐ル、次第デゴザイマス、一般
社會ノ人々ガ部落ノ人ニ對スル侮辱的言辭ヲバ弄スルト云フコトハ、多クノ
場合ニ於テ、ソレハ無意識デアアル、因襲ニ囚ハレテ居ル爲ニ、是ハ無意識ニ
發セラレタノデアルト言フ人ガアリマス、併ナガラ、侮辱的言辭ヲ弄スルト
云フコトハ、意識デモ又無意識デモ、ソレニ依ッテ受ケル所ノ部落ノ人々ノ
苦痛ト云フモノハ、如何バカリデゴザイマセウ、何等ノ區別ハナイノデアリ
マス、斯ノ如キ部落問題ガ發生シマシテ、其結果國家社會ニ及ボシタ所ノ影
響ハ、果シテ如何ナルモノガアッタカト云フコトヲバ、私共ハ先考ヘテ見ナ
ケレバナラスト思フノデアリマス、部落民ノ多數ハ、今日ニ尙ホ斯ノ如キ不
幸ノ状態ニ置カレテ居リナガラ、唯デットソレヲバ堪ヘ忍ンデ居ル有様ニア
ルノデアリマス、人間ガ人間トシテ尊敬ヲサレナイ、國民ガ國民トシテ平等
ニ取扱ハレナイト云フヤウナ、サウ云フ待遇ヲ受ケテ居ルニ拘ラズ、尙ホ眼
ヲツブッテデットソレヲバ我慢シテ居ラナケレバナラナイト云フコトハ、何ト
云フ悲惨ナコトデハアリマセヌカ、茲ニ於キマシテカ一部ノ目醒メタル所ノ
若イ部落ノ人々ハ、自分等ヲバ繋グ鐵ノ鎖ヲバ、自分ノ力デ斷タナケレバナ
ラスト云フコトニ氣ガ付キマシテ、所謂部落解放ノ水平運動ト云フモノガ起ッ
テ來タノデアリマス、然ルニ其運動ハ一般社會ノ誤解ヲバ招キ、一般社會カ
ラ不安ヲ以テ迎ヘラレタ結果、到ル所ニ於キマシテ種々ナル不祥事件ヲバ惹
起スルニ立至ッタノデアリマス、誠ニ遺憾ナ次第デゴザイマス、翻ッテ部落問
題解決ニ關スル政府ノ政策ヲ見マスルノニ、未ダ不幸ニシテ、此問題ヲバ解
決スルニ足ルベキ政策ハ、之ヲ見出スコトガ出來ナイノデアリマス、政府ガ
此問題ニ對シマシテ漸ク注意ヲ爲スニ至ッタノハ、明治四十四年カラデア
ト言ヒ得ルノデアリマス、即チ幸徳秋水ノ大逆事件ノ際ニ、其連中ニ部落出
身者ガ居ッタト云フコトガ、所謂當局者ヲシテ部落ト云フモノニ注意ヲ向ケ
シメタ第一ノ原因デアルト思フノデアリマス、而シテ帝國議會ニ、初メテ所
謂部落改善ニ關スル豫算ヲバ提出シタノハ、更ニ遅レテ大正九年カラデアリ

マス、而モ其直接原因ヲナシタモノハ、彼ノ大正七年ニ起ッタ米騒動デア
ト言フコトガ出來得ルノデアリマス、勿論騒動ナルモノハ、所謂部落民ニ依
テ起サレタモノデモナク、從テ部落民ノミ暴擧ヲシタモノデアリマセヌ、長
イ間社會ノドソ底ニ、精神的ニモ物質的ニモ壓迫ト脅威ノ生活ヲ繰返シツ、
アッタ所謂部落民ノ多數ガ、之ニ加擔シタコトハ、遺憾デアアルガ事實デア
デアリマス、兎モ角斯ウシタ一大突發事變ガ動機トナリマシテ、政府ハ大ニ
驚キ、一面種々ノ方策ヲ試ミルト共ニ、一面議會ニ向ッテ豫算ノ請求ヲシタ
ノデアリマス、而シテ其施設ヲバ擴ゲ、豫算ヲ増シ、今日ノ地方改善施設ノ
體裁ヲバ組立テタノハ、實ニ大正十二年デ、水平運動ガ勃發イタシマシタ翌
年、水平社ガ完全ナル全國的勢力ヲ結ンダ年デアリマス、地方改善費ノ豫算
ハ、昭和二年ニ於キマシテ僅ニ六十一万七千圓、其中カラ地方整理費、育英
獎勵費、地方改善融和機關獎勵費、地方改善施設補助費等ヲバ計上シテ居
マスガ、東京市ガ大正十三年度ニ社會事業費トシテ、約百五十万圓ヲバ支出
シタニ比較イタシマシタナラバ、正ニ三分ノ一ノ少額ニ過ギナイノデアリマ
ス、貧弱ナル經費デアリマス、是等ノ點ヨリシマスレバ、政府ハ此重大ナル
社會問題ノ解決ニ對シテ、其根本ノ方策ニ於キマシテ、又施設ノ實際ニ於テ
モ、甚シク姑息デアリ、且ツ冷淡デアルト言ハヌケレバナラヌト思フノデア
リマス、然ラバ何ガ故ニ國策ヲバ確立スル必要ガアルカ、全國ノ融和問題ニ
關係スル多數ノ人々ハ、此部落問題ニ對シマシテ、政府ニ國策ヲバ確立シテ
貰ヒタイ、斯様ナル請求ガアルコトハ言フマデモアリマセヌ、併ナガラ私共
ガ考ヘル時ニ、此部落問題ニ對シテ國策ヲバ確立シナケレバナラナイ必要ハ、
十分ニアルト思フノデアリマス、私共ハ斯ノ如キ、國民ガ國民ヲ侮辱シ、人
間ガ人間ヲ冒瀆スルト云フヤウナコトハ、眞理ノ上カラ言ウテモ、又實際
政治ノ上カラ言ヒマシテモ、是非トモ此日本ノ國內カラ除去シナケレバナラ
ナイコトデアルト思フノデアリマス、特ニ我國ハ彼ノ歐洲大戰ノ後ニ、平和
會議ノ席上ニ於キマシテ、人種差別撤廢ヲバ力説シタノデアリマス、世界人
類ノ前ニ斯ノ如キ立派ナル提案ヲ爲シナガラ、我國内ニ於テ少數ナル同胞ニ

對シ、舊來ノ陋習トハ云ヒナガラ、今尙ホ打解ケズ、垣アリ溝ガアルト云フコ
トハ、恥辱ノ至デアラウ、殊ニ今上天皇ハ踐祚後朝見ノ儀ニ於カレマシテ、
優渥ナル勅語ヲ賜ハリマシタ、況ク一視同仁ノ化ヲ宣ヘ永ク四海同胞ノ誼ヲ
敦クセンコト是レ朕カ軫念最モ切ナル所ニ云々ト仰セ出サレタノデアリマス、
御互ニ此聖訓ヲ拜シテハ、更ニ一猛然トシテ融和ノ聖戰ニ從ハネバナラヌ
コトト思フノデアリマス、以上述べマシタ通り、本問題ハ所謂社會正義ノ上
カラ將亦人道ノ上カラ見マシテモ、一日モ解決ヲバ忽ニスベカラザル所デア
リマス、又社會問題トシテモ極メテ重大ナルモノデアルコトハ、私ノ細言ヲ
要シナイ問題デアルト思フノデアリマス、而モ本問題解決ノ爲ニ大正十一年
以來自主的ナル活動ヲバ續ケツ、アル、水平運動ノ現狀ヲバ眺メ、他面一般
社會ノ因襲的差別觀念ヲバ除去シ、本問題發生ノ禍根デアアル、誤レル一般人
ノ精神改造ヲバ爲サムトスル融和運動最近ノ情勢ヲバ考ヘ、民間ニ於ケルソ
レ等諸運動ニ、問題解決ニ對スル猛烈ナル祈念ト意氣ノ存スルヲバ思フ時ニ、
政府ガ若シ徒ラニ之ヲ取締リ、或ハ之ヲ抑壓スルノミノ方針ヲ執リ、諸ノ
施設ノ上ニ於テモ、單ニ從前ノ計畫ヲバ踏襲スルバカリデ、何等ノ新機軸ヲ
バ見出シ得ザル現狀ニアリト致シマシタナラバ、益、問題ヲシテ反動化セシ
メ、彌、以テ紛糾セシムルコトニ至ルト思フノデアリマス、然ラバ政府ノ責
任モ亦重且ツ大ナリト言ハナケレバナラヌ次第デアリマス、政府ガ今日速ニ
確乎タル國策ヲバ確立スルコトハ、以上述べマシタ諸ノ理由カラ言ヒマシ
テモ、亦齊シク國民ヲシテ人格平等ノ信念ニ歸ラシメテ、國民ガ國民ヲ侮辱
シ、人間ガ人間ヲ冒瀆スルガ如キ不合理ナル事象ナク、眞ニ社會的自由ヲ得
セシムル政治ノ理想カラ言ヒマシテモ、極メテ急ヲ要スルコトト思フノデア
リマス、併ナガラ問題ノ性質上極メテ深刻且ツ難澁ナルガ故ニ、慎重ニ研究
調査ヲバ重ネヌケレバナラナイ、ソレガ爲ニハ適當ナル機關ヲバ設置イタシ
マシテ、以テ萬遺憾ナキ國策ヲバ確定シナケレバナラヌト考ヘルノデアリマ
ス、ソレガ爲ニ政府ハ速ニ官民合同ノ調査機關ヲバ設置シ、以テ一日モ早ク
本問題ノ解決ヲ圖ラネバナラヌト思フノデアリマス、私共ガ本建議ヲバ提出

イタシマシテ、國策確立ノ急ヲ促シ、之ガ調査機關ノ設置ヲバ要望スル所以、亦此處ニアルノデアリマス、試ニ見ルナラバ、諸君ニ於カセラレマシテハ、彼ノ勞働問題或ハ農村問題、婦人問題等ニ付テ、極メテ熱心ニ研究サレテ居リマス、願ハクハ、我國ノ持ツ諸種ノ社會問題ニ比ベテ、其重大サニ於キマシテ決シテ劣ラナイ所ノ、本問題ニ對シテモ、今後十分ナル研究ヲバナサレ、本問題ヲバ一日モ早ク解決サレムコトヲバ望ンデ已マヌ次第ゴザイマス、而シテ私共ハ政府ニ對シテ、今ヤ内政ノ中心トシテ漸次社會問題ノ解決ニ重キヲ置クトキ、本問題ノ圓滿ナル解決ヲ期スル爲、先ヅ速ニ官民合同ノ調査機關ヲバ設ケラレ、以テ本問題ニ對シ能ク積極的ナ國策ヲバ確立シ、國民融和ノ實ヲ擧ゲ、社會生活ノ幸福ヲ増進シ、國家ノ病源ヲバ根絶シ、邦國ノ歴史ヲシテ永久ニ光輝アラシムルヤウニ、一段ノ努力ヲバ希望スルノデアリマス、諸君ニ於カセラレマシテモ、何卒御賛成ノ上、政府ヲシテ本問題ニ對スル方策ヲバ誤マラザルヤウニ、御援助ヲバ切望スル次第デアリマス、誠ニ簡單ゴザイマスガ、本建議案提出ノ趣意ヲ申上ゲマス

〔男爵阪谷芳郎君演壇ニ登ル〕

○男爵阪谷芳郎君 本員ハ此建議案ニ對シテ賛成ノ意ヲ表シタイト思ヒマス、此本日ノ日程ニ載ッテ居リマスル問題ハ、實ハ日本國民ト致シマシテハ、大ナル國辱ノ一ツト思フノデアリマス、日本國民ノ性質ト致シマシテ、同胞ノ中ニ差別ヲ立テルト云フヤウナ觀念ハ毫モ無イデス、一天萬乘ノ君ヲ戴イテ、他國ニ見ナイ美シイ家族制度ノ下ニ、日本國民恰モ一家ノ如クニ、長イ歴史ヲ經來ッタノデアリマス、然ルニ一部ニ此部落問題ト云フモノガアリマスノデ、如何ニモ此歷史上如何ナル理由ニ依ッテ生ジタモノカ、ソレヲ今日論ズル必要ハアリマセスケレドモ、我が國民ト致シマシテ、甚ダ恥ヅベキコトト思フノデアリマス、ソレ故ニ明治ノ初ニ於テ、明治大帝ノ御英斷ニ依ッテ、總テ斯カル差別待遇ト云フモノハ法律上カラ除カレタ譯デアアルノデゴザイマスルガ、然ルニ六十餘年ヲ經タ今日ニ至ッテモ、マダ斯カル建議ガ必要デアルト云フコトハ、何タル情ケナイコトデアアルカ、明治大帝ノ御英斷ニ依ッ

テ、疾ニ斯カル問題ト云フモノハ一掃セラレテ、今日ノ此建議ヲ必要トスルト云フヤウナコトハ無イ筈デアアル、併ナガラ今發議者ノ御一人ヨリ御述ベニナリマシタヤウニ、事實ニ於テハ、今日マダ〱社會問題トシテ儼然トシテ存在シテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ此調査機關ヲ設ケテ問題ヲ研究シタイト云フコトハ、誠ニ其當ヲ得タ案デアルト思フノデアリマス、併シ問題ハ大變ムヅカシイ、餘程此容易ナコトデアリマセヌ、ドウ云フ風ニ調査シテ宜イカ、又其方法手段ト云フモノヲドウ云フ風ニ施シテ宜イカ、是ハ歴史又社會上ノ習慣ニ滲ミ入ッテ居ルコトデアリマスカラ、單ニ道理一片カラ解決ト云フコトモムヅカシイコトノヤウニ思フ、從テ今發議者ノ御述ベニナリマシタヤウニ、適當ナル知識ヲ集メテ適當ナル方法ヲ講ズルト云フコトヨリ外ニ、策ハ無イト私ハ考ヘマス、デ、ドウゾ滿場ノ御賛成ヲ得マシテ、速ニ此調査機關ガ出來テ、其健全ナル解決法ノ付クヤウニ希望シテ已ミマセヌ、今日ノ人間ノ德義知識ノ上カラ考ヘマスレバ、如何ナル問題ト雖モ、決シテ解決ノ出來ヌ筈ハナイノデアアル、唯我々ノ注意ガ此處ニ足リナカッタト云フコトハ、前申シマスル通ニ日本國民ノ一大國辱デアアル、罪惡デアルト私ハ申シテ差支ナイト思フノデアリマス、ソレ故ニ速ニ全會一致ヲ以テ御決定アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 本建議案ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 多數

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス、明二十三日午前十時ヨリ開會イタシマス、議事日程ハ決定次第御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス

午後五時八分散會